

# 沖縄観光に関する県民意識の調査及び 分析委託業務

## 報告書

令和8年3月

沖縄県文化観光スポーツ部



## 目 次

<b>I 調査概要</b>	<b>1</b>
1. 調査の概要	1
2. 結果の概要	3
<b>II 調査結果</b>	<b>19</b>
1. 観光客との接点 (Q1~Q2)	19
2. 沖縄観光に対する意識 (Q11~Q13、Q5~Q7)	23
3. 観光産業に対する意識 (Q8~Q10、F7)	41
4. 観光施策の重要度・達成度 (Q4)	54
5. 観光客来訪による影響 (Q3)	75
6. 宿泊税の導入に対する意識 (Q14)	79
7. 持続可能な観光に対する意識 (Q15~Q17)	82
8. 将来の沖縄観光のあり方や観光行政に関する意見 (Q18)	88
<b>III 資料編</b>	<b>89</b>
・ 調査票	89
・ クロス集計表	99



## I 調査概要

---

1. 調査の概要
2. 結果の概要



# 1. 調査の概要

---

## (1) 調査の目的

沖縄観光に関する県民の意識やニーズ及び行政に対する要望等を把握するとともに客観的かつ合理的な分析を行い、実効性の高い観光施策の企画・立案・評価及び沖縄観光ブランドの構築に資することを目的とする。

## (2) 調査項目

- ①観光客との接点 (Q1～Q2)
- ②沖縄観光に対する意識 (Q11～Q13、Q5～Q7)
- ③観光産業に対する意識 (Q8～Q10、F7)
- ④観光施策の重要度・達成度 (Q4)
- ⑤観光客来訪による影響 (Q3)
- ⑥宿泊税の導入に対する意識 (Q14)
- ⑦持続可能な観光に対する意識 (Q15～Q17)
- ⑧将来の沖縄観光のあり方や観光行政に関する意見 (Q18)
- ⑨回答者の年齢、性別、職業などの基本属性 (F1～F6、F8)

## (3) 調査対象

- ・県内に居住する満 15 歳以上、満 75 歳未満の男女

## (4) 調査方法

郵送調査（調査対象世帯の郵便受けに調査票を投函し、郵送又は WEB 経由で回収）

## (5) 調査期間

令和 8 年 1 月 22 日(木)～令和 8 年 3 月 1 日(日)

（参考）前回調査の調査期間

令和 7 年 1 月 23 日(木)～令和 7 年 2 月 23 日(日)

## (6) 回収数

有効回収数 2,122 人

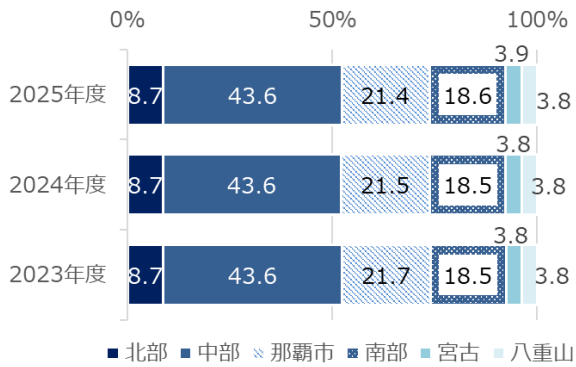
（参考）前回調査の有効回収数 2,164 人

## (7) 集計方法

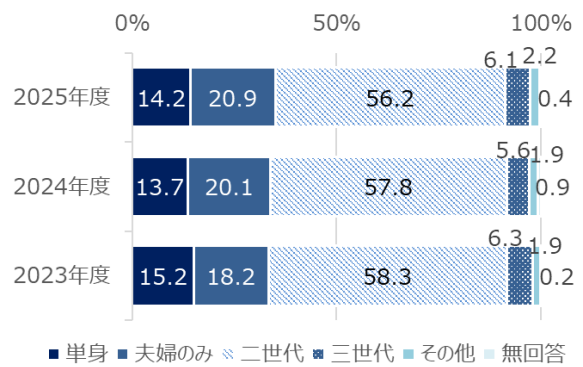
沖縄県の人口構成に合わせるため、地域別、性別、年代別の人口構成比をウェイトとしてサンプルに重みづけを行う加重平均によって算出した。ただし性別で「回答しない」を選択したサンプルについては地域別、年代別の人口構成比で重みづけを行った。

(8) 回答者のプロフィール

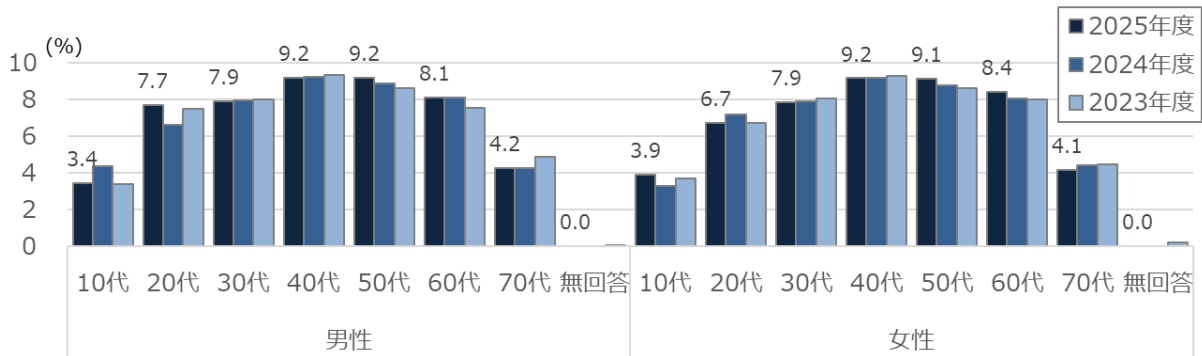
地域別構成比 (%)



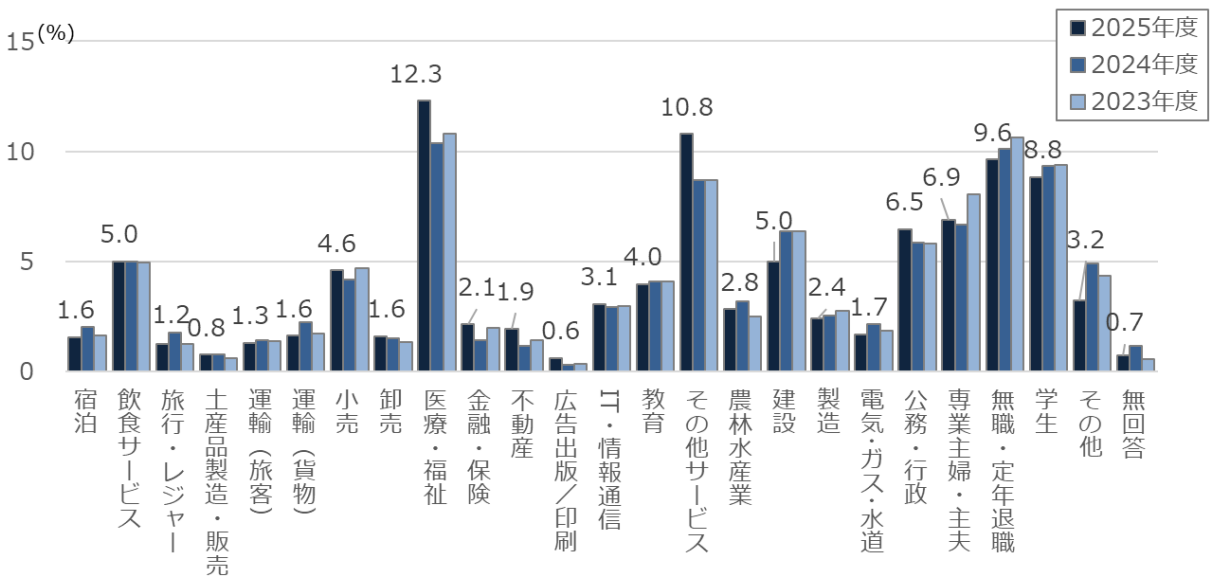
家族構成比 (%)



性・年代別構成比 (%)



職業別構成比 (%)



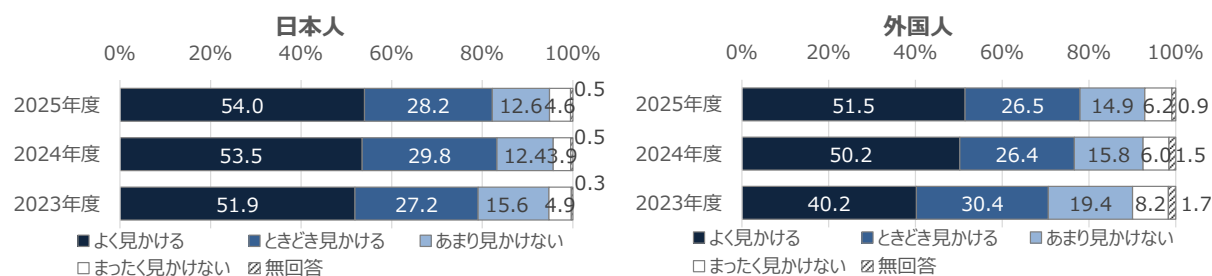
(注) 調査結果中の合計値は、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

## 2. 結果の概要

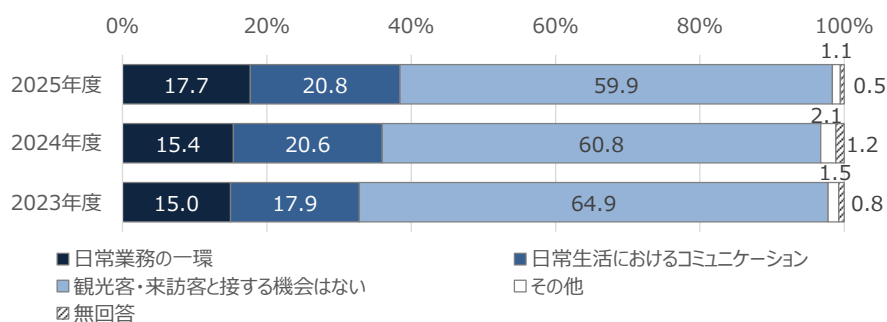
### 1. 観光客との接点

- ・観光客を「よく見かける」割合は、日本人 54.0%、外国人 51.5% と日本人が外国人を上回る。前回調査と比べると、外国人観光客を見かける頻度が増加している。
- ・観光客と接する機会は、「日常業務の一環で接している」が 17.7%、「日常生活におけるコミュニケーションで接している」が 20.8%、「接する機会はない」が 59.9%であった。

図表 観光客を見かける頻度



図表 観光客と接する機会

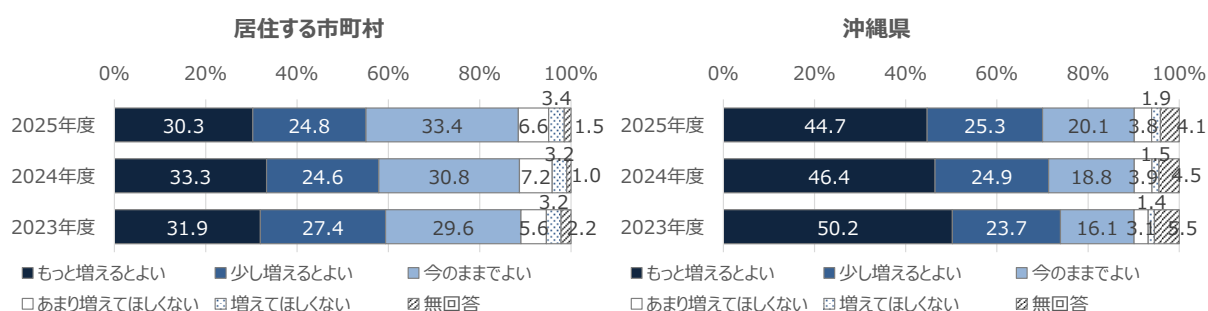


## 2. 沖縄観光に対する意識

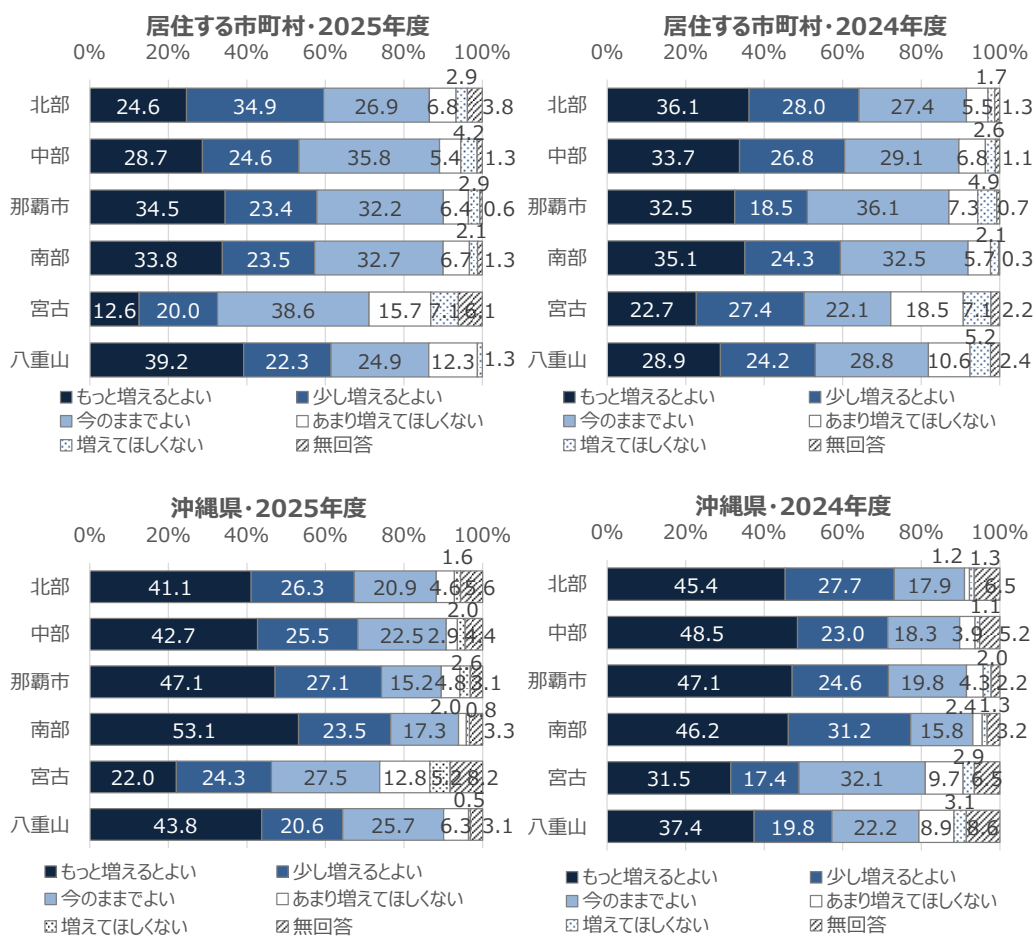
### (1) 日本人観光客の来訪に対する考え

- ・日本人観光客の来訪に関して、沖縄県全体としては「増えてほしい層（もっと増えるとよい＋少し増えるとよい）」が70.0%を占めるのに対し、自分が居住する市町村については「増えてほしい層」は55.1%に留まる。沖縄県全体としては増えてほしいが、居住市町村は今のままでよい、というギャップがみられた。
- ・前回調査と比べると、居住市町村、沖縄県ともに「増えてほしい層」がやや減少した。

図表 日本人観光客の来訪に対する考え



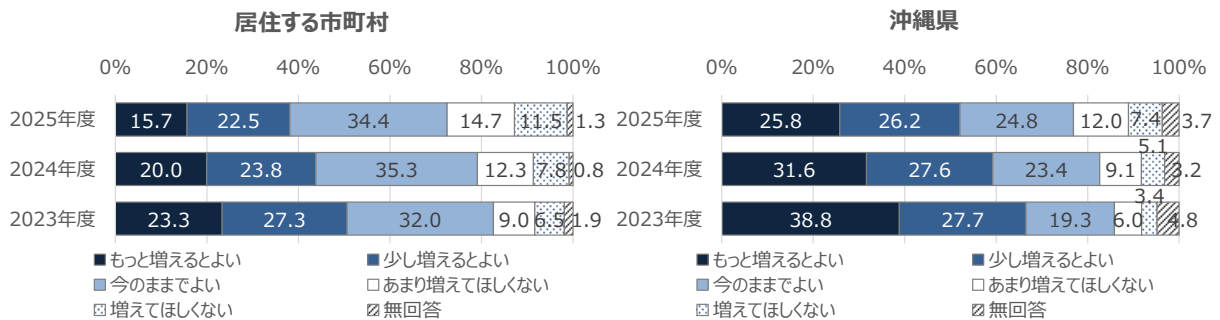
図表 日本人観光客の来訪に対する考え（地域別）



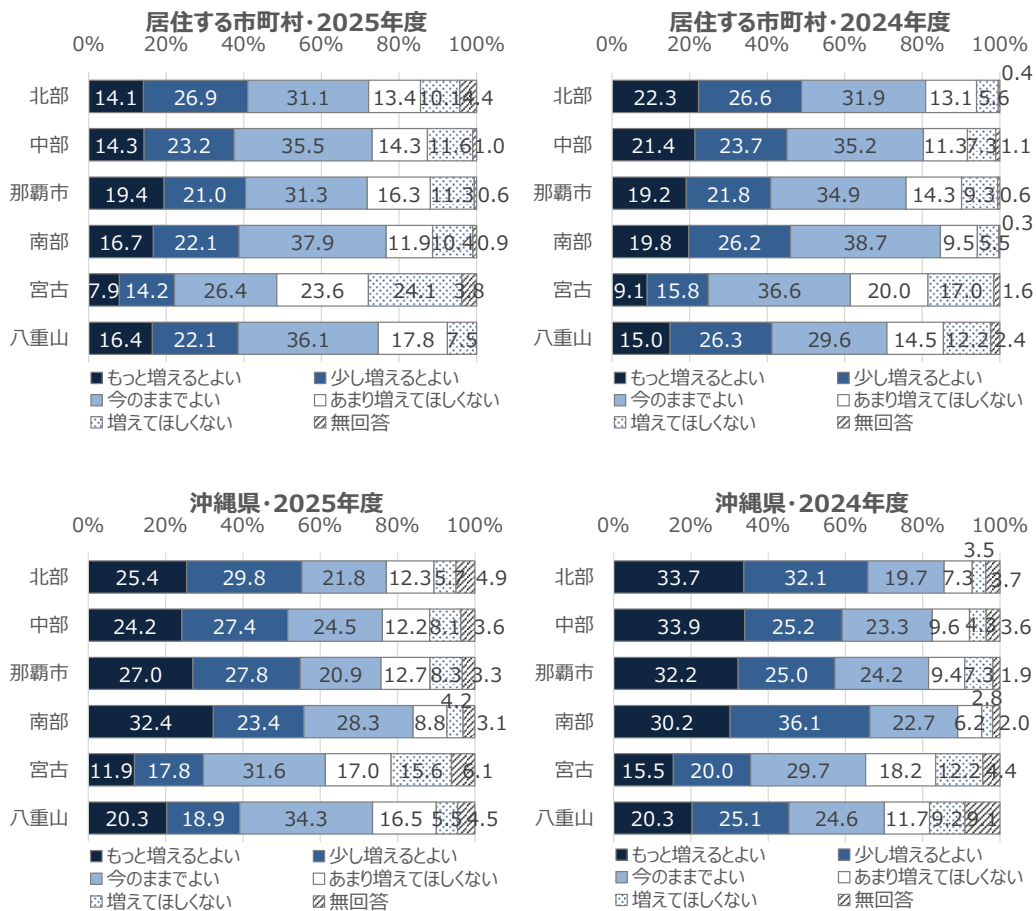
## (2) 外国人観光客の来訪に対する考え

- ・居住する市町村への外国人観光客の来訪に関しては、「増えてほしい層（もっと増えるとよい＋少し増えるとよい）」38.2%、「増えてほしくない層（あまり増えてほしくない＋増えてほしくない）」26.2%であった。沖縄県全体としては「増えてほしい層」が52.0%を占めた。日本人観光客同様、外国人観光客についても、沖縄県全体と居住市町村とではギャップがみられた。
- ・前回調査と比べると、沖縄県全体、居住市町村ともに「増えてほしい層」が減少している。

図表 外国人観光客の来訪に対する考え



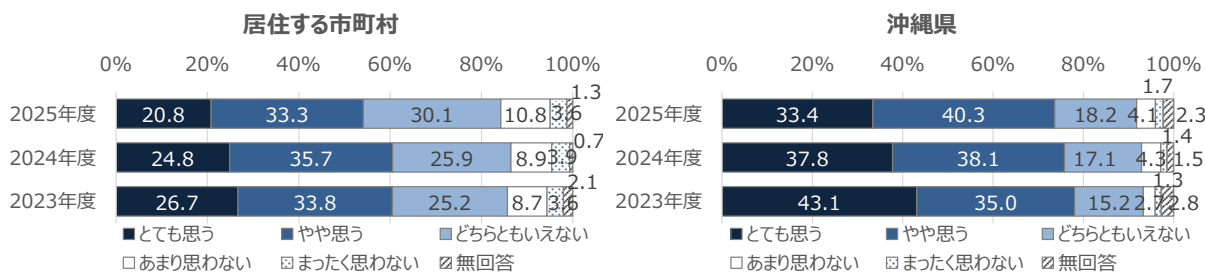
図表 外国人観光客の来訪に対する考え（地域別）



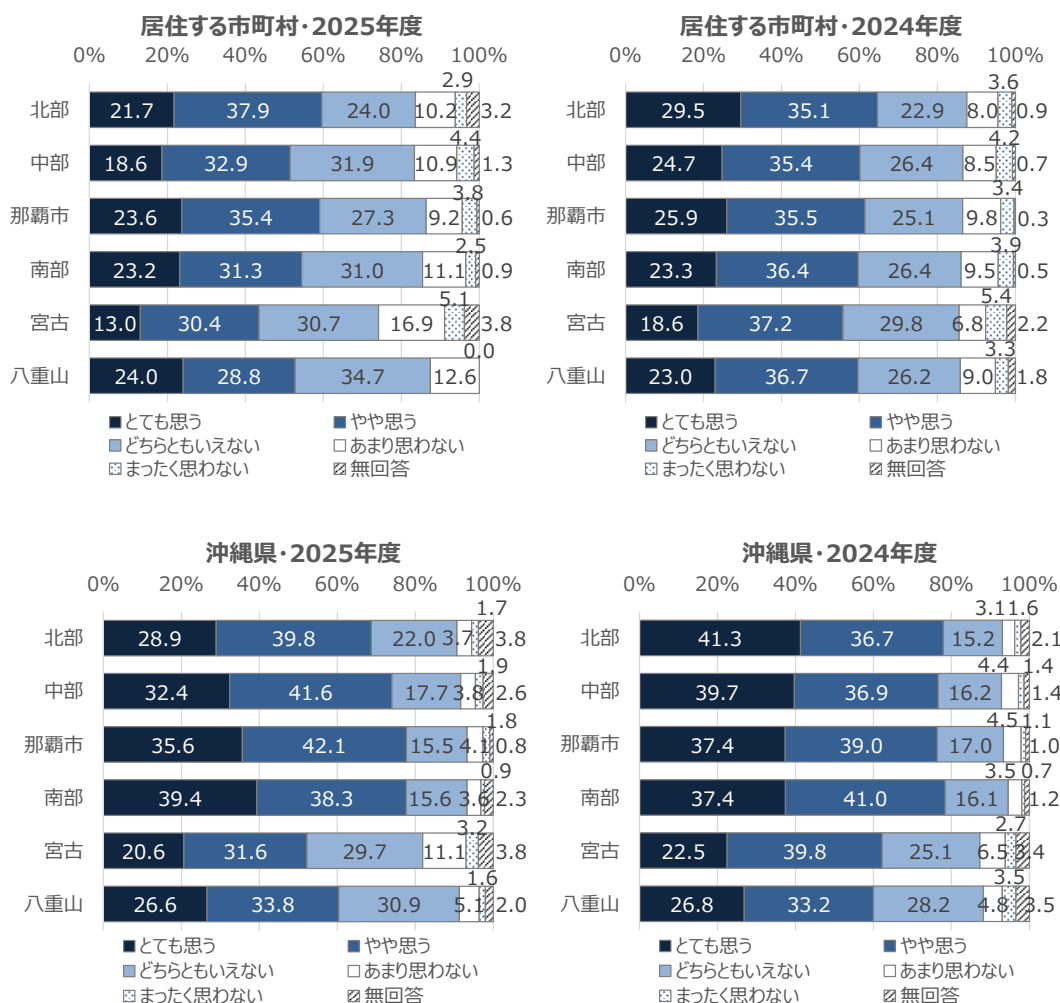
### (3) 観光発展への期待

- ・居住する市町村の観光の発展を期待する人の割合は「期待する派（とても思う＋やや思う）」が54.1%を占め、「期待しない派（あまり思わない＋まったく思わない）」の14.4%を大幅に上回った。沖縄県全体としては「期待する派」が73.7%を占めており、観光の発展への期待は大きい。
- ・前回調査と比べると、居住市町村、沖縄県ともに「期待する派」が減少した。

図表 観光がもっと盛んになるといいと思うか



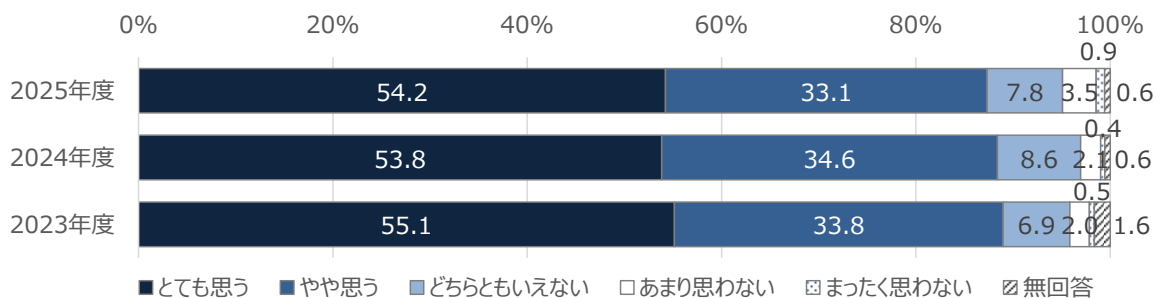
図表 観光がもっと盛んになるといいと思うか（地域別）



#### (4) 沖縄の発展における観光の重要性

- ・沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか尋ねたところ、「とても思う」が54.2%と約半数を占めた。「やや思う」を加えると、87.3%の人が観光の重要性を評価している。「とても思う」に「やや思う」を加えた割合は、前回調査よりやや減少した。

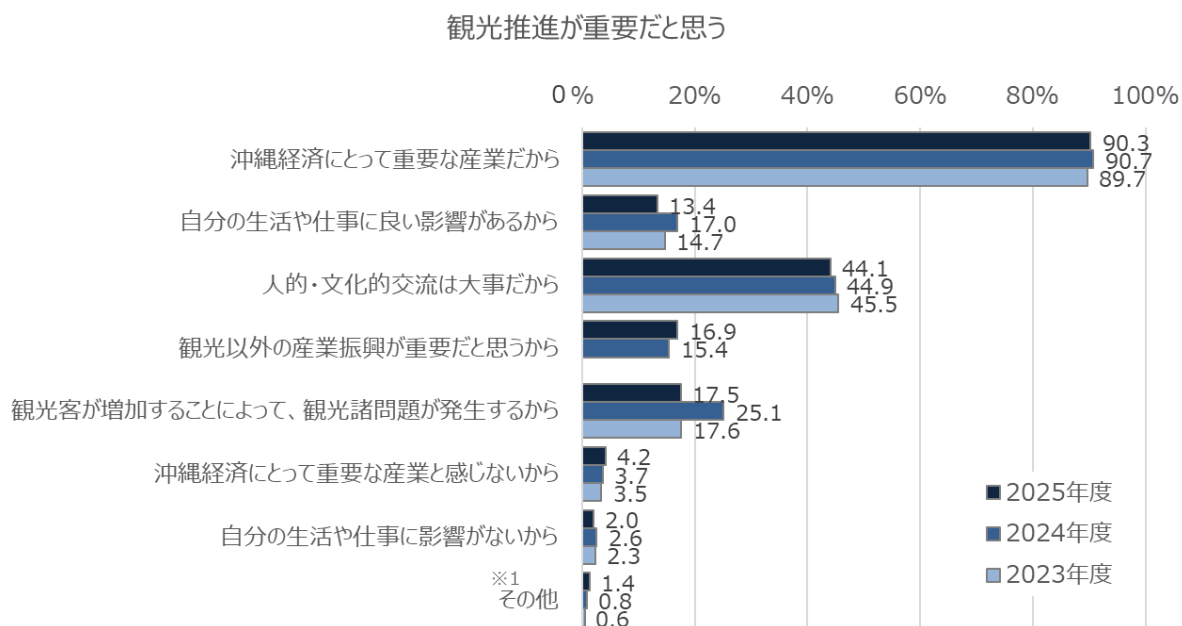
図表 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか



#### (5) 沖縄の発展における観光の重要性の理由

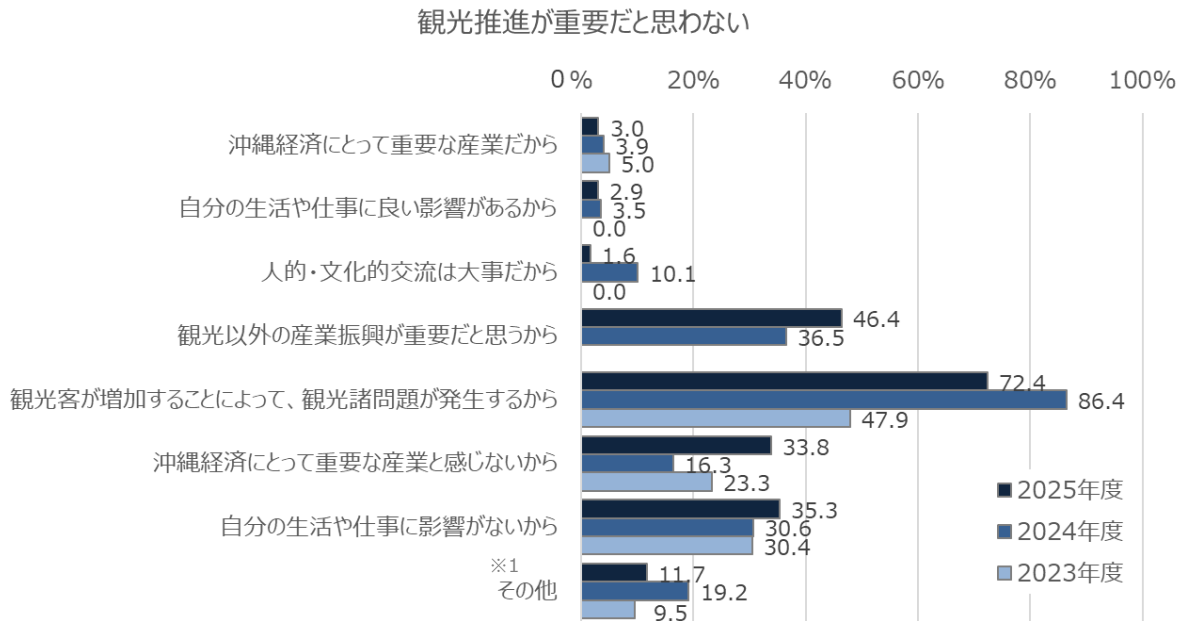
- ・観光の重要性について、その理由を尋ねたところ、観光推進が重要だと思う層（「とても思う」「やや思う」と回答）は、90.3%が「沖縄経済にとって重要な産業だから」を理由として挙げた。一方、観光推進が重要だと思わない層（「あまり思わない」「まったく思わない」と回答）は、72.4%が「観光客が増加することによって、観光諸問題が発生するから」を理由として挙げた。前回調査と比べると「観光客が増加することによって、観光諸問題が発生するから」が減少し、「観光以外の産業振興が重要だと思うから」が増加した。

図表 沖縄の発展における観光の重要性の理由【複数回答】



※1：「その他」の自由記述で挙げられた内容：沖縄には独特の雰囲気、カルチャーがあるから など

図表 沖縄の発展における観光の重要性の理由【複数回答】(続き)

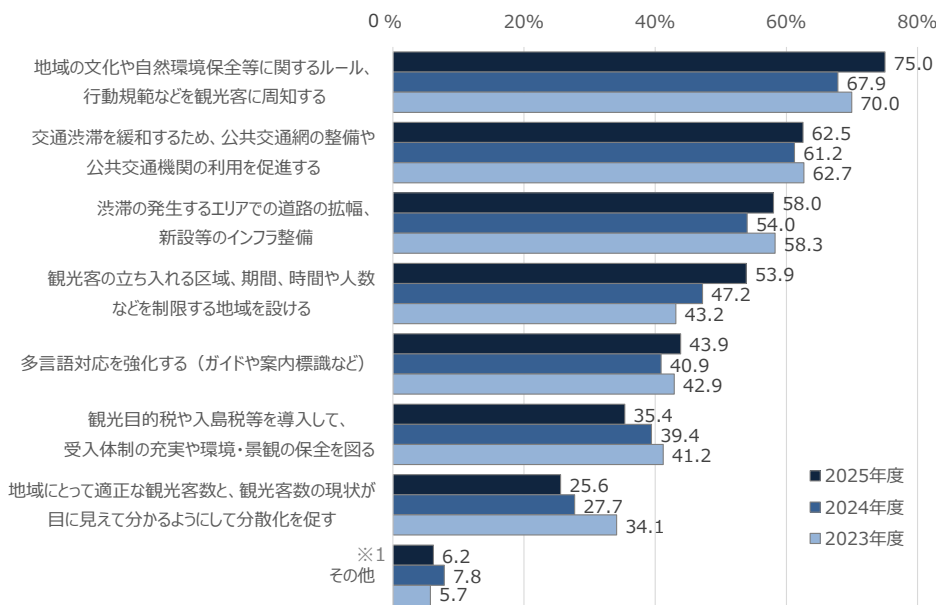


※1:「その他」の自由記述で挙げられた内容: 県民の所得が増えない、県民への還元がないから など

#### (6) 観光諸問題への対応

- 観光の重要性に関する理由について「観光客が増加することによって、観光諸問題が発生するから」と回答した人に、考えられる対策について尋ねたところ、「地域の文化や自然環境保全等に関するルール、行動規範などを観光客に周知する」が75.0%、「交通渋滞を緩和するため、公共交通網の整備や公共交通機関の利用を促進する」が62.5%、「渋滞の発生するエリアでの道路の拡幅、新設等のインフラ整備」が58.0%と多かった。

図表 「観光諸問題」に関する対応【複数回答】

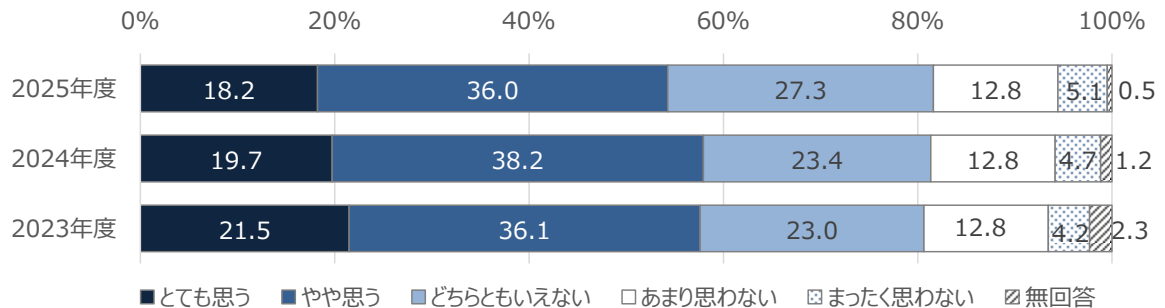


※1:「その他」の自由記述で挙げられた内容: 罰則の強化 など

### (7) 観光の発展と生活の豊かさとのつながり

- ・観光が発展すると自分の生活も豊かになると思うかについては、「とても思う」「やや思う」を合わせた割合が54.2%であり、半数以上の人が生活の豊かさにつながっていると認識している。
- ・前回調査と比べると「とても思う」「やや思う」とともに減少した。

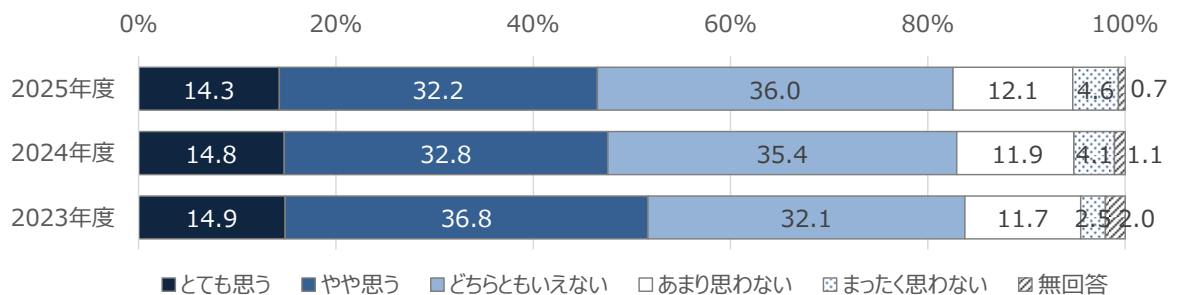
図表 観光が発展するとあなたの生活も豊かになると思うか



### (8) 沖縄の発展と住民の幸福とのつながり

- ・観光が発展する沖縄に居住することであなたは幸せを感じられると思うかについては、「とても思う」「やや思う」を合わせた割合は46.5%であり、5割弱の人が幸せを感じられると認識している。
- ・前回調査と比べると「とても思う」「やや思う」とともに減少した。

図表 観光が発展する沖縄に居住することであなたは幸せを感じられるか

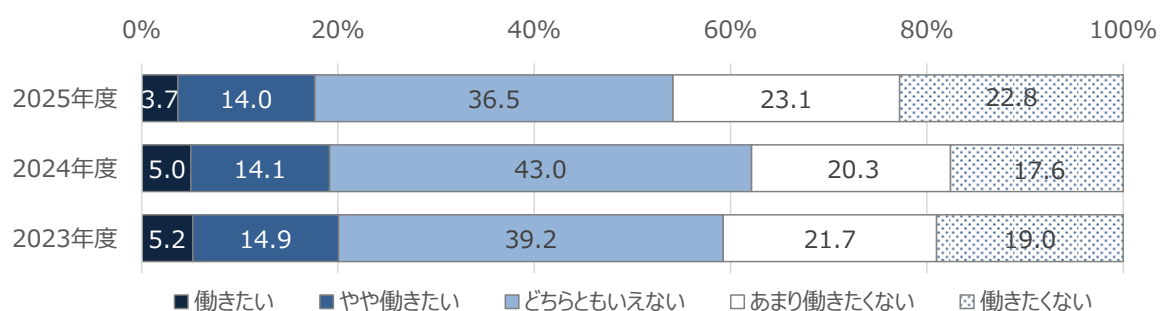


### 3. 観光産業に対する意識

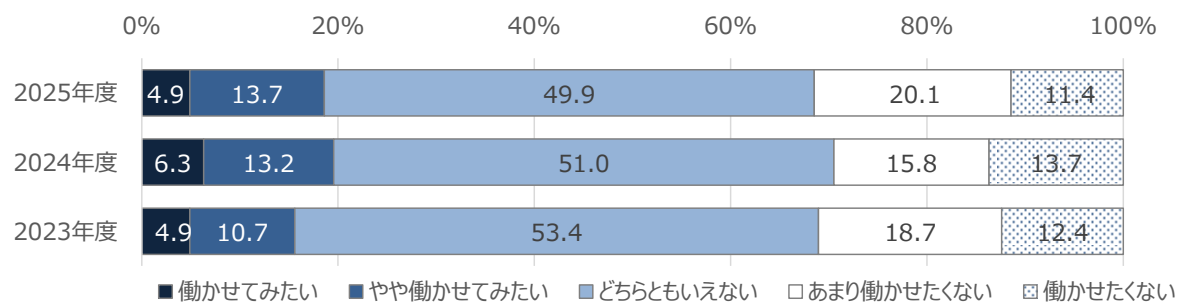
#### (1) 観光産業への就業意向・就業推奨意向

- ・未就業者に観光産業への就業意向について尋ねたところ、「働きたい層（働きたい+やや働きたい）」は17.7%となり、前回調査と比べて減少した。一方、「働きたくない層（働きたくない+あまり働きたくない）」は45.9%となり、前回調査と比べて増加した。
- ・一方、未就業者の子どもがいる人に対し、観光産業への就業推奨意向について尋ねたところ、「働かせてみたい層（働かせてみたい+やや働かせてみたい）」が18.6%となり、前回調査よりやや減少した。一方、「働かせたくない層（あまり働かせたくない+働かせたくない）」は31.5%と前回調査からやや増加した。

図表 観光産業への就業意向（未就業者のみ）



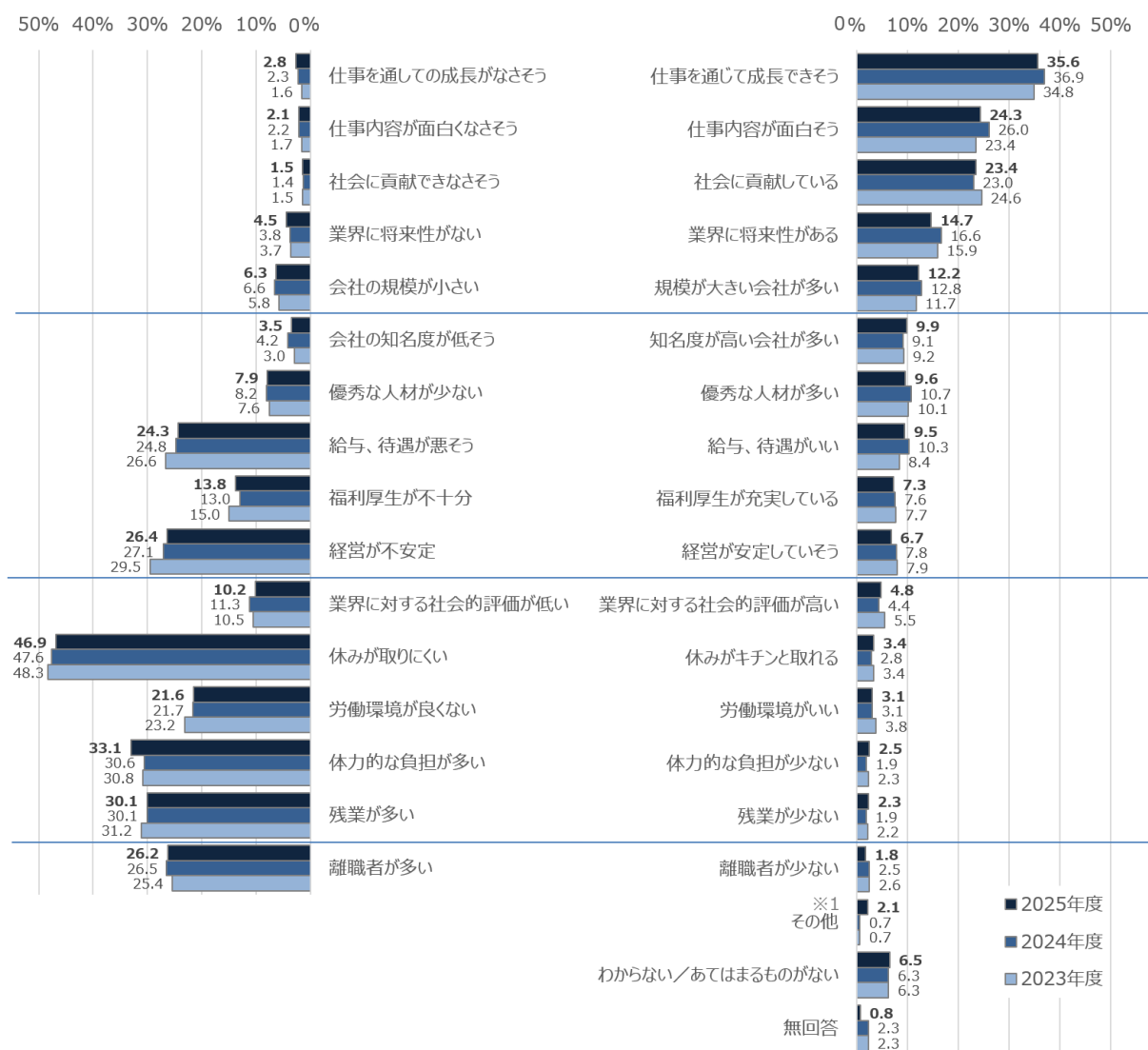
図表 観光産業に対する就業推奨意向（子どもが未就業者のみ）



## (2) 観光産業のイメージ

- ・観光産業のイメージとしては、「休みが取りにくい」が46.9%で最多となったが、近年は微減傾向にある。以下、マイナスのイメージでは「体力的な負担が多い」33.1%、「残業が多い」30.1%、「経営が不安定」26.4%と続く。
- ・プラスのイメージでは、「仕事を通じて成長できそう」35.6%、「仕事内容が面白そう」24.3%が多いが、いずれも前回調査と比べると減少している。
- ・前回調査同様、仕事内容にはプラスのイメージを抱いているものの、勤務形態や職場環境への不安があらわれる結果となった。

図表 観光産業のイメージ【複数回答】

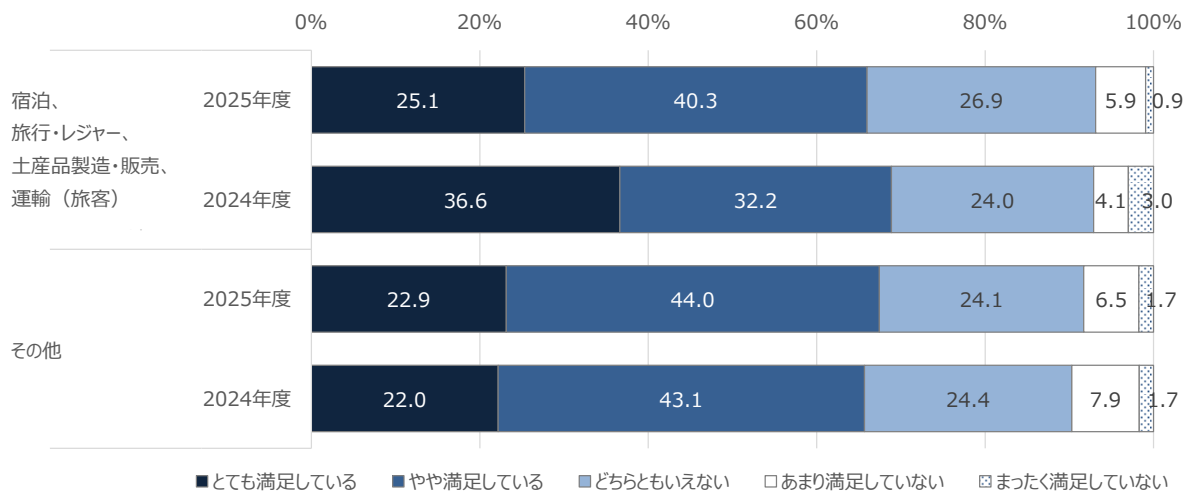


※1:「その他」の自由記述で挙げられた内容: 県外資本が多い、英語など多言語で話す必要がある など

### (3) 観光産業従事者の職業満足度

- ・観光産業従事者（宿泊、旅行・レジャー、土産品製造・販売、運輸（旅客））の職業に対する満足度は、「とても満足している」「やや満足している」を合わせると65.4%となった。
- ・観光産業以外（その他）の産業従事者と比べると、観光産業従事者は「とても満足している」がやや高い。

図表 現在勤めている職業に対する満足度（観光産業と観光産業以外）



#### 4. 観光施策の重要度・達成度

- ・「各種キャンプ・大会の開催」「沖縄文化の保全・継承・活用」「消費しやすい環境整備」「交通便利性の向上」等は、県民にとって重要度・達成率ともに高い項目であることから、現状の沖縄観光の強みとして、維持・強化していくことが必要である。
- ・一方、「交通事故等のトラブル防止対策」「円滑な移動」「誰もが快適に過ごせる環境整備」「風評被害対策」等は、県民にとって重要度が高いにもかかわらず達成率が低位に留まることから、県民ニーズが高い施策であると考えられる。

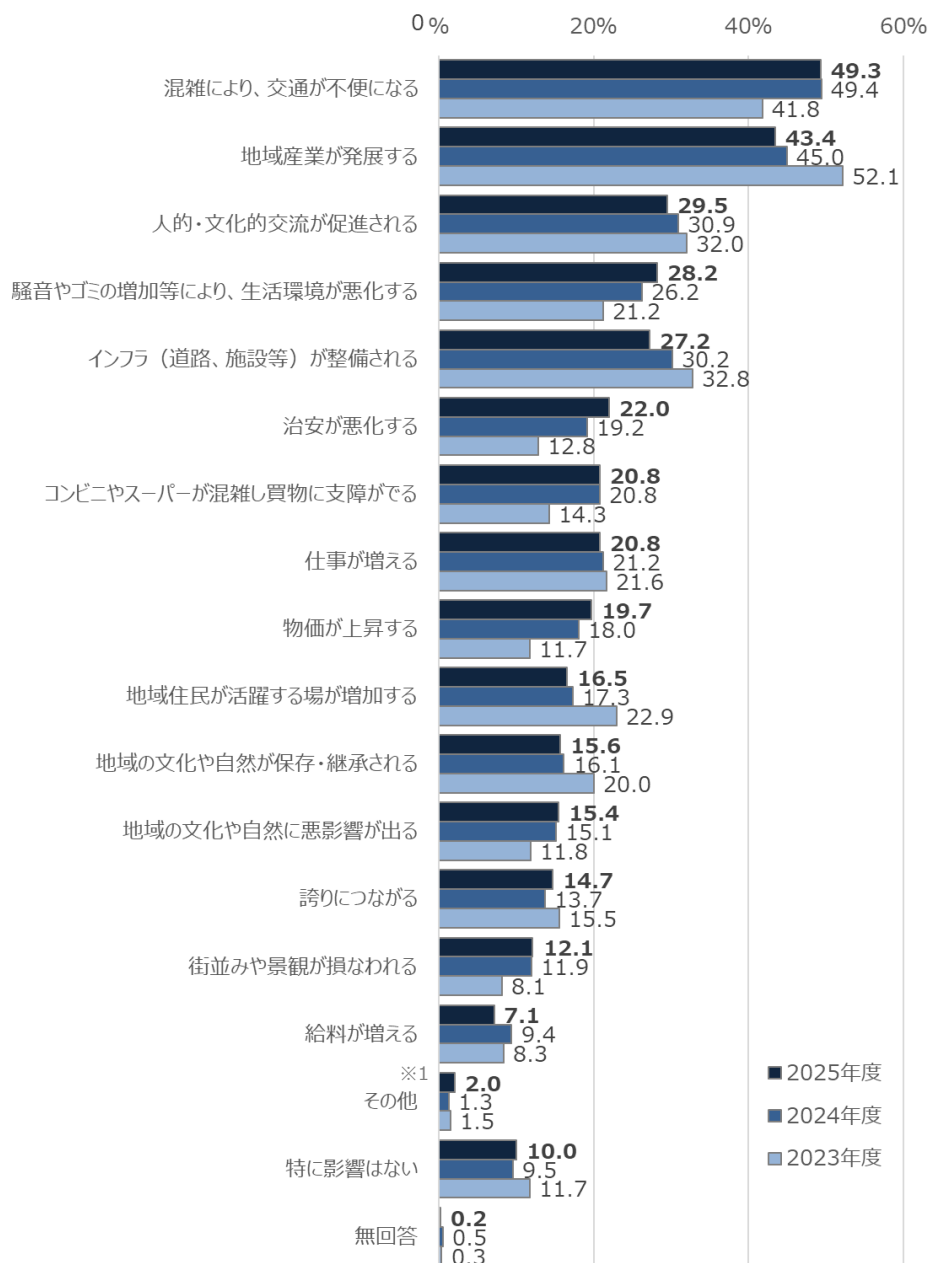
図表 沖縄観光の各施策の重要度と達成度の関係性



## 5. 観光客来訪による影響

・観光客が訪れることによる影響としては、「混雑により、交通が不便になる」が49.3%で1位となった。以下、「地域産業が発展する」43.4%、「人的・文化的交流が促進される」29.5%、「騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する」28.2%、「インフラ（道路、施設等）が整備される」27.2%と続く。前回調査と比較するとネガティブな影響が増加している。

図表 観光客が訪れることによる影響【複数回答】

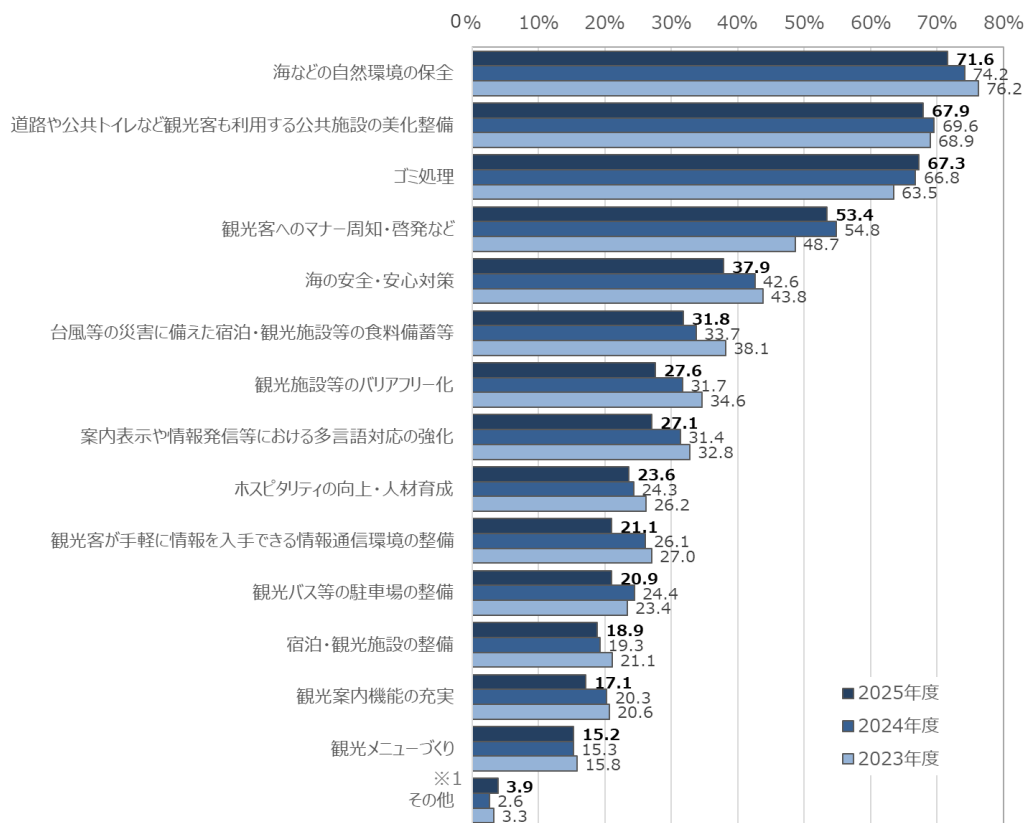


※1：「その他」の自由記述で挙げられた内容：レンタカーによる事故や悪質な運転が増える など

## 6. 宿泊税の導入に対する意識

- ・ 宿泊税の活用方法としては前回調査に引き続き「海などの自然環境の保全」が71.6%と最も多かった。次いで「道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備」67.9%、「ゴミ処理」67.3%と続く。自然環境保全や環境美化への活用が多く望まれている。

図表 宿泊税を導入した場合の活用方法【複数回答】



※1：2024年度までの調査票では、「観光税」について問う内容としていた。

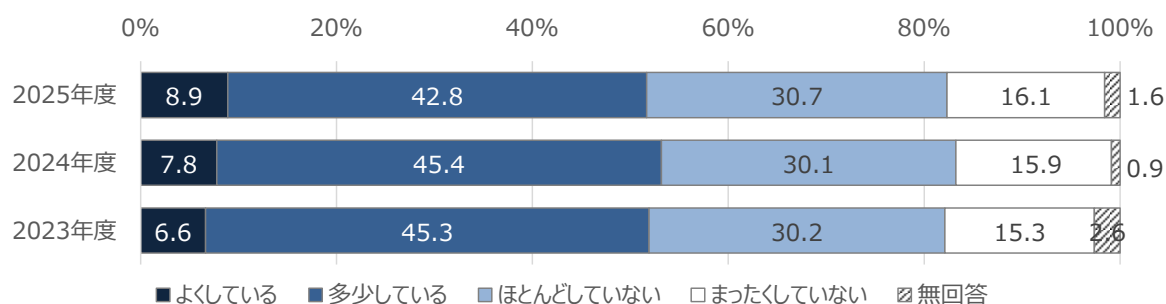
※2：「その他」の自由記述で挙げられた内容：モノレールの延伸／交通渋滞対策／県民や観光業従事者への還元 など

## 7. 持続可能な観光に対する意識

### (1) 持続可能な観光の推進に関わる活動

- ・回答者自身の「持続可能な観光」の推進に関わるような活動については、「よくしている」「多少している」を合わせて51.7%が活動していると回答した。前回の調査からは1.5ポイントの減少となった。

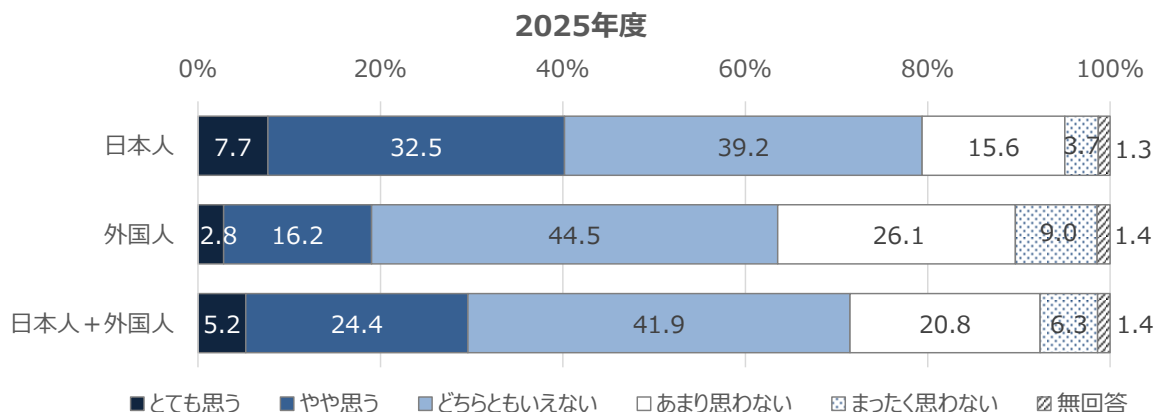
図表 持続可能な観光の推進に関わるような活動をしているか



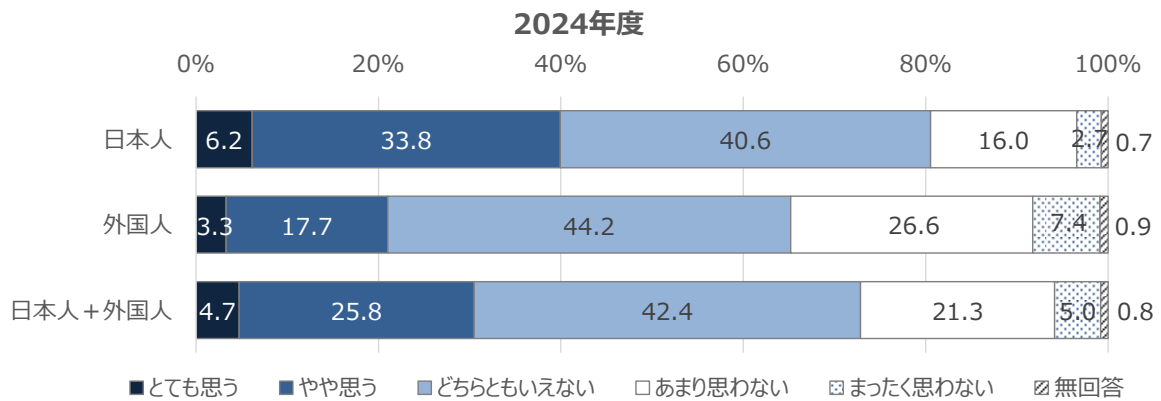
### (2) 観光客に対する評価と理由

- ・沖縄県を訪れる日本人観光客と外国人観光客について、地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができていると思うか尋ねたところ、「とても思う」「やや思う」を合わせると、日本人に対しては40.2%、外国人に対しては19.0%が行動できていると評価している。
- ・観光客の行動に対する評価が低い（「あまり思わない」「まったく思わない」と回答）人に対してはその理由も尋ねた。日本人、外国人いずれに対しても、「地域の文化や慣習が尊重されておらず、マナーが守られていない」が最も高い。次いで、日本人に対しては「運転マナーが悪い」が高く、外国人に対しては「ゴミのポイ捨てが多い」と「運転マナーが悪い」が高い。日本人、外国人いずれに対しても多くの項目で前年より上昇している。

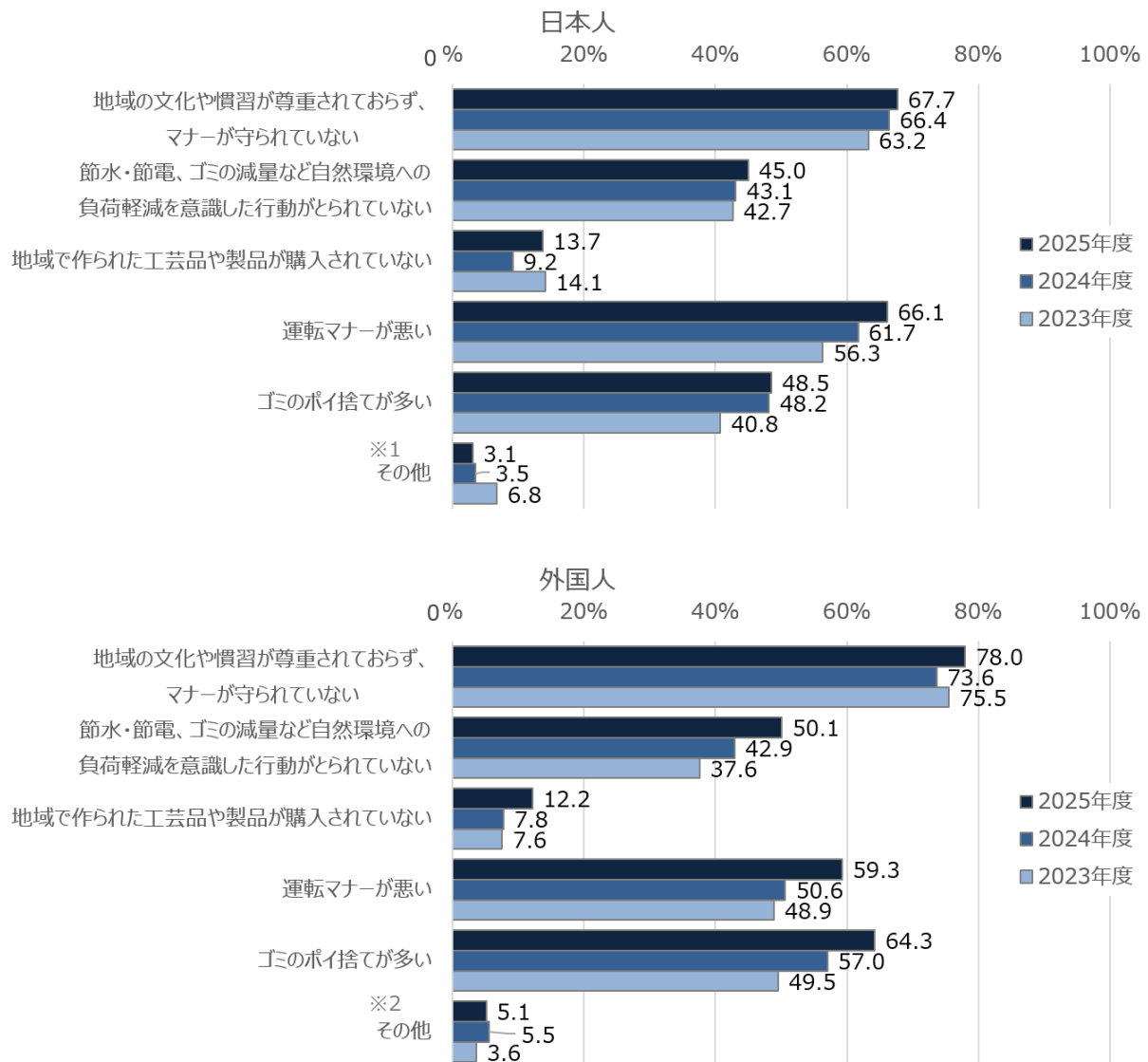
図表 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができているか



図表 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができているか（続き）



図表 （観光客の行動に対する評価が低い）理由としてあてはまるもの



※1：「その他」の自由記述で挙げられた内容：歴史や文化に対する理解・敬意が無い など

※2：「その他」の自由記述で挙げられた内容：大声で話すなどの騒音問題／列への割り込み／トイレの使い方が悪い など



## II 調査結果

---

1. 観光客との接点
2. 沖縄観光に対する意識
3. 観光産業に対する意識
4. 観光施策の重要度・達成度
5. 観光客来訪による影響
6. 宿泊税の導入に対する意識
7. 持続可能な観光に対する意識
8. 将来の沖縄観光のあり方や観光行政に関する意見



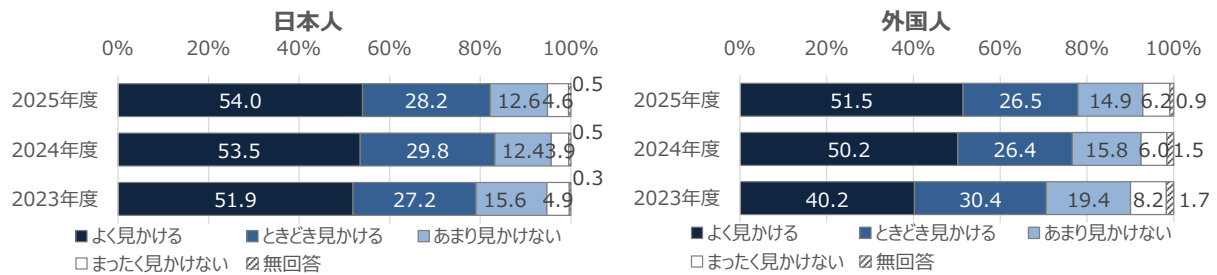
# 1. 観光客との接点

## (1) 観光客を見かける頻度

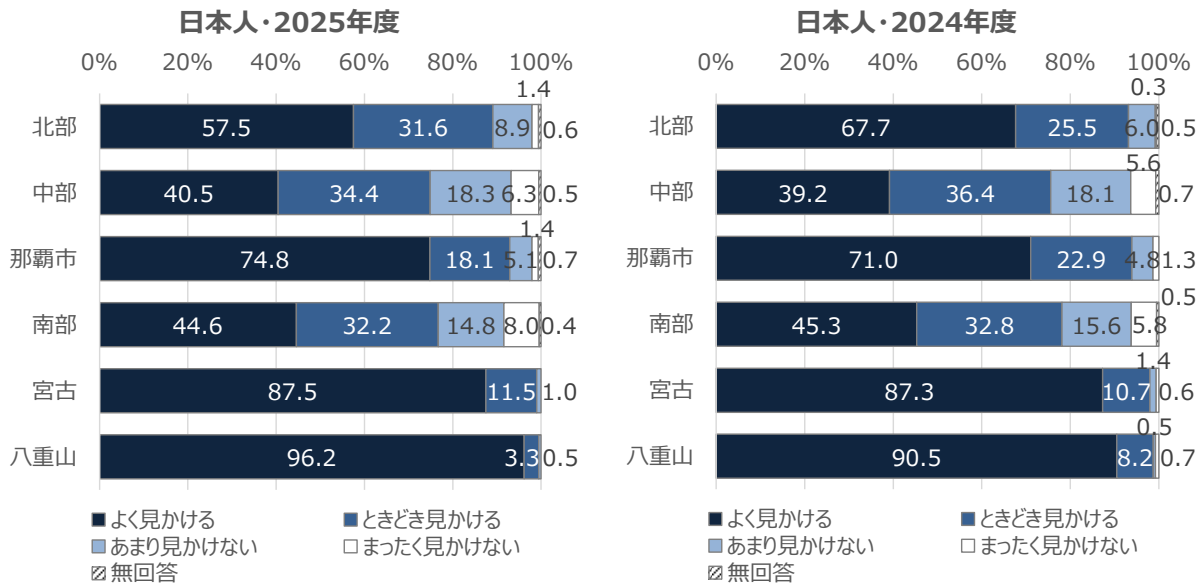
### Q1 あなたがお住まいの地域（市町村）で観光客を見かけたことがありましたか。

- 観光客を「よく見かける」割合は、日本人 54.0%、外国人 51.5% と日本人が外国人を上回る。前回調査と比べると、外国人観光客を見かける頻度が増加している。
- 地域別にみると、日本人は“八重山”、“宮古”で「よく見かける」割合が特に高く、“中部”、“南部”で低い。前回調査と比べると、すべての地域においてほぼ変わらない割合となっている。一方、外国人は“八重山”と“那覇市”で「よく見かける」割合が高く、“那覇市”では日本人よりも多い。前回調査と比べると、特に“八重山”の「よく見かける」割合が大きく増加している。
- 性別でみると、男女で大きな差はみられない。
- 年代別にみると、20代の割合が高く、30代以降は年代が上昇するほど観光客を見かける頻度が少なくなる傾向にある。

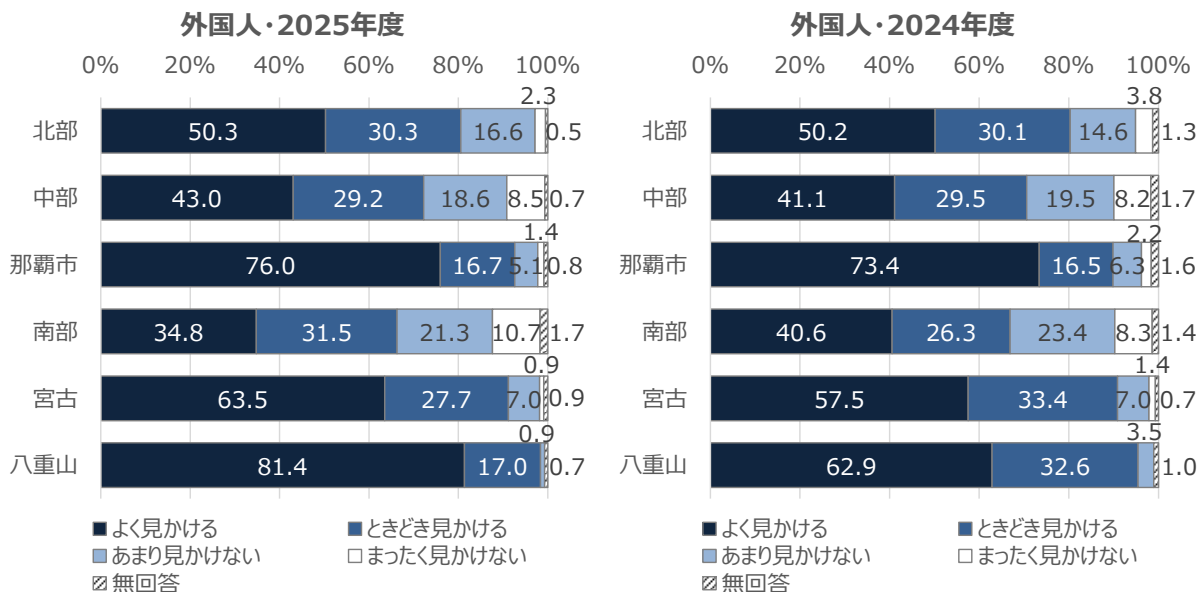
図表 1-1-1 観光客を見かける頻度



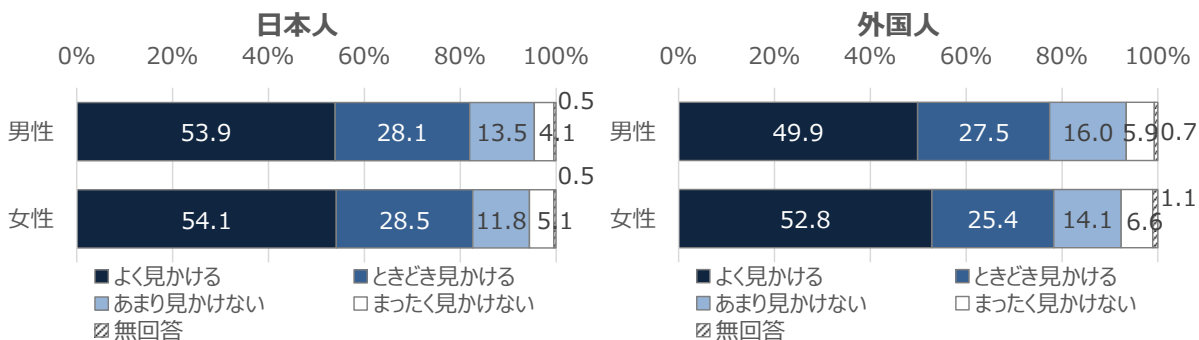
図表 1-1-2 日本人観光客を見かける頻度（地域別）



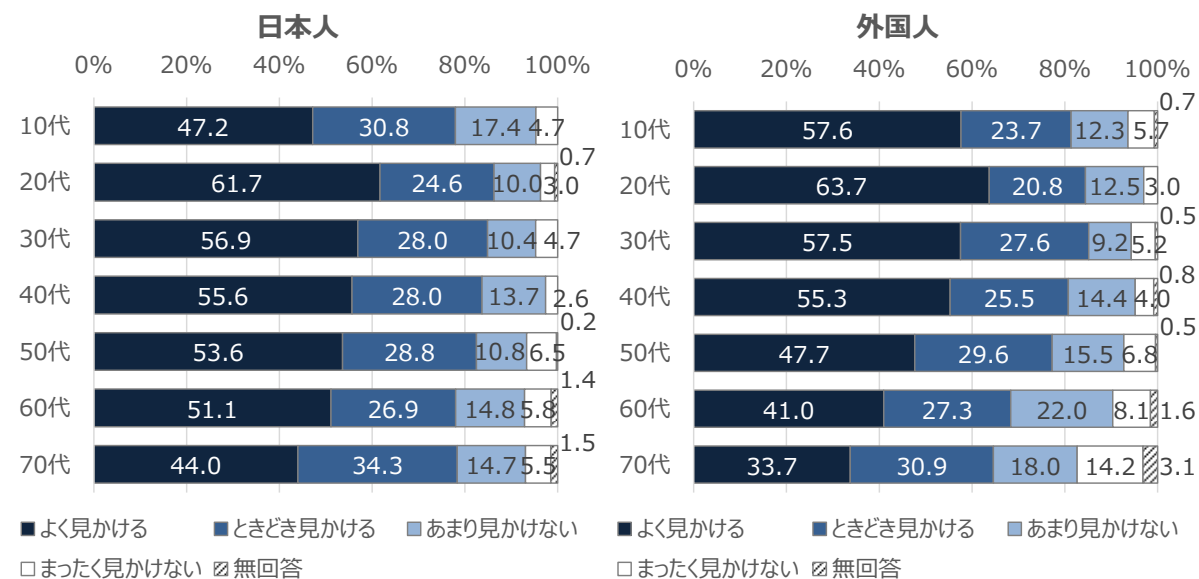
図表 1-1-3 外国人観光客を見かける頻度（地域別）



図表 1-1-4 観光客を見かける頻度（性別）



図表 1-1-5 観光客を見かける頻度（年代別）

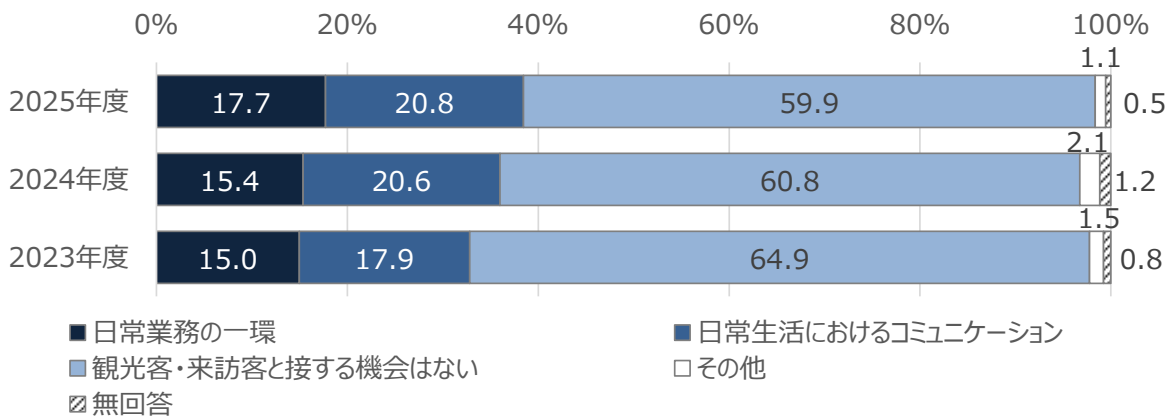


## (2) 観光客と接する機会

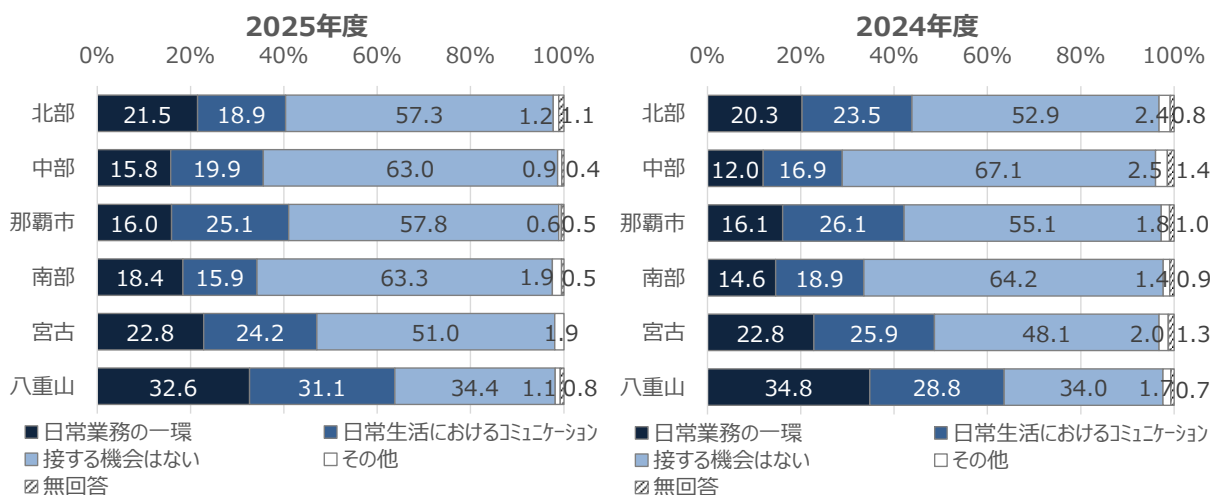
### Q2 あなたは、沖縄県内で観光客と接する機会がありますか。

- 観光客と接する機会は、「日常業務の一環で接している」が17.7%、「日常生活におけるコミュニケーションで接している」が20.8%、「接する機会はない」が59.9%であった。近年は観光客と接する機会が増加傾向にある。
- 地域別にみると、“中部”や“南部”で「日常業務の一環」が前回調査と比べて増加している。また、“八重山”以外のすべての地域において、「接する機会はない」が「日常業務の一環で接している」と「日常生活におけるコミュニケーションで接している」の合計を上回った。
- 性別でみると、男女で大きな差はみられない。
- 年代別にみると、“70代”で「接する機会はない」が最も高いほか、20代以降は年代が上昇するほど観光客と接する機会が少なくなる傾向にある。

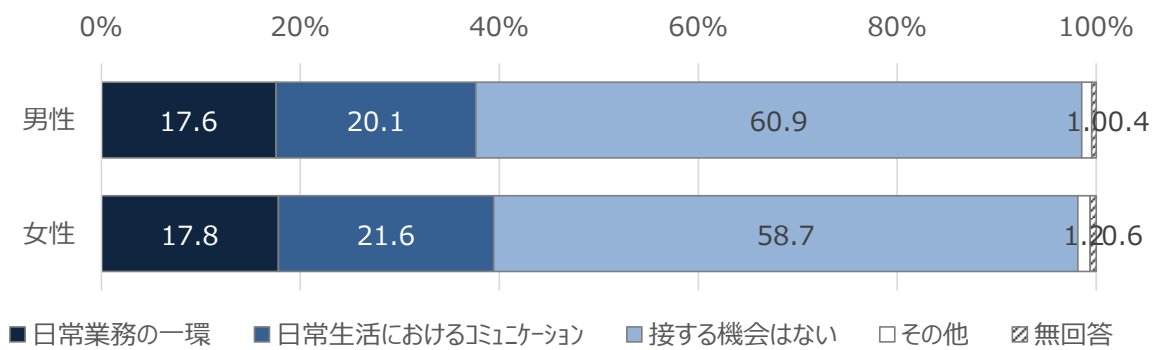
図表 1-2-1 観光客と接する機会



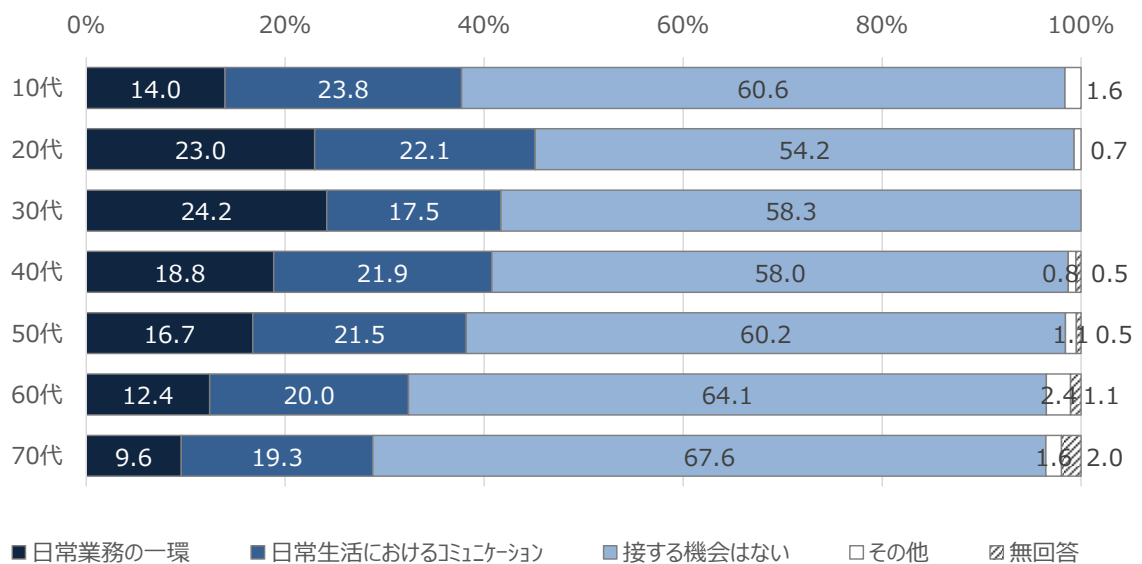
図表 1-2-2 観光客と接する機会（地域別）



図表 1-2-3 観光客と接する機会（性別）



図表 1-2-4 観光客と接する機会（年代別）



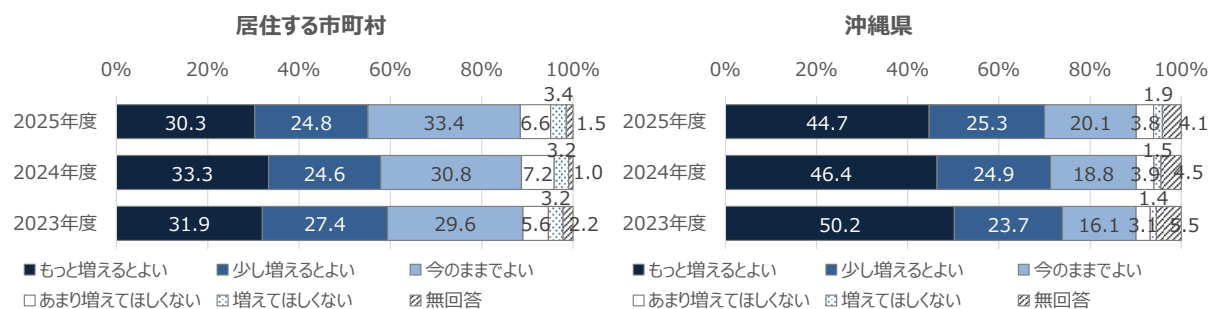
## 2. 沖縄観光に対する意識

### (1) 日本人観光客の来訪に対する考え

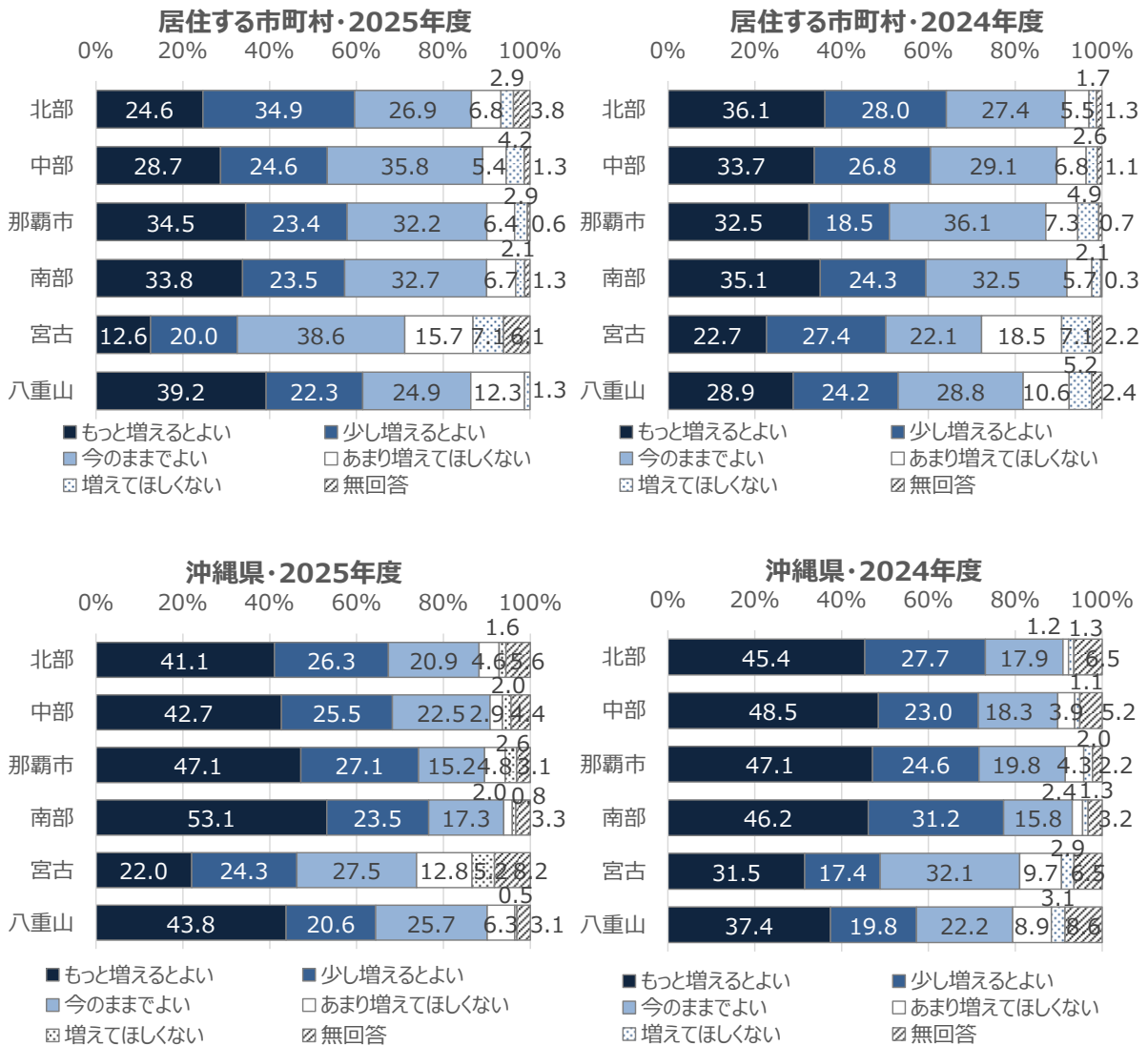
Q11 あなたがお住まいの地域や沖縄県を訪れる日本人観光客が、今後もっと増えるとよいと思いますか。

- 日本人観光客の来訪に関して、沖縄県全体としては「増えてほしい層（もっと増えるとよい＋少し増えるとよい）」が70.0%を占めるのに対し、自分が居住する市町村については「増えてほしい層」は55.1%に留まる。沖縄県全体としては増えてほしいが、居住市町村は今のままでよい、というギャップがみられた。前回調査と比べると、居住市町村、沖縄県ともに「増えてほしい層」がやや減少した。
- 地域別にみると、居住市町村への来訪に対して「もっと増えるとよい」と回答した割合は、“八重山”で39.2%と最も高く、次いで“那覇市”の34.5%であった。また、沖縄県への来訪に対して、「もっと増えるとよい」と回答した割合は、“南部”で53.1%と最も高く、次いで“那覇市”の47.1%であった。全ての地域において、居住市町村への来訪が「増えてほしい層」よりも、沖縄県への来訪が「増えてほしい層」の方が高い割合となった。なお、前回調査と比べると「増えてほしい層」は、居住市町村、沖縄県ともに“那覇市”と“八重山”で増加している。
- 性別でみると、居住市町村への来訪に対しては“男性”の「増えてほしい層」が多い。
- 年代別にみると、居住市町村への来訪、沖縄県への来訪とも“10代”や“50代”で「増えてほしい層」がやや多い。
- 観光客と接する機会別では、“日常生活のコミュニケーション”で接している層で「増えてほしい層」がやや高い。
- 観光客を見かける頻度別にみると、居住市町村、沖縄県への来訪に対してはともに“ときどき見かける”人ほど「増えてほしい層」が多い。

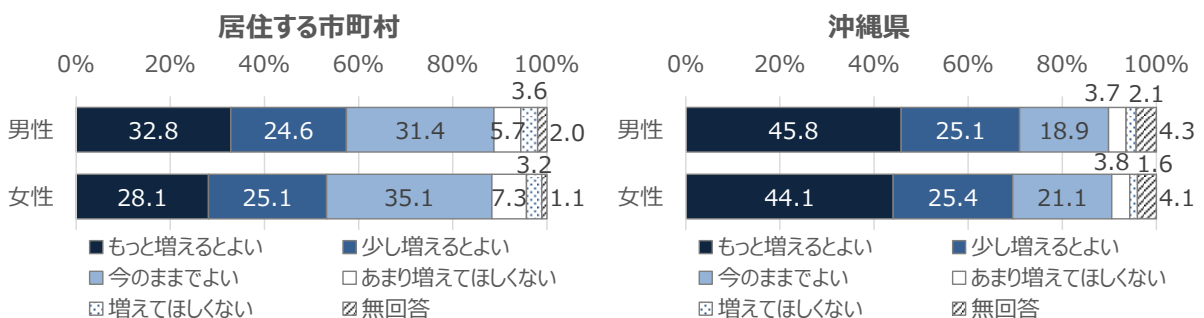
図表 2-1-1 日本人観光客の来訪に対する考え



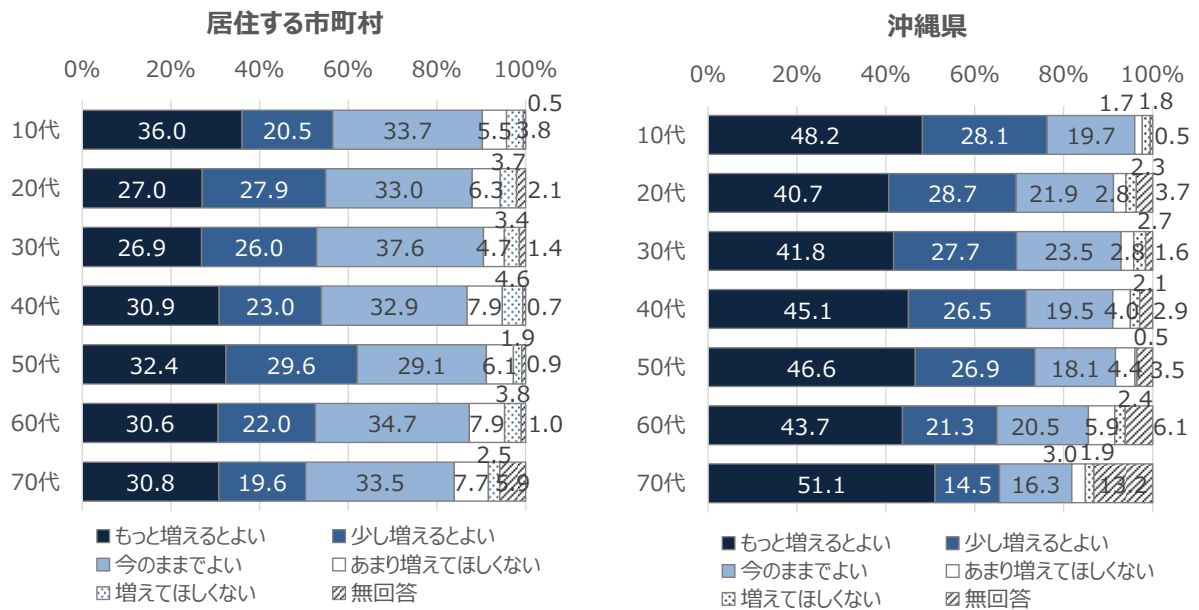
図表 2-1-2 日本人観光客の来訪に対する考え（地域別）



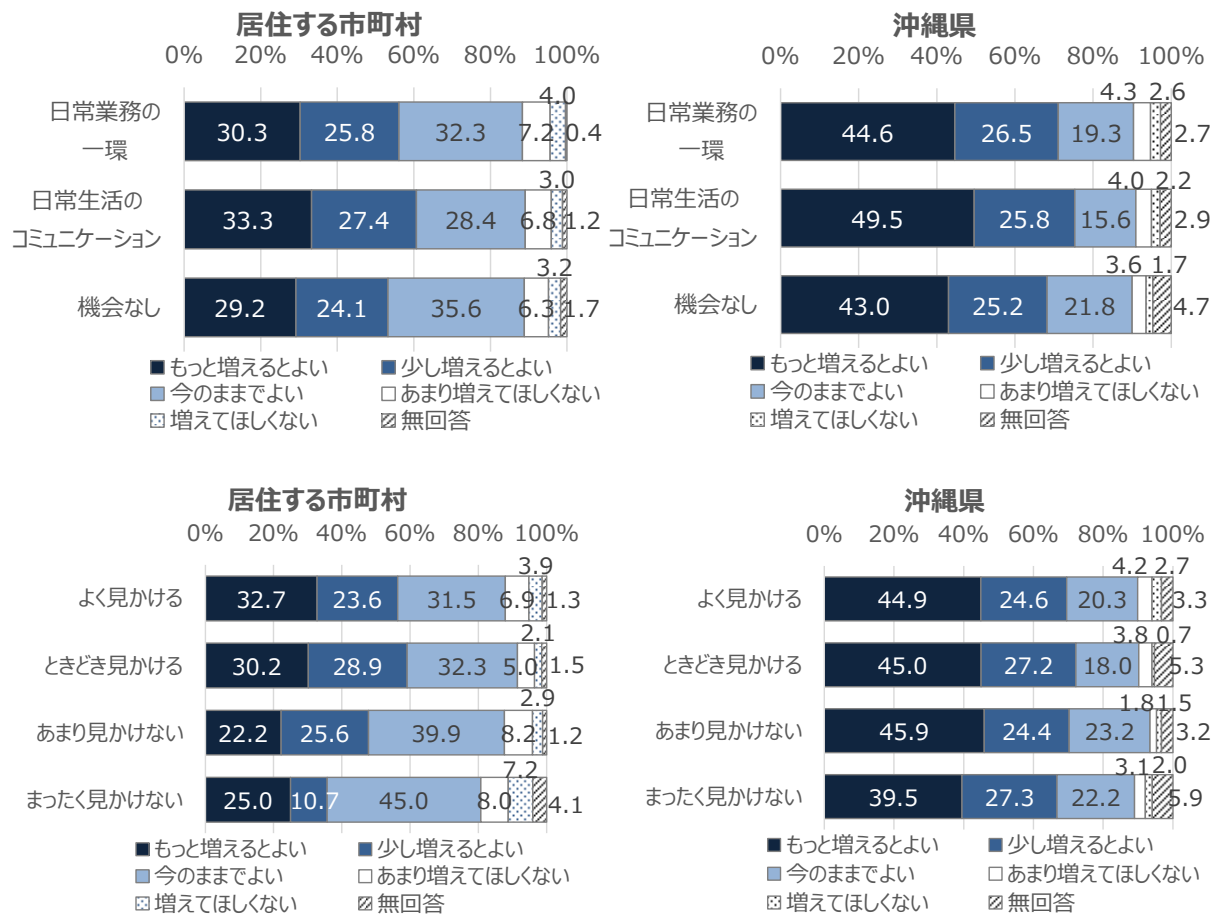
図表 2-1-3 日本人観光客の来訪に対する考え（性別）



図表 2-1-4 日本人観光客の来訪に対する考え（年代別）



図表 2-1-5 日本人観光客の来訪に対する考え（観光客と接する機会別）

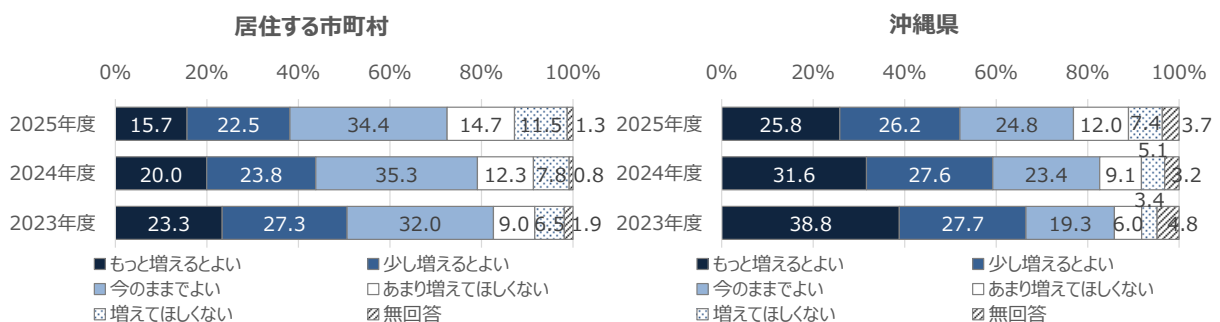


## (2) 外国人観光客の来訪に対する考え

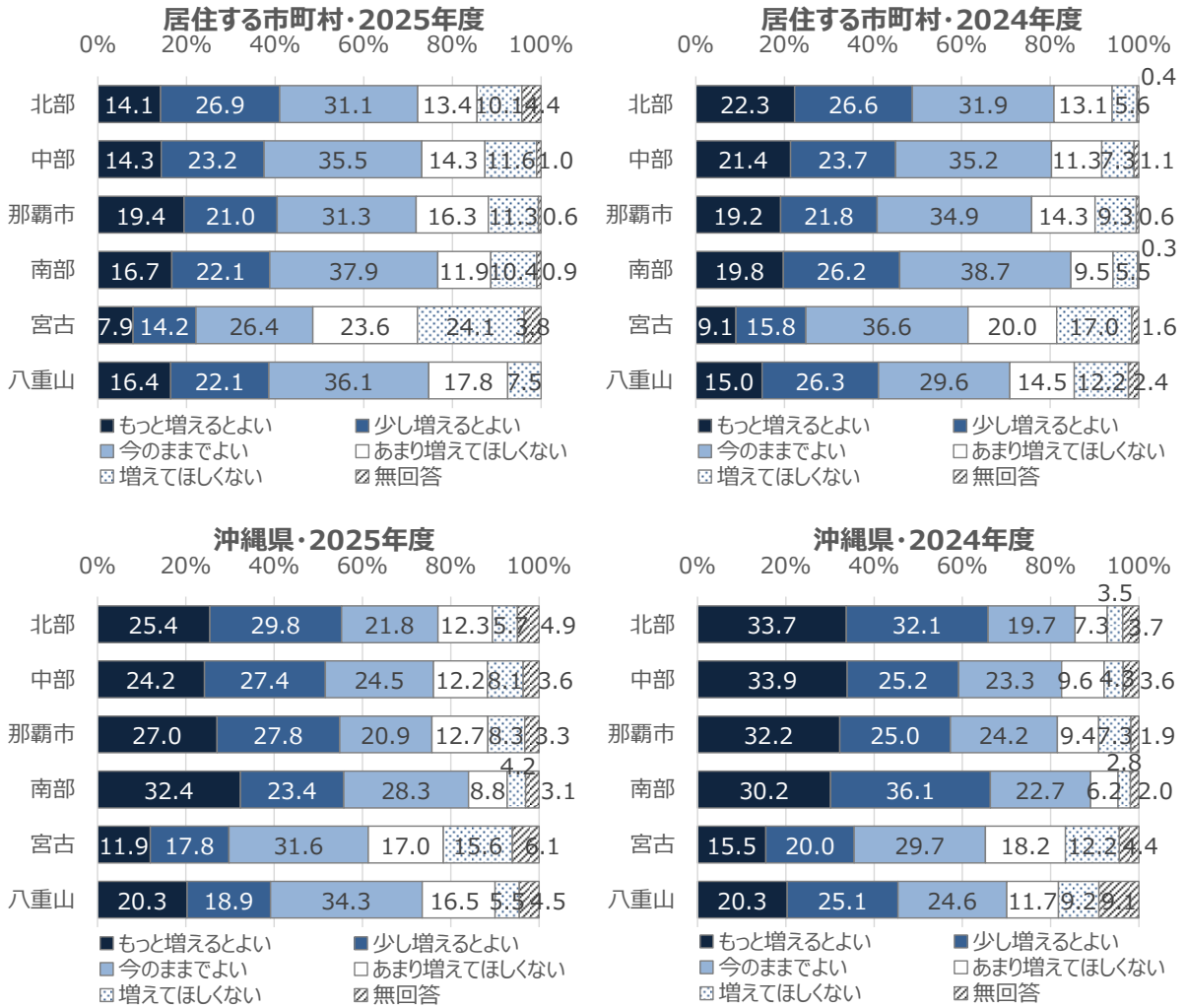
Q12 あなたがお住まいの地域や沖縄県へ外国人観光客が訪れることについてどうお考えですか。

- 居住する市町村への外国人観光客の来訪に関しては、「増えてほしい層（もっと増えるとよい＋少し増えるとよい）」38.2%、「増えてほしくない層（あまり増えてほしくない＋増えてほしくない）」26.2%であった。沖縄県全体としては「増えてほしい層」が52.0%を占めた。日本人観光客同様、外国人観光客についても、沖縄県全体と居住市町村とではギャップがみられた。前回調査と比べると、沖縄県全体、居住市町村ともに「増えてほしい層」が減少している。
- 地域別にみると、沖縄県全体、居住市町村ともに「増えてほしい層」の割合が最も少ないのは“宮古”であった。“宮古”では「増えてほしくない層」も他地域に比べて多い。前回調査と比べると、沖縄県全体、居住市町村ともに全ての地域で「増えてほしい層」が減少しているが、特に“北部”“中部”“南部”での減少幅が大きい。
- 性別では、居住市町村、沖縄県ともに“男性”のほうが「増えてほしい層」がやや多い。
- 年代別では、居住する市町村への来訪に対しては“50代”の「増えてほしい層」が最も多い。一方、沖縄県への来訪に対しては、20代以降は年代が上昇するほど「増えてほしい層」が多くなる傾向にある。
- 観光客と接する機会別では、居住市町村、沖縄県ともに“日常生活のコミュニケーションで接している”人で「増えてほしい層」が多い。
- 外国人観光客を見かける頻度別にみると、居住市町村、沖縄県ともに“ときどき見かける”人で「増えてほしい層」が多い。

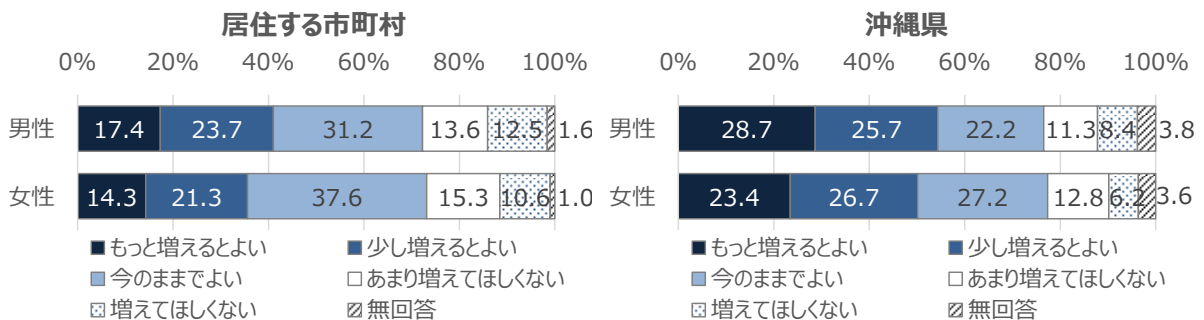
図表 2-2-1 外国人観光客の来訪に対する考え



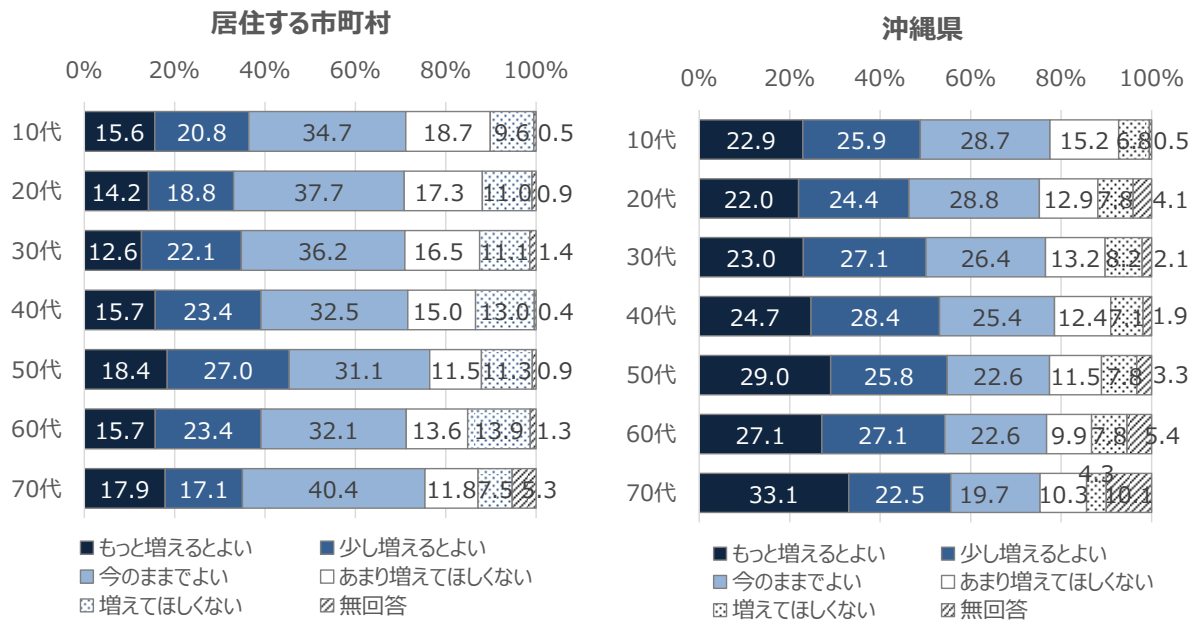
図表 2-2-2 外国人観光客の来訪に対する考え（地域別）



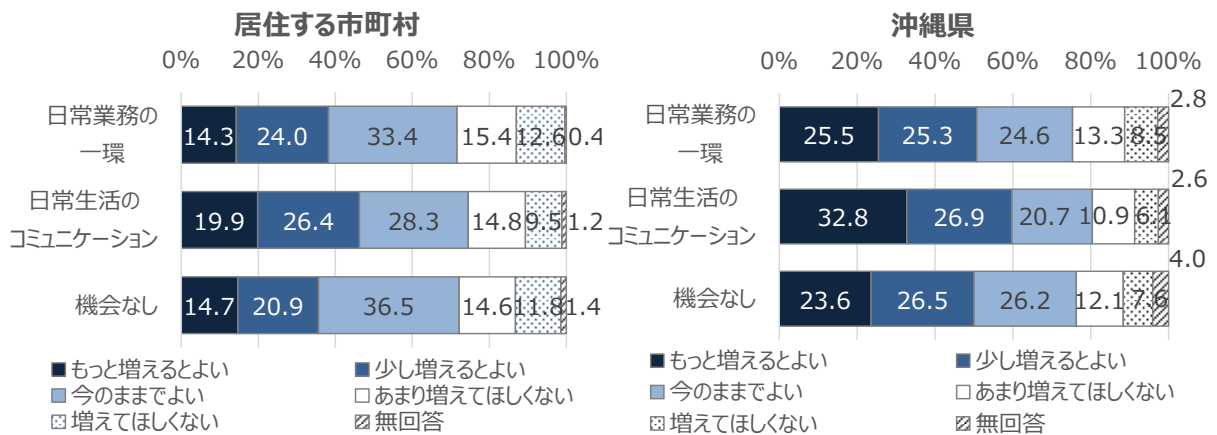
図表 2-2-3 外国人観光客の来訪に対する考え（性別）



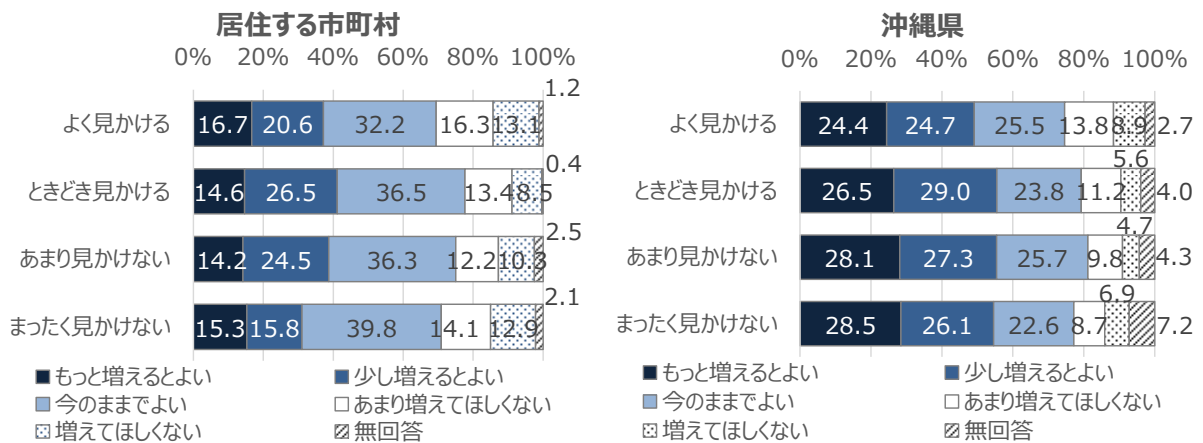
図表 2-2-4 外国人観光客の来訪に対する考え（年代別）



図表 2-2-5 外国人観光客の来訪に対する考え（観光客と接する機会別）



図表 2-2-6 外国人観光客の来訪に対する考え（外国人観光客を見かける頻度別）

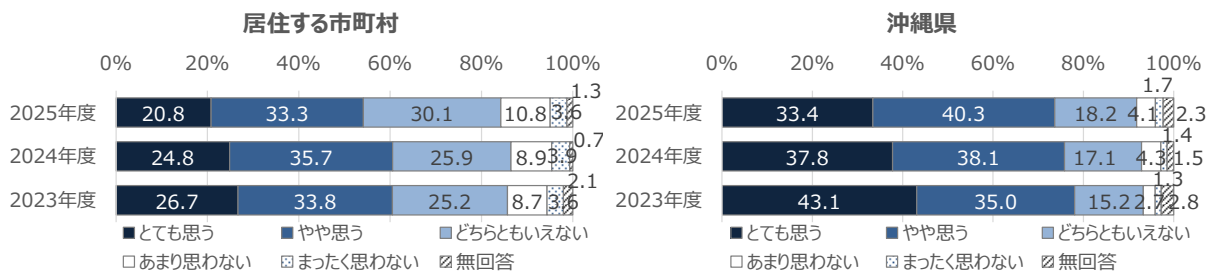


### (3) 観光の発展への期待

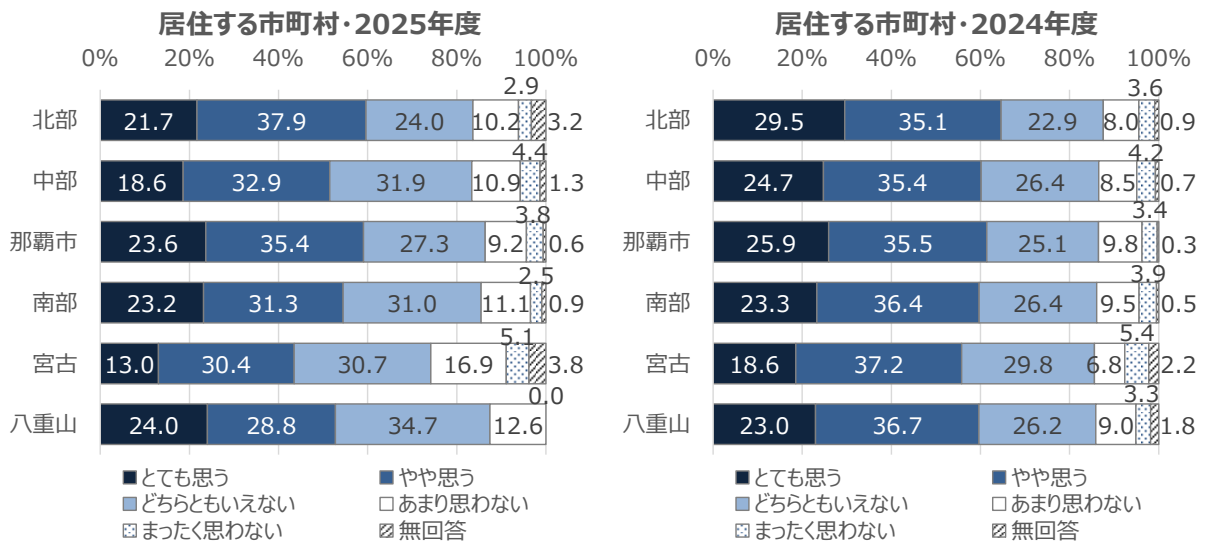
#### Q13 あなたがお住まいの地域や沖縄県の観光が、もっと盛んになるといいと思いますか。

- 居住する市町村の観光の発展を期待する人の割合は「期待する派（とても思う＋やや思う）」が54.1%を占め、「期待しない派（あまり思わない＋まったく思わない）」の14.4%を大幅に上回った。沖縄県全体としては「期待する派」が73.7%を占めており、観光の発展への期待は大きい。前回調査と比べると、居住市町村、沖縄県ともに「期待する派」が減少した。
- 地域別でみると、居住市町村、沖縄県ともに「期待する派」は“那覇市”で最も多く、“宮古”で最も少ない。“宮古”は居住市町村、沖縄県ともに「期待しない派」も多い。
- 性別でみると、あまり差は見られない。
- 年代別では、居住市町村、沖縄県ともに“10代”からの期待が大きい。
- 観光客と接する機会別では、居住市町村、沖縄県ともに“日常業務の一環”と“日常生活のコミュニケーションで接している”人で「期待する派」が多い。
- 観光客を見かける頻度別にみると、居住市町村に関しては、見かける頻度が高い人ほど期待する派が多い傾向にある。一方、沖縄県に関しては、見かける頻度による大きな差はみられない。

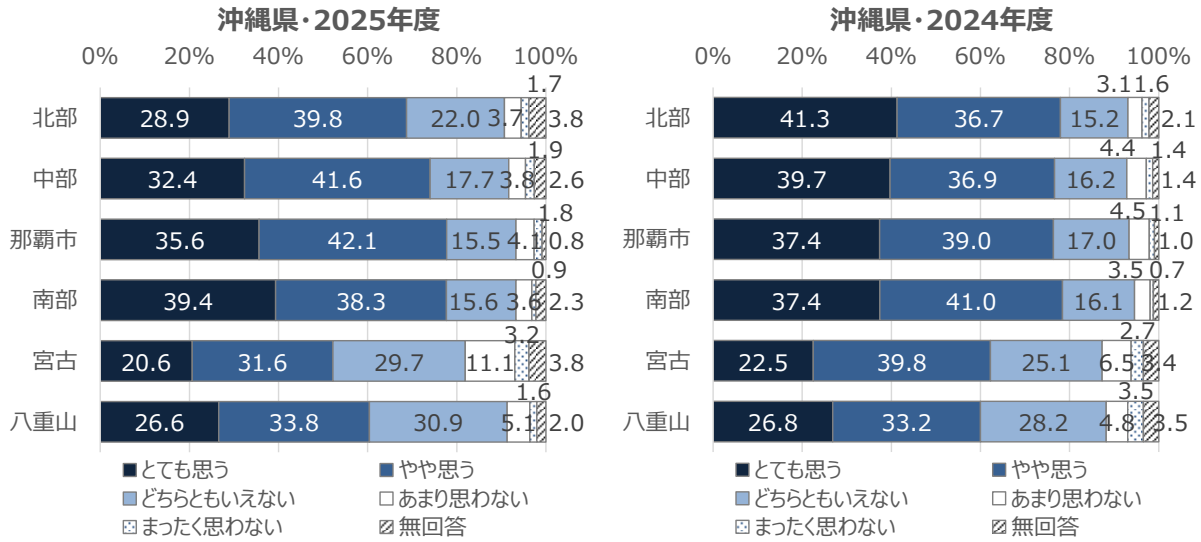
図表 2-3-1 観光がもっと盛んになるといいと思うか



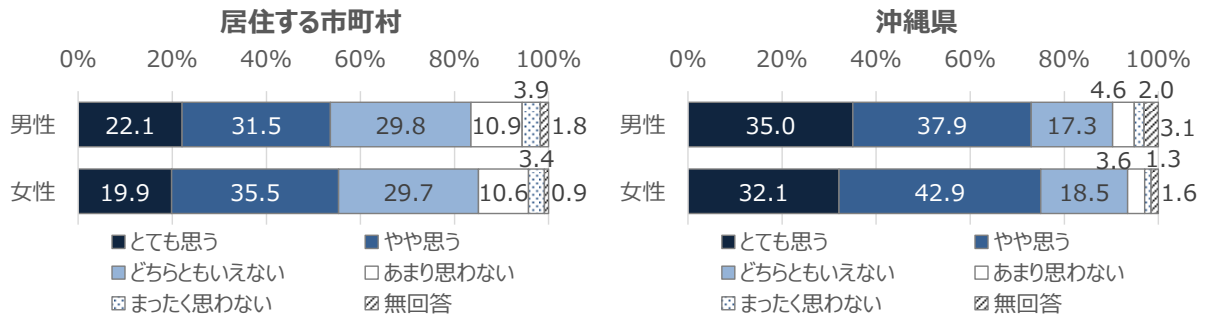
図表 2-3-2 観光がもっと盛んになるといいと思うか（地域別）



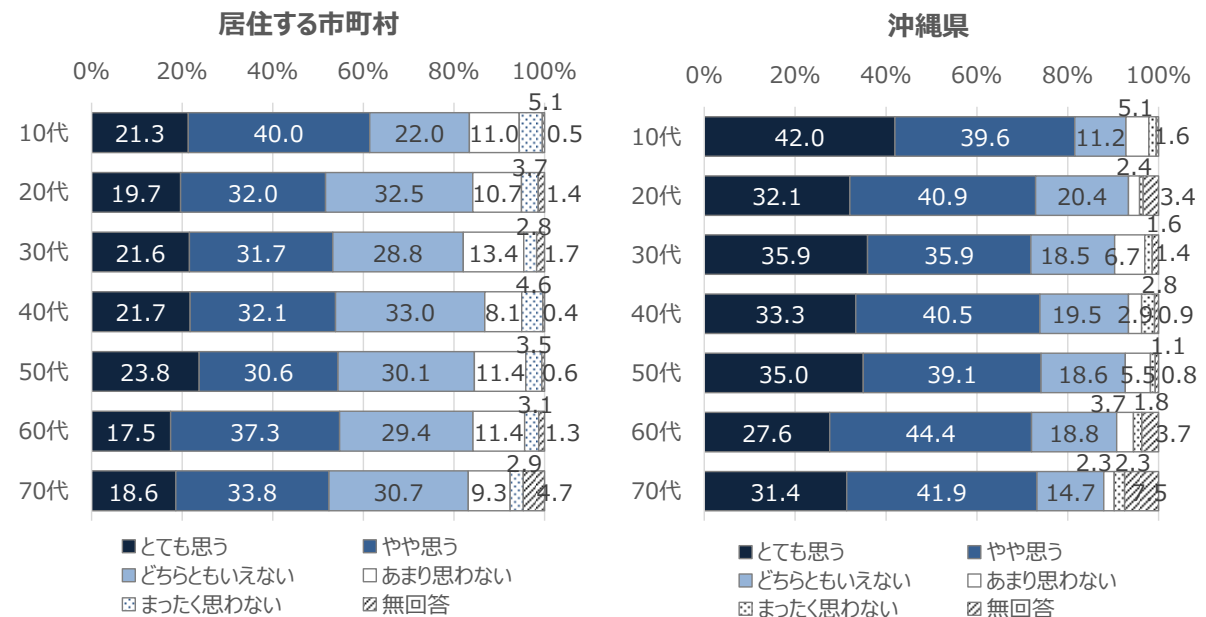
図表 2-3-2 (つづき) 観光がもっと盛んになるといいと思うか (地域別)



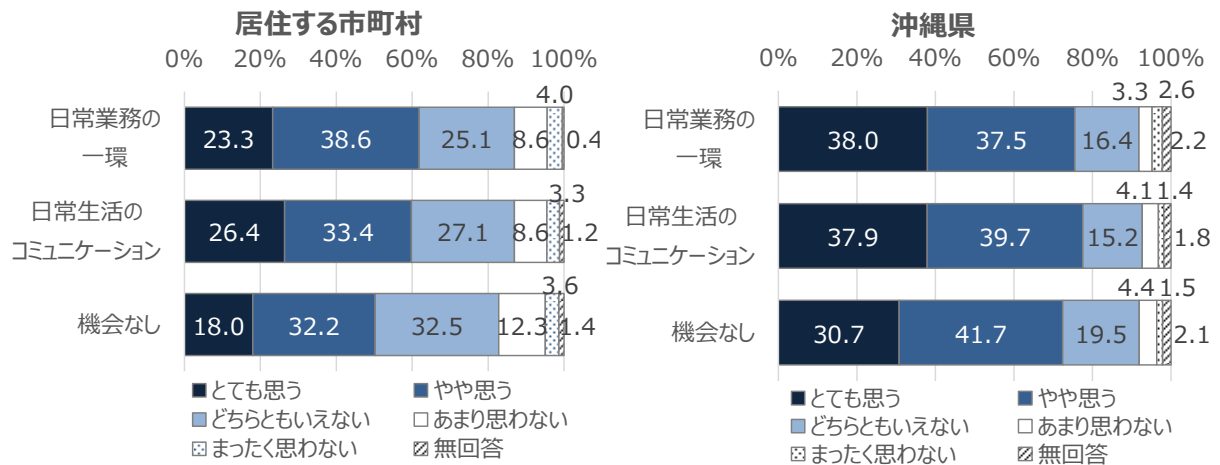
図表 2-3-3 観光がもっと盛んになるといいと思うか (性別)



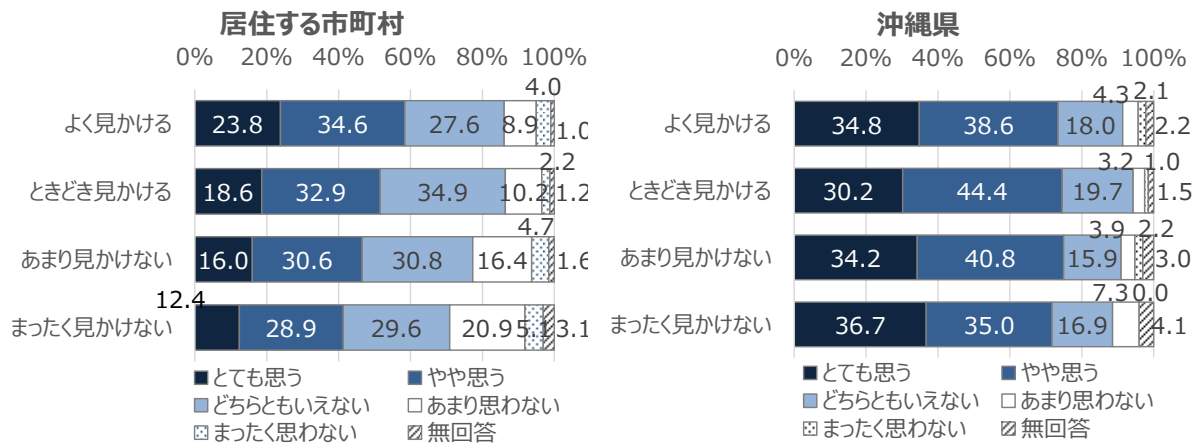
図表 2-3-4 観光がもっと盛んになるといいと思うか (年代別)



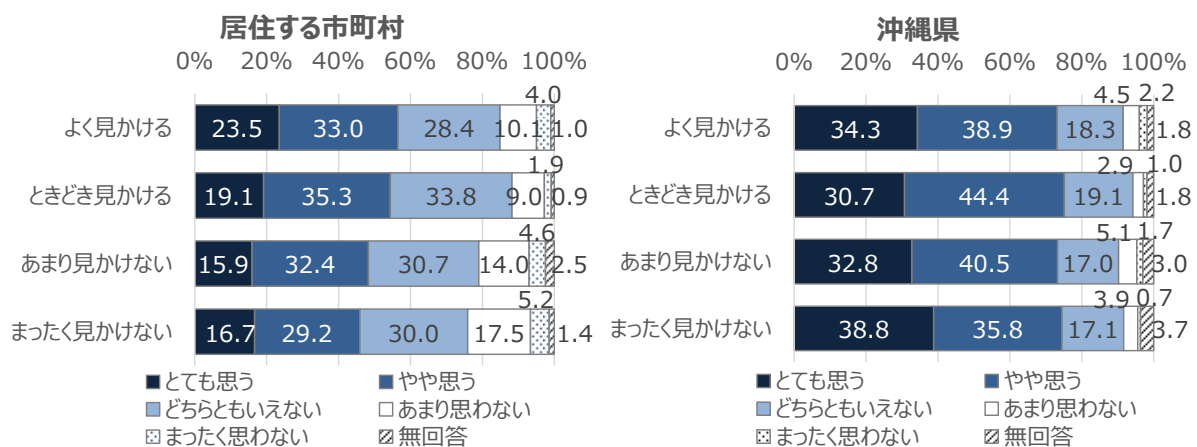
図表 2-3-5 観光がもっと盛んになるといいと思うか（観光客と接する機会別）



図表 2-3-6 観光がもっと盛んになるといいと思うか（日本人観光客を見かける頻度別）



図表 2-3-7 観光がもっと盛んになるといいと思うか（外国人観光客を見かける頻度別）

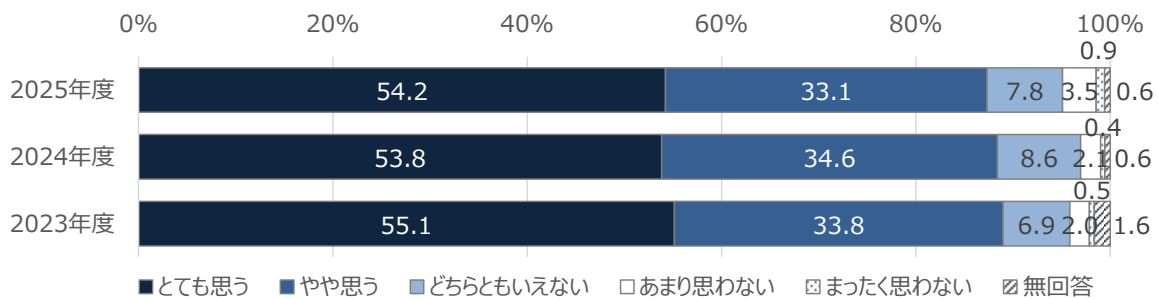


#### (4) 沖縄の発展における観光の重要性

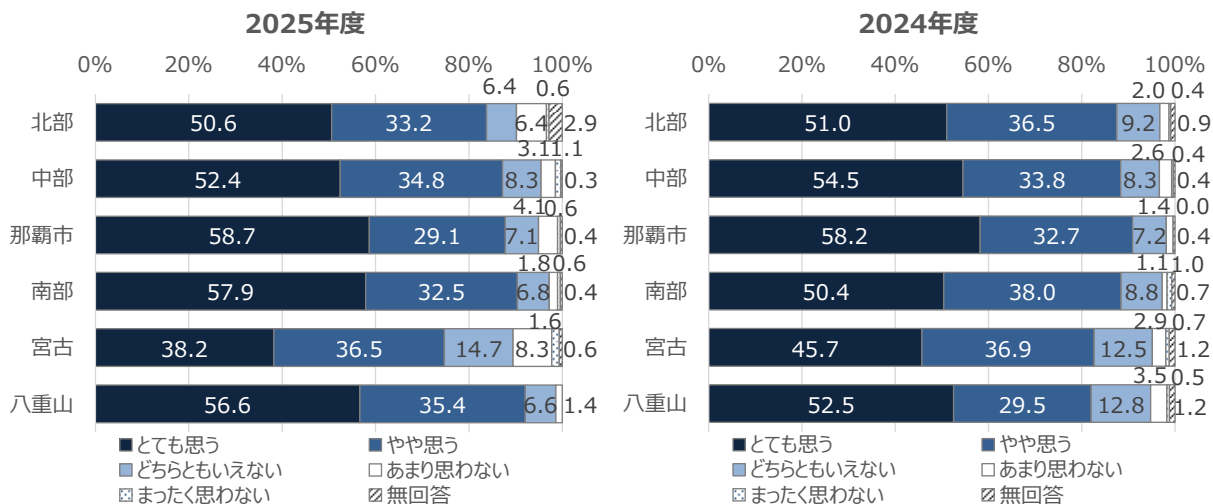
##### Q5 沖縄県の発展には、観光が重要な役割を果たしていると思いますか。

- 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか尋ねたところ、「とても思う」が54.2%と約半数を占めた。「やや思う」を加えると、87.3%の人が観光の重要性を評価している。「とても思う」に「やや思う」を加えた割合は、前回調査よりやや減少した。
- 地域別でみると、“宮古”以外では「とても思う」が過半数を超えており、「やや思う」まで含めると、“中部”、“那覇市”、“南部”の約9割が観光の重要性を高く評価している。
- 性別では、“男性”の方が「とても思う」割合が高い。
- 年代別では、“40代”の「とても思う」割合がやや低い。
- 観光客と接する機会別では、“日常業務の一環”で接している人の「とても思う」割合が高い。

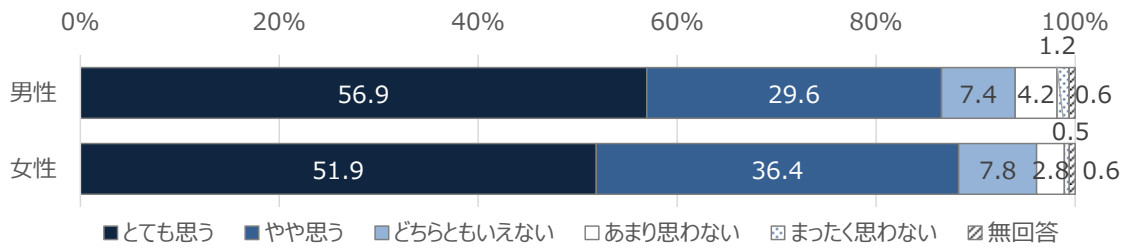
図表 2-4-1 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか



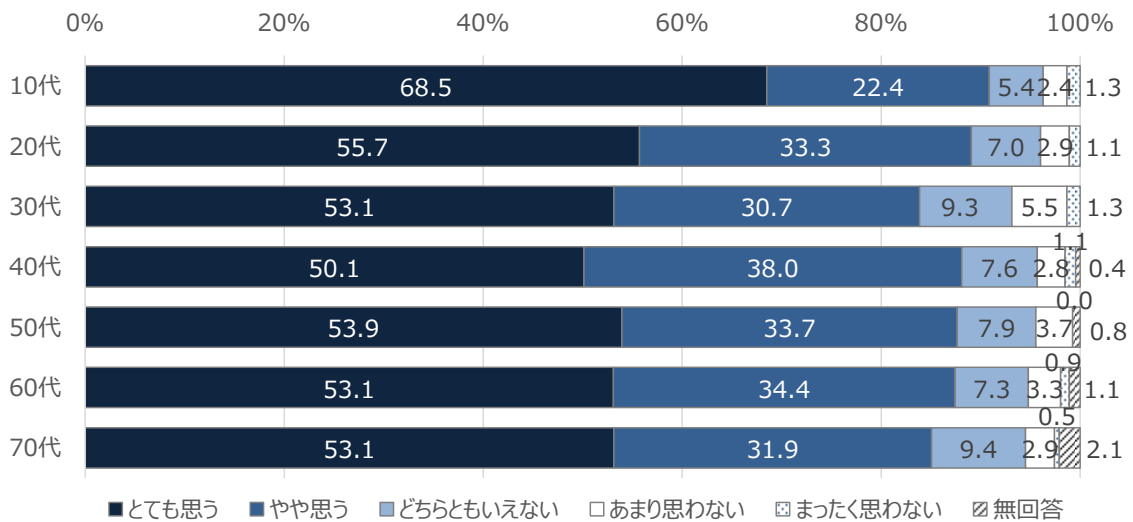
図表 2-4-2 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか（地域別）



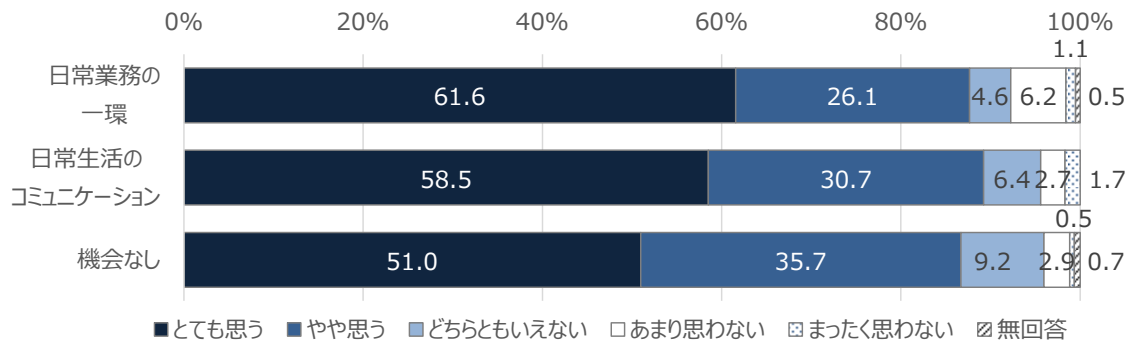
図表 2-4-3 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか（性別）



図表 2-4-4 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか（年代別）



図表 2-4-5 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか（観光客と接する機会別）

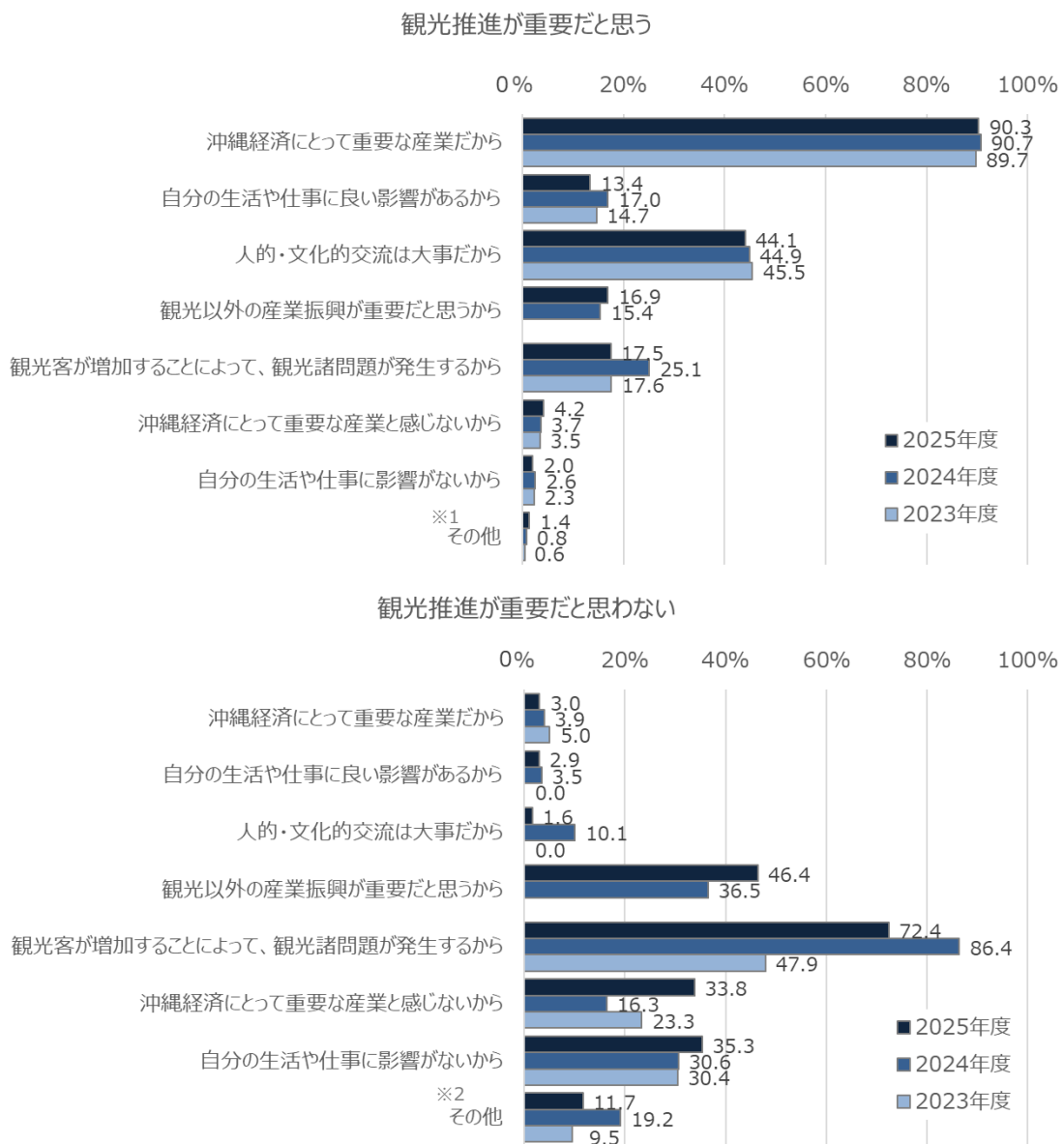


## (5) 沖縄の発展における観光の重要性の理由

Q5-2 Q5でそう選択した理由としてあてはまるものをお選びください。

- 観光の重要性について、その理由を尋ねたところ、観光推進が重要だと思う層（「とても思う」「やや思う」と回答）は、90.3%が「沖縄経済にとって重要な産業だから」を理由として挙げた。一方、観光推進が重要だと思わない層（「あまり思わない」「まったく思わない」と回答）は、72.4%が「観光客が増加することによって、観光諸問題が発生するから」を理由として挙げた。前回調査と比べると「観光客が増加することによって、観光諸問題が発生するから」が減少し、「観光以外の産業振興が重要だと思うから」が増加した。

図表 2-5-1 沖縄の発展における観光の重要性の理由【複数回答】



※1:「その他」の自由記述で挙げられた内容：沖縄には独特の雰囲気、カルチャーがあるから など

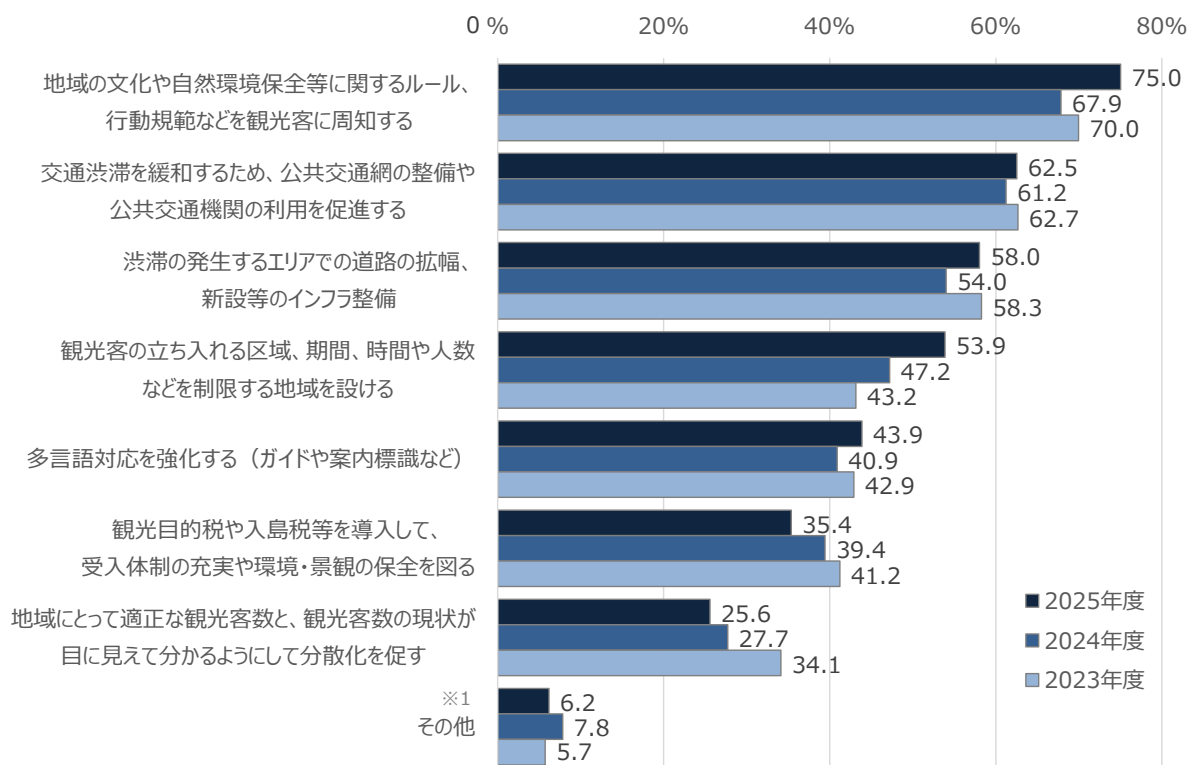
※2:「その他」の自由記述で挙げられた内容：県民の所得が増えない、県民への還元がないから など

## (6) 観光諸問題への対応

Q5-3 Q5-2で「観光客が増加することによって、観光諸問題が発生するから」と回答した方にお尋ねします。あなたがお住まいの地域や沖縄県で発生すると思われる「観光諸問題」に関する対応としてどのようなものが考えられますか。

- 観光の重要性に関する理由について「観光客が増加することによって、観光諸問題が発生するから」と回答した人に、考えられる対策について尋ねたところ、「地域の文化や自然環境保全等に関するルール、行動規範などを観光客に周知する」が75.0%、「交通渋滞を緩和するため、公共交通網の整備や公共交通機関の利用を促進する」が62.5%、「渋滞の発生するエリアでの道路の拡幅、新設等のインフラ整備」が58.0%と多かった。

図表 2-6-1 「観光諸問題」に関する対応【複数回答】



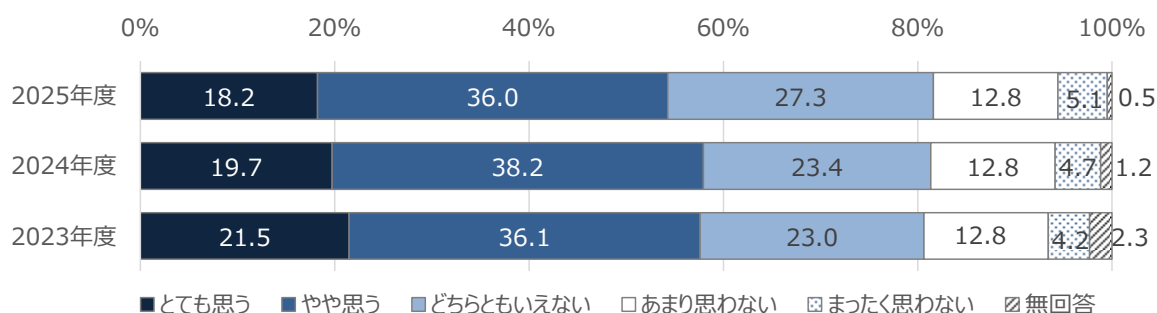
※1：「その他」の自由記述で挙げられた内容：罰則の強化 など

## (7) 観光の発展と生活の豊かさとのつながり

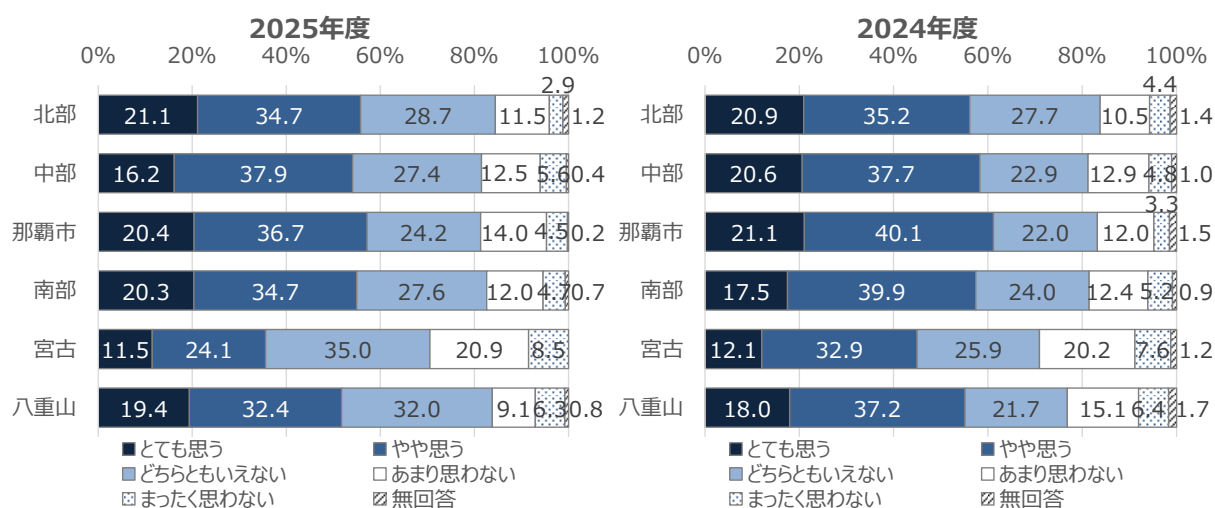
### Q6 観光が発展すると、あなたの生活も豊かになると思いますか。

- 観光が発展すると自分の生活も豊かになると思うかについては、「とても思う」「やや思う」を合わせた割合が 54.2%であり、半数以上の人が生活の豊かさにつながっていると認識している。前回調査と比べると「とても思う」「やや思う」とともに減少した。
- 地域別でみると、“宮古”で「とても思う」と捉える人が少ない。
- 性別では、男性のほうが「とても思う」と捉える人が多い。
- 年代別では、観光の発展が生活の豊かさにつながると捉えている人は“10代”で最も多い。
- 観光客と接する機会別では、“日常業務の一環”で接している人は観光の発展が生活の豊かさにつながると捉えている傾向にある。

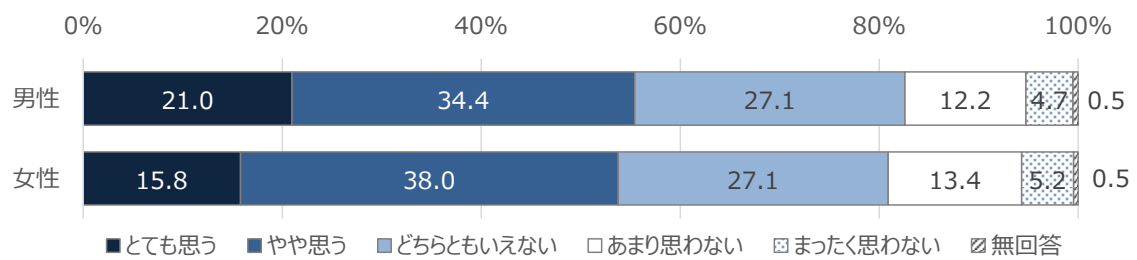
図表 2-7-1 観光が発展するとあなたの生活も豊かになると思うか



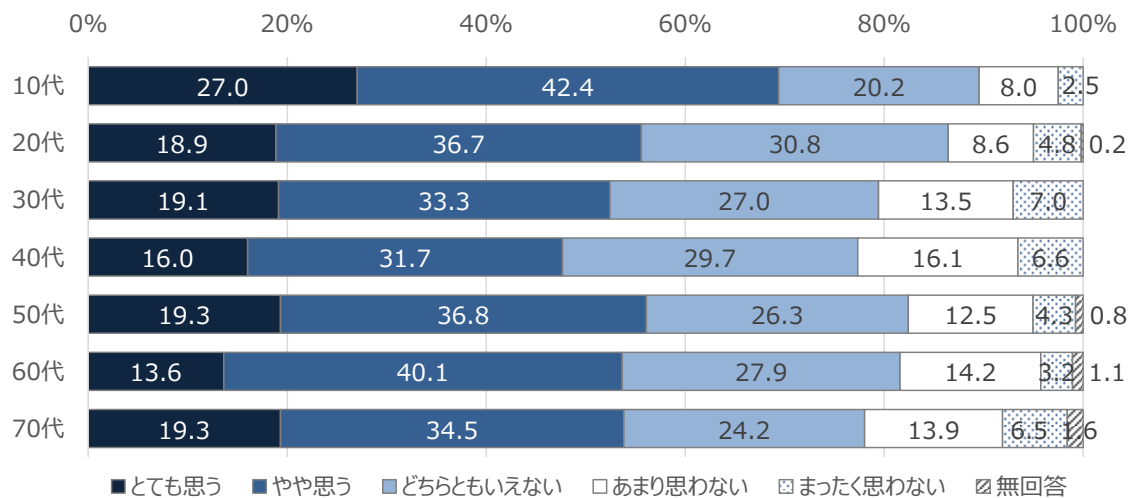
図表 2-7-2 観光が発展するとあなたの生活も豊かになると思うか（地域別）



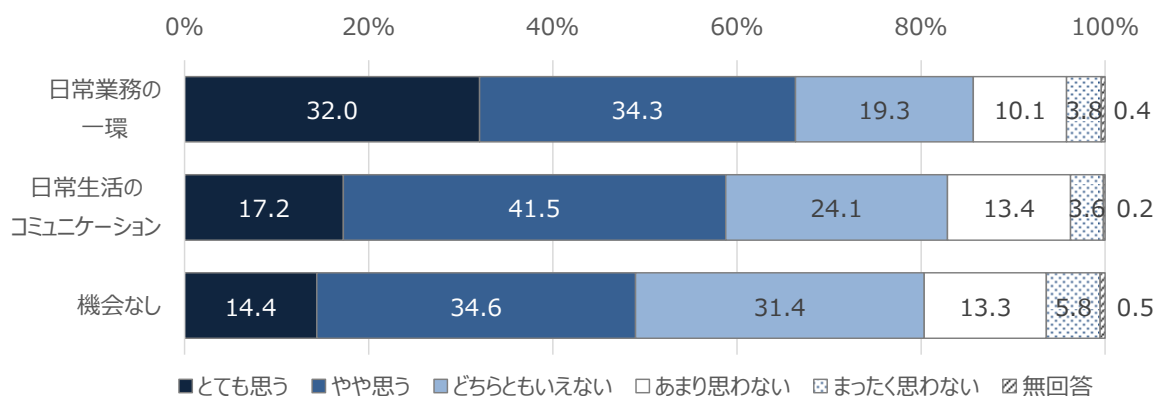
図表 2-7-3 観光が発展するとあなたの生活も豊かになると思うか（性別）



図表 2-7-4 観光が発展するとあなたの生活も豊かになると思うか（年代別）



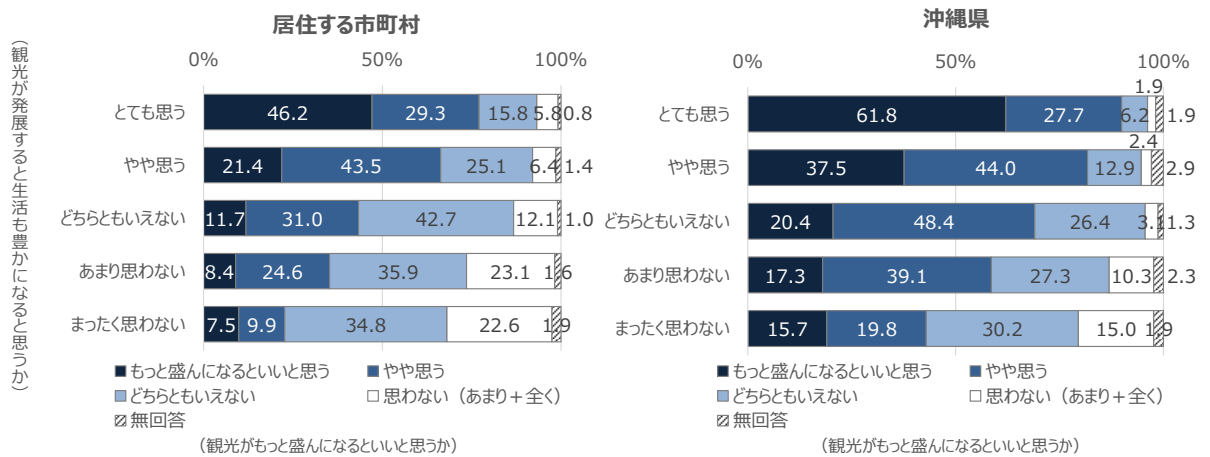
図表 2-7-5 観光が発展するとあなたの生活も豊かになると思うか（観光客と接する機会別）



コラム：観光の発展と生活の豊かさとのつながり×観光発展への期待

- 観光の発展が自身の生活の豊かさにつながると感じる人は、観光発展への期待が大きく、つながりが感じられない人は期待が小さい。
- 観光の発展が自身の生活の豊かさにつながると考える人で、かつ観光発展を期待している人は、観光客の来訪により「地域産業が発展する」「人的・文化的交流が促進される」「インフラが整備される」などの影響があると考え人が多い。一方、観光の発展が自身の生活の豊かさにつながらないと考える人で、かつ、観光発展を期待している人は、「地域産業が発展する」ことに期待する一方、「混雑により、交通が不便になる」と考える人が多い。

図表 2-7-6 観光の発展と自身の生活の豊かさとのつながり×観光発展への期待



図表 2-7-7 観光の発展と自身の生活の豊かさとのつながり×観光発展への期待×観光客による影響

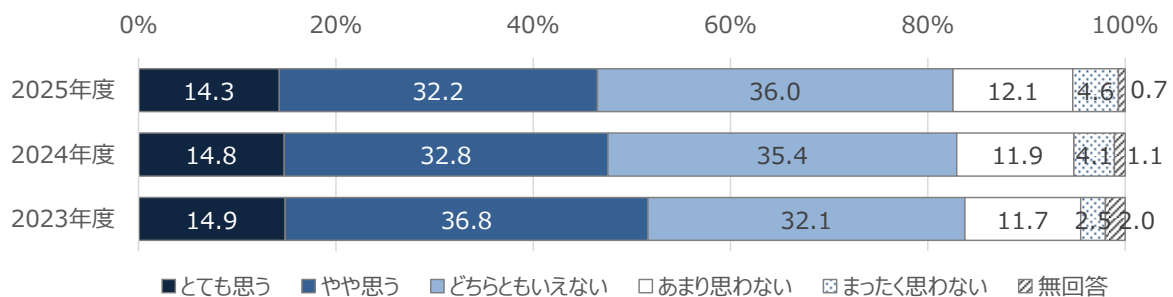
	観光の発展が自身の生活の豊かさにつながる (%)			
	観光発展を期待する派	観光発展を期待しない派	観光発展を期待する派	観光発展を期待しない派
混雑により、交通が不便になる	43.8	65.7	52.2	73.9
地域産業が発展する	54.5	37.5	34.7	12.3
人的・文化的交流が促進される	40.1	15.5	19.8	9.0
インフラ（道路、施設等）が整備される	35.3	17.9	20.0	8.9
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	24.2	53.2	31.9	54.1
仕事が増える	29.0	15.5	8.0	4.4
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	15.0	52.4	22.6	39.1
治安が悪化する	19.5	28.2	19.4	44.1
物価が上昇する	17.7	14.5	22.6	35.9
地域住民が活躍する場が増加する	24.7	16.0	8.0	6.5
地域の文化や自然が保存・継承される	22.3	14.6	7.1	2.1
地域の文化や自然に悪影響が出る	12.3	29.0	14.8	40.2
誇りにつながる	21.8	9.0	7.2	4.3
街並みや景観が損なわれる	9.8	24.9	13.5	34.9
給料が増える	11.2	14.2	1.1	1.7
その他	1.6	0.0	3.1	4.2
特に影響はない	6.9	8.6	14.6	10.1

## (8) 沖縄の発展と住民の幸福とのつながり

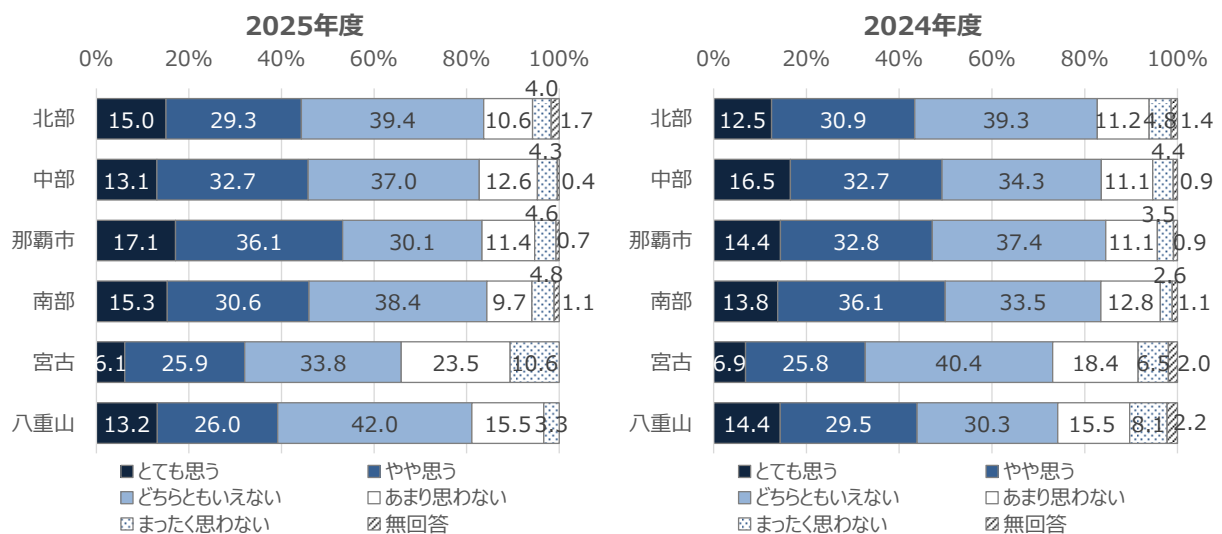
### Q7 観光が発展する沖縄に居住することで、あなたは幸せを感じられると思いますか。

- 観光が発展する沖縄に居住することであなたは幸せを感じられると思うかについては、「とても思う」「やや思う」を合わせた割合は46.5%であり、5割弱の人が幸せを感じられると認識している。前回調査と比べると「とても思う」「やや思う」ともに減少した。
- 地域別でみると、“宮古”において、幸せを感じられると認識している人が少ない。
- 性別では、女性の方が「とても思う」「やや思う」を合わせた割合がやや高い。
- 年代別では、「とても思う」「やや思う」を合わせた割合は“20代”で最も高い。一方、“60代”は比較的低い傾向にある。
- 観光客と接する機会別では、“日常業務や日常生活で接する”人は幸せを感じられると認識している。特に“日常業務の一環”で接している人は、「とても思う」と回答した割合が高い。

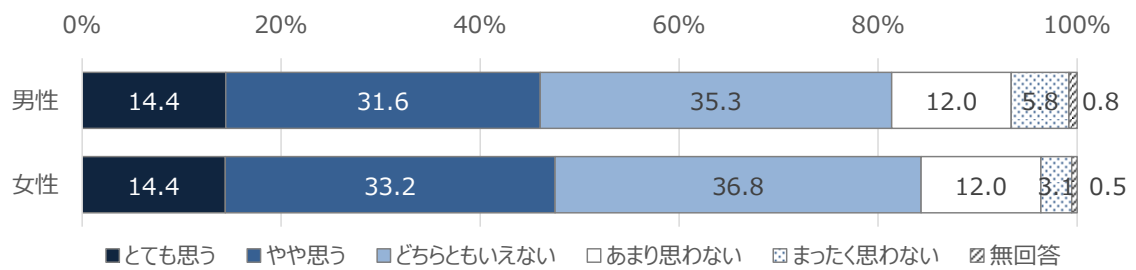
図表 2-8-1 観光が発展する沖縄に居住することであなたは幸せを感じられるか



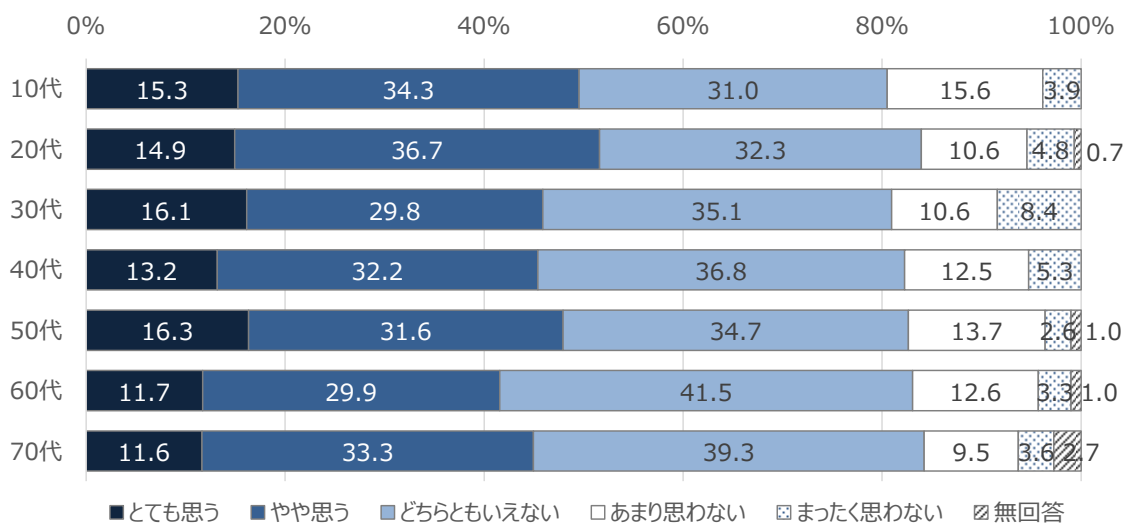
図表 2-8-2 観光が発展する沖縄に居住することであなたは幸せを感じられるか（地域別）



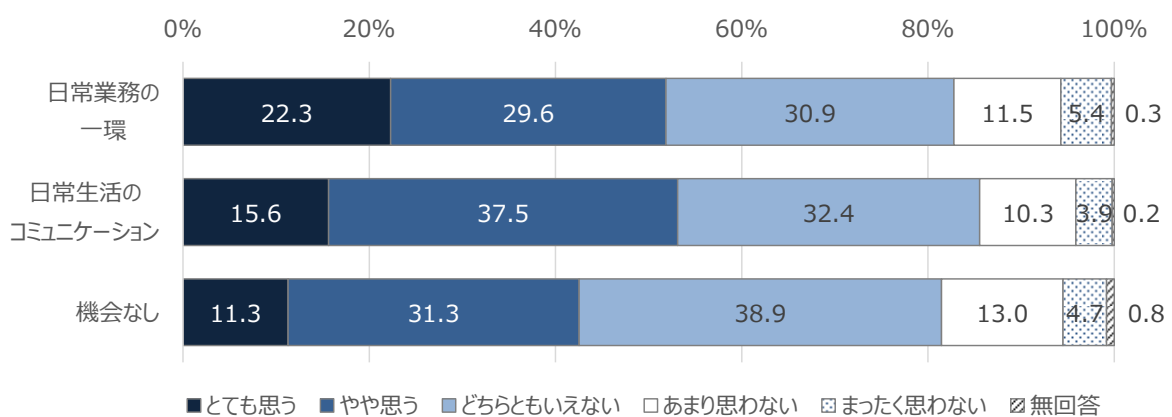
図表 2-8-3 観光が発展する沖縄に居住することであなたは幸せを感じられるか（性別）



図表 2-8-4 観光が発展する沖縄に居住することであなたは幸せを感じられるか（年代別）



図表 2-8-5 観光が発展する沖縄に居住することであなたは幸せを感じられるか（観光客と接する機会別）



### 3. 観光産業に対する意識

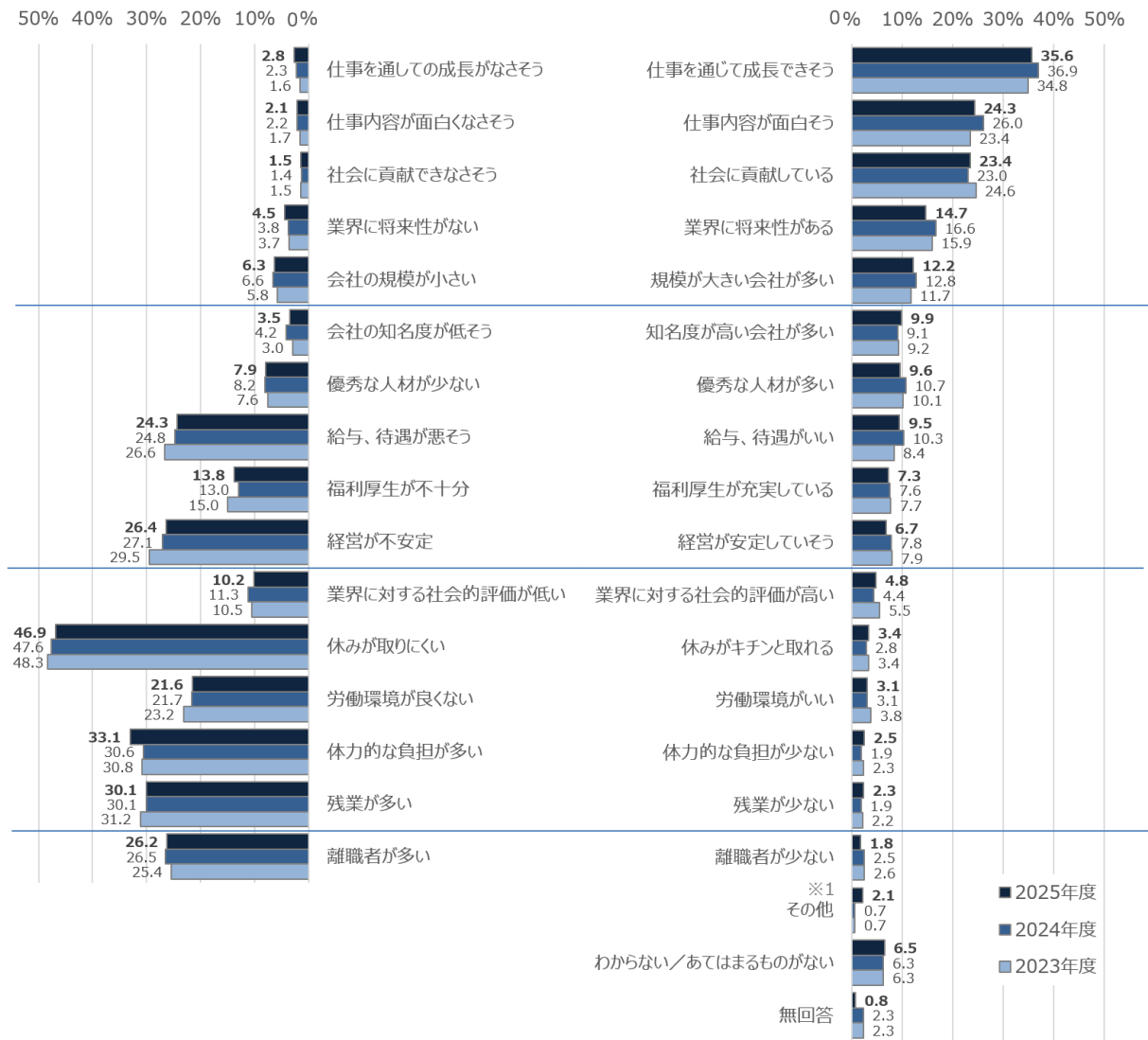
---

#### (1) 観光産業のイメージ

Q8 観光産業のイメージとしてあてはまるものをお選びください。

- 観光産業のイメージとしては、「休みが取りにくい」が46.9%で最多となったが、近年は微減傾向にある。以下、マイナスのイメージでは「体力的な負担が多い」33.1%、「残業が多い」30.1%、「経営が不安定」26.4%と続く。
- プラスのイメージでは、「仕事を通じて成長できそう」35.6%、「仕事内容が面白そう」24.3%が多いが、いずれも前回調査と比べると減少している。以下、「社会に貢献している」23.4%、「業界に将来性がある」14.7%、「規模が大きい会社が多い」12.2%と続く。
- 前回調査同様、仕事内容にはプラスのイメージを抱いているものの、勤務形態や職場環境への不安があらわれる結果となった。
- 地域別にみると、「休みが取りにくい」は“那覇市”で最も高い。
- 性別でみると、プラスのイメージでは“女性”のほうが「仕事を通じて成長できそう」と感じている。一方、マイナスのイメージでは“男性”のほうが「優秀な人材が少ない」と感じている。
- 年代別にみると、プラスのイメージは、“10代”で「仕事を通じて成長できそう」「社会に貢献している」などが他の年代と比較して高い。一方、マイナスのイメージは、“20～50代”で「休みが取りにくい」「経営が不安定」などが他の年代と比較して高い。
- 観光客と接する機会別でみると、“日常業務の一環”で接している人は、プラスのイメージとして「仕事を通じて成長できそう」「給与、待遇がいい」の選択率が比較的高い傾向にあるが、マイナスイメージとしては「離職者が多い」も比較的高い傾向にある。
- 「休みが取りにくい」と思っている人は同時に「体力的な負担が多い」「残業が多い」「離職者が多い」「給与、待遇が悪そう」などと回答しており、これらはセットで捉えられている。しかしその一方で、これらの回答者の約3割は「仕事を通じて成長できそう」も同時に選択している。観光産業に対しては仕事のやりがいを評価しているものの、特に勤務形態面でのマイナスイメージが強い。

図表 3-1-1 観光産業のイメージ【複数回答】



※1:「その他」の自由記述で挙げられた内容: 県外資本が多い、英語など多言語で話す必要がある など

図表 3-1-2 観光産業のイメージ（地域別）【複数回答】

2025年度	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
休みが取りにくい	44.3	44.5	52.3	48.2	42.1	47.4
仕事を通じて成長できそう	33.9	36.0	34.6	39.7	24.9	30.5
体力的な負担が多い	30.3	32.0	37.3	33.1	29.8	31.1
残業が多い	26.0	29.6	35.3	29.3	25.2	24.2
経営が不安定	22.4	25.2	31.9	26.2	22.5	22.7
離職者が多い	22.0	25.5	29.7	23.9	31.3	30.3
給与、待遇が悪そう	20.4	23.5	31.6	21.2	18.5	23.0
仕事内容が面白そう	22.0	24.3	24.7	27.2	11.9	24.8
社会に貢献している	18.5	22.8	25.4	28.8	17.0	10.3
労働環境が良くない	22.3	20.0	25.7	20.7	19.6	20.4
業界に将来性がある	12.0	15.5	14.9	15.1	10.1	12.8
福利厚生が不十分	15.2	12.0	17.2	12.2	13.4	21.8
規模が大きい会社が多い	12.4	12.4	12.4	12.0	16.4	4.7
業界に対する社会的評価が低い	10.5	10.8	9.6	9.3	8.4	10.8
知名度が高い会社が多い	9.1	10.2	11.1	8.4	11.3	5.8
優秀な人材が多い	9.4	9.9	9.9	8.1	15.6	5.8
給与、待遇がいい	10.0	9.1	8.2	11.3	14.6	6.4
優秀な人材が少ない	8.9	7.4	8.5	7.8	7.7	9.7
福利厚生が充実している	5.9	7.4	6.4	9.3	8.9	1.9
経営が安定していそう	8.9	6.9	6.2	6.6	7.1	4.1
会社の規模が小さい	7.5	5.8	7.2	6.2	4.0	8.3
業界に対する社会的評価が高い	5.3	4.4	5.8	5.1	3.9	2.5
業界に将来性がない	6.0	3.9	6.0	3.4	4.8	3.3
会社の知名度が低そう	2.5	3.1	5.0	3.4	3.9	2.4
休みがキチンと取れる	2.5	3.3	3.0	4.1	6.0	2.0
労働環境がいい	2.5	3.2	2.4	3.7	4.7	2.0
仕事を通しての成長がなさそう	5.4	2.1	4.6	0.6	3.1	4.1
体力的な負担が少ない	3.1	2.0	1.9	3.8	1.9	4.5
残業が少ない	1.6	2.1	2.2	3.3	0.6	4.5
仕事内容が面白くなさそう	4.7	1.7	2.8	1.1	2.0	2.9
離職者が少ない	2.7	1.5	1.4	2.2	2.3	1.1
社会に貢献できなさそう	2.3	1.5	1.2	0.6	3.9	2.8
その他	2.3	1.9	2.4	2.3	2.3	2.1
わからない／あてはまるものがない	4.0	7.5	4.6	6.5	11.5	6.0

2024年度	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
休みが取りにくい	43.3	47.1	49.5	48.5	41.9	54.2
仕事を通じて成長できそう	37.6	36.8	36.3	40.0	33.5	27.8
体力的な負担が多い	27.8	30.1	31.7	30.9	26.6	38.8
残業が多い	27.6	29.6	31.5	31.2	25.5	33.2
経営が不安定	20.8	25.7	29.5	29.2	31.4	30.5
離職者が多い	23.5	24.9	28.5	27.4	24.8	36.5
給与、待遇が悪そう	20.7	23.4	30.2	24.3	20.8	26.0
仕事内容が面白そう	26.5	24.7	29.7	25.0	20.7	30.2
社会に貢献している	18.5	23.5	27.9	22.0	13.2	13.1
労働環境が良くない	16.2	21.6	24.7	19.6	21.3	28.3
業界に将来性がある	14.9	17.0	19.2	14.9	14.2	13.2
福利厚生が不十分	8.4	12.4	15.6	12.1	14.4	20.0
規模が大きい会社が多い	12.7	14.8	9.8	9.7	20.3	14.2
業界に対する社会的評価が低い	7.8	11.3	11.8	12.0	12.6	10.7
知名度が高い会社が多い	11.4	10.3	6.9	6.7	9.3	13.3
優秀な人材が多い	8.0	13.4	7.9	9.2	13.4	7.3
給与、待遇がいい	12.7	11.5	9.0	8.2	8.1	10.9
優秀な人材が少ない	8.5	7.5	8.6	8.8	5.2	11.7
福利厚生が充実している	9.6	7.7	6.4	7.7	9.0	5.8
経営が安定していそう	9.2	8.4	5.7	5.6	12.3	15.1
会社の規模が小さい	4.7	5.2	9.6	6.7	5.9	11.2
業界に対する社会的評価が高い	3.2	4.7	5.5	3.4	2.2	3.9
業界に将来性がない	4.3	2.9	3.9	5.1	1.4	6.9
会社の知名度が低そう	2.6	3.8	5.6	4.4	2.1	6.9
休みがキチンと取れる	1.7	3.2	1.4	3.1	6.3	4.1
労働環境がいい	4.4	3.1	2.7	2.4	6.0	3.8
仕事を通しての成長がなさそう	1.3	1.9	3.1	2.5	2.2	3.4
体力的な負担が少ない	0.3	1.8	1.4	2.3	5.3	4.8
残業が少ない	0.8	2.0	1.7	1.7	3.9	1.8
仕事内容が面白くなさそう	3.1	1.9	3.1	1.7	1.6	1.9
離職者が少ない	3.4	3.0	1.3	2.2	3.6	1.8
社会に貢献できなさそう	2.2	1.2	0.9	1.7	3.1	1.7
その他	1.6	1.0	2.8	1.8	3.0	0.0
わからない／あてはまるものがない	6.6	6.2	5.8	5.9	8.9	6.6

図表 3-1-3 観光産業のイメージ（性別）【複数回答】

	(%)	
	男性	女性
休みが取りにくい	43.3	50.0
仕事を通じて成長できそう	32.4	39.3
体力的な負担が多い	30.1	35.8
残業が多い	30.2	29.9
経営が不安定	26.2	26.3
離職者が多い	26.7	25.8
給与、待遇が悪そう	24.6	24.1
仕事内容が面白そう	25.0	23.8
社会に貢献している	21.0	25.8
労働環境が良くない	22.5	20.6
業界に将来性がある	15.6	13.7
福利厚生が不十分	13.9	13.9
規模が大きい会社が多い	11.7	12.5
業界に対する社会的評価が低い	11.6	9.0
知名度が高い会社が多い	9.8	10.0
優秀な人材が多い	7.2	12.1
給与、待遇がいい	9.1	9.8
優秀な人材が少ない	9.7	6.1
福利厚生が充実している	7.2	7.5
経営が安定していそう	6.2	7.4
会社の規模が小さい	7.4	5.3
業界に対する社会的評価が高い	4.5	5.1
業界に将来性がない	5.1	3.9
会社の知名度が低そう	3.9	3.2
休みがキチンと取れる	3.9	3.0
労働環境がいい	3.2	3.0
仕事を通しての成長がなさそう	3.9	1.7
体力的な負担が少ない	3.1	2.0
残業が少ない	2.3	2.4
仕事内容が面白くなさそう	2.7	1.6
離職者が少ない	1.6	1.9
社会に貢献できなさそう	2.0	1.0
その他	1.7	2.6
わからない／あてはまるものがない	7.2	5.8

図表 3-1-4 観光産業のイメージ（年代別）【複数回答】

	(%)						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
休みが取りにくい	41.0	50.4	54.2	50.8	52.9	40.1	23.4
仕事を通じて成長できそう	44.3	29.5	31.7	35.8	38.2	39.8	31.4
体力的な負担が多い	32.8	39.6	39.3	41.5	30.0	22.5	19.3
残業が多い	23.4	34.0	30.2	34.1	35.7	24.5	18.5
経営が不安定	25.2	27.2	28.5	33.0	26.3	21.7	17.0
離職者が多い	16.4	30.0	31.8	31.2	30.7	18.6	12.2
給与、待遇が悪そう	15.6	30.4	25.2	29.7	29.3	18.0	9.4
仕事内容が面白そう	31.5	25.1	26.1	25.0	25.6	19.9	17.1
社会に貢献している	34.6	20.6	22.1	20.1	20.8	24.3	32.1
労働環境が良くない	15.7	24.7	26.0	24.3	23.2	17.9	10.4
業界に将来性がある	13.4	11.9	13.3	14.2	13.4	18.6	19.4
福利厚生が不十分	12.3	19.4	10.5	14.7	15.8	12.5	8.5
規模が大きい会社が多い	14.2	13.4	13.9	11.0	12.6	12.7	5.6
業界に対する社会的評価が低い	7.0	9.2	8.3	13.8	11.0	10.5	7.8
知名度が高い会社が多い	5.1	10.1	12.6	10.0	9.9	9.3	9.3
優秀な人材が多い	15.2	9.4	7.2	8.4	10.5	10.4	8.5
給与、待遇がいい	11.7	7.2	9.9	11.4	8.8	8.5	9.9
優秀な人材が少ない	2.9	5.6	6.7	8.9	9.7	8.8	10.8
福利厚生が充実している	7.6	7.5	5.3	8.6	6.7	8.1	6.7
経営が安定していそう	8.0	8.7	6.3	4.1	4.7	8.5	10.0
会社の規模が小さい	4.6	7.8	5.1	4.2	5.8	8.6	8.7
業界に対する社会的評価が高い	8.1	3.7	3.3	4.9	4.4	6.0	5.3
業界に将来性がない	3.7	6.2	6.9	6.6	2.9	2.0	1.1
会社の知名度が低そう	3.5	4.8	3.1	2.4	3.7	3.8	3.6
休みがキチンと取れる	1.8	1.5	2.8	4.5	3.3	3.9	5.8
労働環境がいい	3.9	1.0	1.4	3.7	3.2	3.8	6.1
仕事を通しての成長がなさそう	2.3	2.3	0.6	2.9	3.0	3.9	5.1
体力的な負担が少ない	2.1	1.1	1.9	2.9	2.4	2.6	5.8
残業が少ない	0.7	2.2	2.9	3.2	1.8	2.6	1.7
仕事内容が面白くなさそう	1.2	0.9	1.6	3.0	3.5	2.1	1.3
離職者が少ない	1.5	0.3	0.0	2.5	1.1	2.8	5.7
社会に貢献できなさそう	0.3	1.2	1.4	1.3	1.8	2.1	1.6
その他	1.2	1.4	2.8	2.5	1.4	2.5	3.3
わからない／あてはまるものがない	5.3	5.8	6.4	7.0	5.0	6.7	10.6

図表 3-1-5 観光産業のイメージ（観光客と接する機会別）【複数回答】

	(%)		
	日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
休みが取りにくい	49.1	49.0	46.1
仕事を通じて成長できそう	39.8	37.4	33.8
体力的な負担が多い	36.0	33.6	32.4
残業が多い	31.1	30.5	30.1
経営が不安定	25.5	32.5	25.0
離職者が多い	31.4	28.4	24.4
給与、待遇が悪そう	25.8	26.8	23.5
仕事内容が面白そう	28.2	27.3	22.2
社会に貢献している	24.9	23.5	22.8
労働環境が良くない	26.2	24.2	19.8
業界に将来性がある	16.6	17.1	13.3
福利厚生が不十分	14.4	15.7	13.4
規模が大きい会社が多い	14.0	14.7	10.8
業界に対する社会的評価が低い	12.6	10.6	9.4
知名度が高い会社が多い	12.7	11.5	8.5
優秀な人材が多い	9.5	9.8	9.5
給与、待遇がいい	13.3	9.1	8.3
優秀な人材が少ない	9.7	10.4	6.5
福利厚生が充実している	6.9	7.8	7.1
経営が安定していそう	8.3	5.9	6.5
会社の規模が小さい	7.2	7.2	5.8
業界に対する社会的評価が高い	4.8	5.7	4.6
業界に将来性がない	5.4	6.6	3.5
会社の知名度が低そう	4.5	4.6	3.0
休みがキチンと取れる	4.1	3.3	2.9
労働環境がいい	3.9	3.5	2.7
仕事を通しての成長がなさそう	1.5	4.8	2.5
体力的な負担が少ない	2.7	1.6	2.8
残業が少ない	4.5	3.0	1.4
仕事内容が面白くなさそう	1.3	2.0	2.5
離職者が少ない	1.0	1.9	1.8
社会に貢献できなさそう	0.9	2.6	1.2
その他	2.6	2.6	1.9
わからない／あてはまるものがない	3.3	3.2	8.4

図表 3-1-6 観光産業のイメージ 組み合わせ表 (重複選択率) 【複数回答】

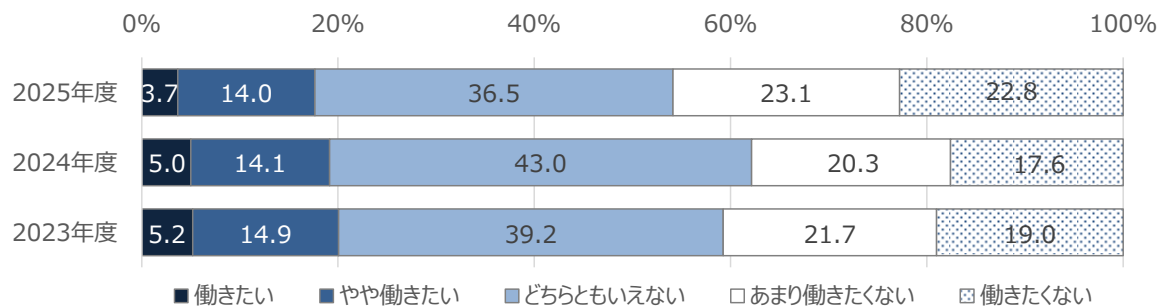
観光産業に対するイメージの重複選択率	あがって選んでいる項目																ほか わからない /あては まらない その他																	
	仕事内容 が面白く ない	仕事内容 が面白く 多い	給与、待 遇が悪い	給与、待 遇が良い	見聞が 多い	見聞が 少ない	社会的に 責任が 多い	社会的に 責任が 少ない	社会的に 責任が 多い	社会的に 責任が 少ない	社会的に 責任が 多い	社会的に 責任が 少ない	社会的に 責任が 多い	社会的に 責任が 少ない	社会的に 責任が 多い	社会的に 責任が 少ない																		
仕事内容が面白くない	100.0	54.4	12.4	13.7	10.9	8.8	22.6	11.2	7.7	11.4	30.9	4.7	2.3	5.5	3.3	2.4	0.8	1.0	20.8	6.7	3.4	25.5	3.2	12.3	7.8	4.3	0.8	43.8	23.9	17.9	30.3	31.1	2.0	0.0
仕事内容が面白い	37.2	100.0	14.2	15.5	13.6	10.8	25.0	12.3	9.2	16.5	36.6	5.0	2.1	4.6	3.1	3.4	0.9	0.5	17.8	3.7	2.4	21.8	2.5	9.8	7.2	4.8	0.4	42.4	21.9	17.8	29.3	32.0	1.2	0.0
給与、待遇が悪い	31.9	53.4	100.0	30.1	22.4	29.1	26.6	29.0	12.9	22.6	28.2	18.7	8.9	16.3	8.0	8.4	2.4	2.0	4.5	3.5	3.0	15.3	2.3	5.0	3.1	4.4	1.9	27.6	11.1	9.7	20.0	25.0	1.3	0.0
給与、待遇が良い	27.3	45.4	23.4	100.0	44.3	17.5	22.3	23.0	13.8	23.1	36.1	9.2	3.1	6.5	4.2	5.6	1.1	1.7	16.8	0.4	0.8	18.1	4.7	7.3	5.8	6.8	2.3	39.1	22.2	18.2	32.4	31.9	2.0	0.0
社会的責任が多い	26.8	48.9	21.6	34.6	100.0	20.9	25.9	23.0	16.7	19.8	38.9	8.1	3.5	9.3	4.9	5.4	2.0	2.2	20.6	2.1	0.9	22.9	4.6	10.2	6.1	7.9	2.4	35.5	20.6	18.5	30.0	32.6	1.6	0.0
社会的責任が少ない	31.8	57.1	40.9	31.5	30.5	100.0	38.1	32.2	22.4	28.0	36.0	14.1	11.8	13.9	6.1	7.1	2.1	2.8	9.0	1.3	2.8	2.2	2.0	9.2	1.4	4.3	2.9	25.1	9.6	9.5	21.5	21.8	1.6	0.0
業界が面白い	37.3	60.7	17.2	18.5	17.4	17.5	100.0	14.5	15.1	20.4	47.0	6.3	4.4	6.9	4.7	3.9	1.0	1.6	15.7	5.1	2.4	16.3	0.6	10.5	7.5	6.6	1.4	37.9	22.4	19.0	27.8	29.9	1.2	0.0
業界が面白くない	37.5	60.2	37.9	38.6	31.2	30.0	29.4	100.0	17.9	29.9	42.4	23.1	8.9	13.6	10.7	8.5	1.4	1.9	13.1	2.8	1.5	10.9	1.9	5.0	1.9	1.9	1.4	30.2	14.5	10.0	29.8	25.3	1.6	0.0
業界に対する社会的責任が多い	38.8	67.8	25.4	34.9	34.2	31.3	46.0	26.9	100.0	42.1	62.2	16.5	7.7	12.7	6.2	7.7	1.1	2.8	15.9	2.2	2.2	19.8	2.0	5.6	3.1	6.4	2.0	33.3	21.7	16.1	24.7	31.4	2.1	0.0
業界に対する社会的責任が少ない	28.9	61.4	22.3	29.3	20.4	19.7	31.2	22.7	21.2	100.0	43.3	9.7	5.0	8.7	4.5	3.7	0.5	1.4	12.9	2.6	1.6	17.9	3.4	9.3	4.6	1.3	0.3	43.5	18.5	16.8	33.6	35.8	1.3	0.0
優秀な人材が多い	32.1	55.7	11.4	18.7	16.4	10.4	29.5	13.2	12.8	17.7	100.0	5.7	3.3	5.8	4.6	4.1	1.1	1.8	14.1	4.5	2.0	20.4	2.8	8.2	6.1	4.1	0.2	41.2	19.9	14.4	26.2	31.4	0.6	0.0
優秀な人材が少ない	33.7	52.2	52.3	32.9	23.5	28.2	27.1	49.5	23.5	27.3	39.7	100.0	15.5	24.0	27.8	15.4	4.5	2.8	5.2	1.2	1.2	10.8	2.6	2.3	3.0	7.7	0.8	6.1	9.7	9.0	12.9	15.1	2.2	0.0
体力がキツくない	31.3	43.2	48.2	21.4	19.8	45.4	37.1	36.9	21.2	27.5	44.1	29.9	100.0	30.0	16.7	14.2	5.9	8.1	0.0	2.6	2.8	8.8	0.0	13.4	5.4	9.5	2.8	16.1	2.2	4.4	10.5	11.6	2.4	0.0
体力がキツい	43.2	52.6	50.2	25.7	29.6	30.4	32.9	32.0	19.8	26.9	43.9	26.3	17.0	100.0	18.3	21.4	6.5	5.8	8.8	1.7	3.1	7.0	0.0	6.4	2.7	6.5	5.7	8.8	9.9	13.4	11.5	13.2	6.4	0.0
労働時間が長い	34.7	46.6	32.3	22.1	20.6	17.5	29.6	33.4	12.8	18.3	46.0	40.4	12.6	24.2	100.0	21.4	6.7	2.1	12.6	5.2	0.0	13.4	2.1	6.9	10.0	6.2	0.0	18.9	6.2	7.2	8.7	27.0	0.0	0.0
労働時間が短い	22.8	48.3	31.6	27.1	21.2	18.9	22.4	24.3	14.6	14.0	38.0	20.6	9.8	26.1	19.8	100.0	6.1	9.8	15.6	7.3	3.9	26.4	1.7	9.4	8.8	19.2	3.6	24.0	15.0	15.3	19.5	10.2	3.0	0.0
仕事内容が面白くない	9.1	15.3	10.6	6.3	9.4	6.7	6.6	4.6	2.4	2.3	11.5	7.1	4.8	9.3	7.3	7.2	100.0	33.1	53.9	10.7	12.8	36.8	16.2	38.6	24.5	23.9	7.6	63.7	38.2	41.3	35.0	58.6	2.2	0.0
仕事内容が面白い	8.8	6.8	7.0	7.5	7.7	6.8	8.6	4.9	4.8	4.7	15.3	3.4	5.1	6.5	1.8	9.0	25.6	100.0	57.9	22.1	17.8	56.8	21.0	54.1	39.4	35.6	7.1	63.1	61.4	59.1	48.6	56.6	4.7	0.0
給与、待遇が悪い	20.8	26.0	1.8	8.4	8.4	2.5	9.5	3.9	3.1	5.1	13.5	0.7	0.0	1.1	1.2	1.6	4.7	6.6	100.0	14.9	10.0	51.4	12.0	40.3	24.0	17.6	3.4	76.0	54.3	49.4	56.1	58.4	2.2	0.0
給与、待遇が良い	25.8	21.0	5.3	0.7	3.2	1.4	11.9	3.2	1.7	4.0	16.7	0.6	0.7	0.8	1.9	2.9	3.6	9.7	57.2	100.0	41.6	67.3	24.1	48.4	37.5	29.4	6.4	67.8	50.1	50.3	49.2	49.2	1.6	0.0
会社の規模が小さい	23.2	24.0	8.1	2.9	2.4	5.3	9.9	3.0	3.0	4.3	13.3	1.1	1.4	2.7	0.0	2.8	7.7	13.9	68.6	74.4	100.0	77.7	35.8	61.4	42.8	41.4	12.1	79.9	59.9	61.2	62.6	67.8	1.3	0.0
会社の規模が大きい	23.5	29.4	5.5	8.3	8.6	0.6	9.1	3.0	3.6	6.5	18.1	1.4	0.6	0.8	1.2	2.5	3.0	6.0	47.4	16.1	10.4	100.0	13.2	31.6	21.5	15.5	3.0	71.5	46.7	41.4	48.2	52.4	2.5	0.0
業界が面白い	17.4	20.2	4.9	12.7	10.1	3.0	1.9	3.1	2.1	7.2	14.5	2.0	0.0	0.0	1.1	0.9	7.8	13.0	65.5	34.0	28.3	78.3	100.0	53.4	31.9	24.2	11.5	83.2	61.9	65.6	67.2	68.2	3.3	0.0
業界が面白くない	21.6	25.1	3.4	6.4	7.3	4.5	11.1	2.6	1.9	6.5	13.9	0.6	1.7	1.4	1.2	1.7	6.0	10.8	70.7	22.1	15.7	60.3	17.2	100.0	33.7	23.5	4.9	81.8	61.9	63.9	65.8	66.7	2.6	0.0
業界に対する社会的責任が多い	18.6	25.2	2.9	6.9	5.9	0.9	10.8	1.3	1.5	4.3	13.9	1.0	0.9	0.8	2.3	2.2	5.1	10.7	57.3	23.3	14.8	55.7	14.0	45.8	100.0	27.6	3.9	69.0	56.3	56.5	49.1	59.4	2.9	0.0
業界に対する社会的責任が少ない	13.3	21.8	5.3	10.5	9.8	3.7	12.1	1.8	3.9	1.6	12.2	3.3	2.1	2.5	1.8	6.1	6.5	12.5	54.0	23.4	18.5	51.6	13.6	41.1	35.5	100.0	7.2	62.6	57.0	47.7	41.1	50.1	2.3	0.0
優秀な人材が多い	13.0	9.7	12.2	19.2	15.7	13.3	13.9	6.8	6.5	1.7	3.3	1.8	3.3	12.0	0.0	6.2	10.9	13.3	56.2	27.3	28.9	52.7	34.8	46.4	26.6	38.8	100.0	49.4	46.6	48.8	31.8	54.3	3.8	0.0
優秀な人材が少ない	22.7	32.2	5.6	10.2	7.5	3.6	11.8	4.7	3.4	8.9	20.6	0.4	0.6	0.6	0.9	1.3	2.9	3.7	39.4	9.1	6.0	40.3	7.9	24.2	15.0	10.6	1.6	100.0	44.8	37.1	52.9	53.6	1.7	0.0
労働者が多い	22.1	29.7	4.0	10.3	7.8	2.5	12.5	4.0	4.0	6.7	17.7	1.2	0.1	1.2	0.6	1.4	3.1	6.5	50.3	12.1	8.1	47.0	10.5	32.7	21.9	17.2	2.6	80.0	100.0	53.4	60.0	60.4	1.4	0.0
労働者が少ない	20.1	29.3	4.3	10.3	8.5	3.0	12.9	3.4	3.6	7.5	15.7	1.4	0.4	1.9	0.8	1.8	4.1	7.6	55.7	14.7	10.0	50.7	13.6	41.1	26.7	17.5	3.3	80.6	65.0	100.0	65.5	64.5	3.1	0.0
労働時間が長い	24.5	34.6	6.3	13.1	9.9	4.8	13.6	7.2	4.0	10.7	20.4	1.4	0.6	1.2	0.7	1.6	2.5	4.5	45.3	10.3	7.4	42.3	10.0	30.3	16.6	10.8	1.6	82.4	52.3	46.9	100.0	64.0	1.7	0.0
労働時間が短い	22.8	34.4	7.2	11.7	9.7	4.4	13.3	5.5	4.6	10.4	22.2	1.5	0.6	1.2	1.9	0.8	3.8	4.7	42.9	9.4	7.2	41.8	8.9	27.9	18.3	12.0	2.4	75.9	47.9	43.3	58.2	100.0	1.5	0.0
体力がキツくない	23.0	20.3	5.8	11.2	7.4	5.0	8.3	5.4	4.8	5.7	6.2	3.4	2.0	9.2	0.0	3.5	2.2	6.1	24.8	4.8	2.2	31.1	6.9	16.5	13.8	8.7	2.6	37.5	17.2	31.0	23.5	22.4	100.0	0.0
体力がキツい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない/あてはまらない/その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## (2) 観光産業への就業意向（未就業者のみ）

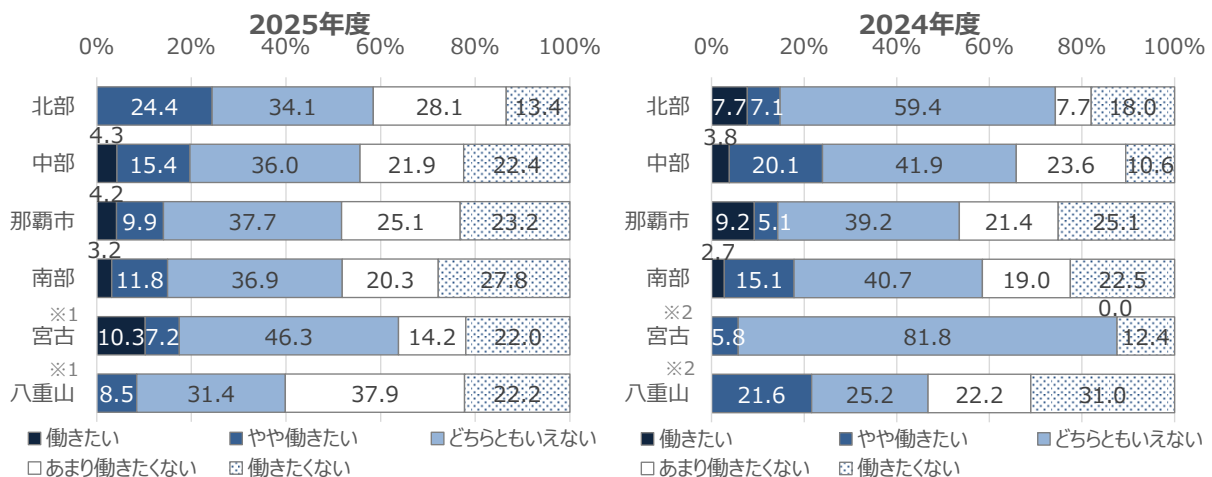
### Q9 将来、沖縄県内の観光産業で働いてみたいと思いますか。

- 未就業者に観光産業への就業意向について尋ねたところ、「働きたい層（働きたい+やや働きたい）」は 17.7%となり、前回調査と比べて減少した。一方、「働きたくない層（働きたくない+あまり働きたくない）」は 45.9%となり、前回調査と比べて増加した。
- 性別でみると、「働きたい層」は“女性”のほうが多く、「働きたくない層」は“男性”のほうがやや多い。
- 年代別にみると、“10代”の就業意向が比較的高い。
- 就業意向別に観光産業のイメージをみると、「働きたい層」は「仕事を通じて成長できそう」「仕事内容が面白そう」という回答が多い。一方で「働きたくない層」は「休みが取りにくい」「体力的な負担が多い」という回答が多い。

図表 3-2-1 観光産業への就業意向（未就業者のみ）



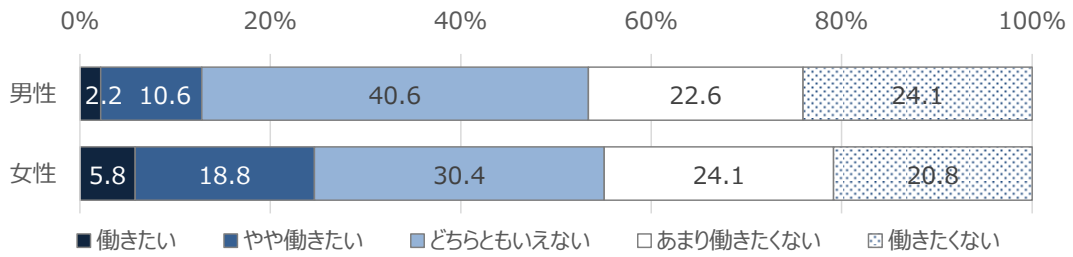
図表 3-2-2 観光産業への就業意向（地域別）



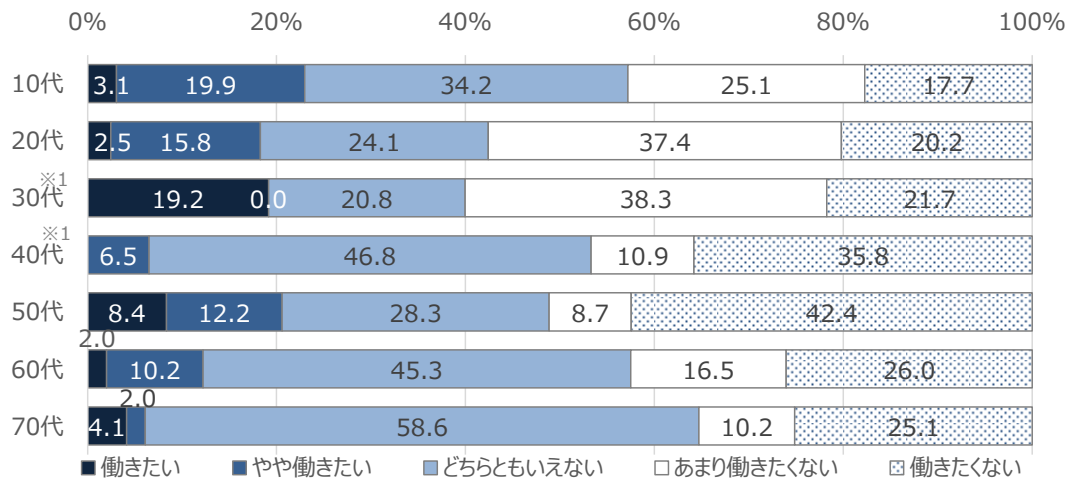
※1：“宮古”“八重山”は回答数が少ないため注意。

※2：“宮古”“八重山”は回答数が少ないため注意。

図表 3-2-3 観光産業への就業意向（性別）



図表 3-2-4 観光産業への就業意向（年代別）



図表 3-2-5 就業意向別にみた観光産業のイメージ

	働きたい層 (%)			働きたくない層 (%)		
	働きたい層	どちらともいえない層	働きたくない層	働きたい層	どちらともいえない層	働きたくない層
休みが取りにくい	29.7	37.0	44.5	1.4	2.6	9.4
経営が不安定	23.0	16.1	30.5	19.0	21.7	10.6
離職者が多い	11.1	19.4	25.9	4.4	14.6	11.3
残業が多い	18.3	23.9	28.7	1.4	0.8	4.1
体力的な負担が多い	17.4	28.3	40.0	11.8	9.5	7.2
労働環境が良くない	15.4	12.4	28.9	13.8	4.4	5.7
給与、待遇が悪そう	10.3	22.2	27.5	13.2	8.4	5.6
福利厚生が不十分	6.9	13.3	20.0	1.4	0.9	4.3
業界に対する社会的評価が低い	3.9	5.0	8.8	0.0	3.6	1.5
社会に貢献している	25.1	34.0	24.2	9.6	6.3	6.8
仕事を通して成長できそう	57.5	30.6	28.6	0.0	1.5	2.3
優秀な人材が少ない	4.0	5.8	8.8	1.3	3.1	1.5
会社の規模が小さい	7.0	7.1	10.5	4.8	1.5	1.1
仕事内容が面白そう	46.8	25.4	19.5	4.6	2.3	0.6
業界に将来性がない	7.5	0.8	5.9	8.1	5.7	6.1
規模が大きい会社が多い	18.3	8.7	10.0	3.3	5.1	2.0
わからない／あてはまるものがない	1.8	5.1	11.6	1.8	3.4	1.6

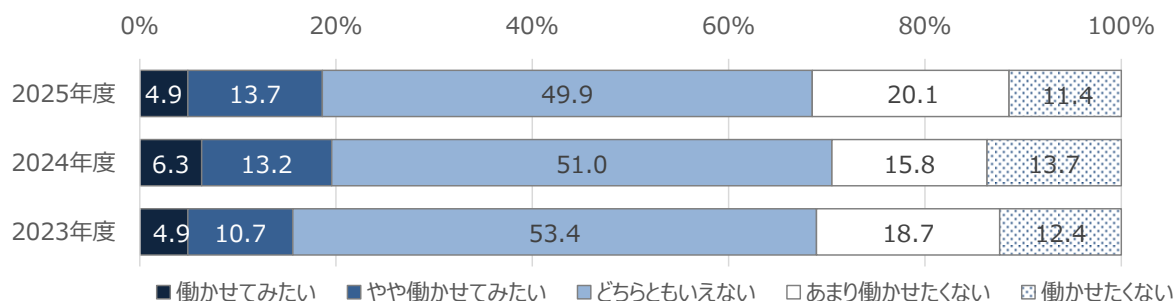
※1：“30代”、“40代”は回答数が少ないため注意。

### (3) 観光産業に対する就業推奨意向（子どもが未就業者のみ）

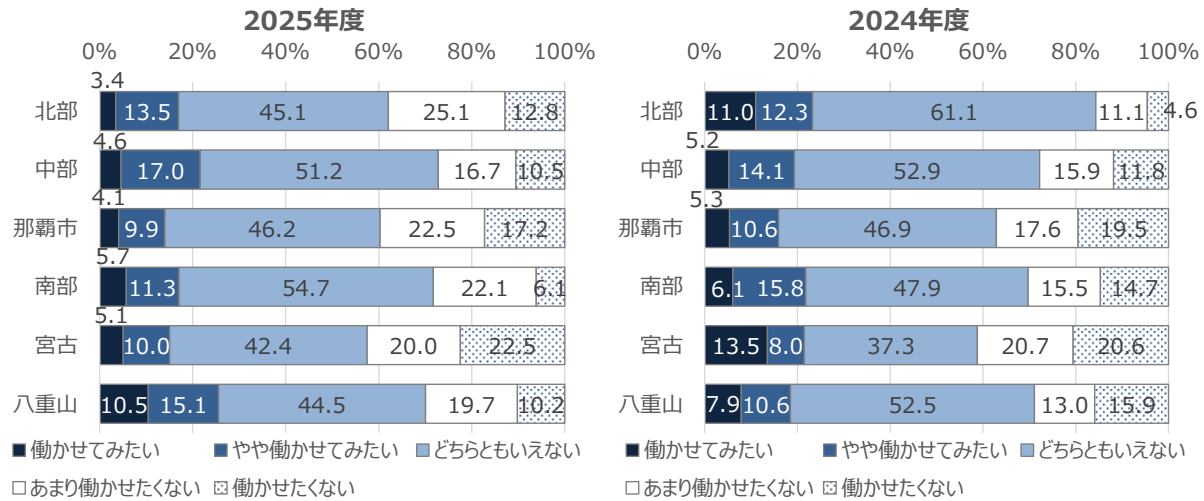
#### Q10 将来、お子様を沖縄県内の観光産業で働かせてみたいと思いますか。

- 未就業者の子どもがいる人に対し、観光産業への就業推奨意向について尋ねたところ、「働かせてみたい層（働かせてみたい+やや働かせてみたい）」が18.6%となり、前回調査よりやや減少した。一方、「働かせたくない層（あまり働かせたくない+働かせたくない）」は31.5%と前回調査からやや増加した。
- 地域別でみると、“八重山”で「働かせてみたい層」が比較的多い。
- 性別でみると、「働かせてみたい層」は“女性”のほうが多く、「働かせたくない層」は“男性”のほうが多い。
- 年代別にみると、“20代”で「働かせたい層」が比較的多い。
- 観光客と接する機会別にみると、“日常業務の一環”、“日常生活のコミュニケーション”で観光客と接点がある人の就業推奨意向が比較的高い。
- 子どものライフステージ別では傾向に大きな差はみられない。
- 就業推奨意向別に観光産業のイメージをみると、「働かせたくない層」の65.2%が「休みが取りにくい」を挙げている。「体力的な負担が多い」「残業が多い」「給与、待遇が悪そう」「経営が不安定」も4割以上が選択している。一方、「働かせてみたい層」は52.7%が「仕事を通じて成長できそう」、47.8%が「仕事内容が面白そう」を挙げている。

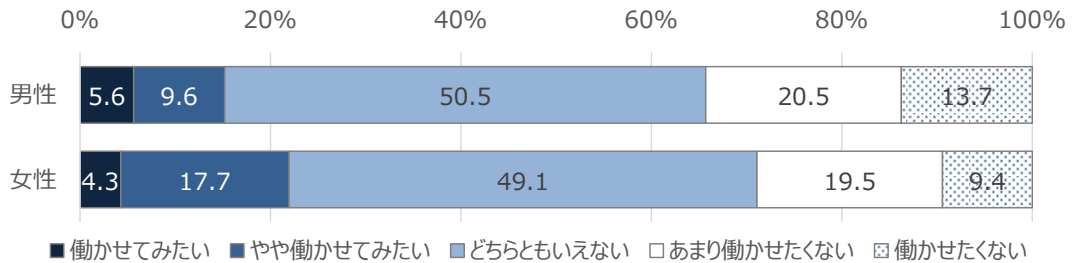
図表 3-3-1 観光産業に対する就業推奨意向（子どもが未就業者のみ）



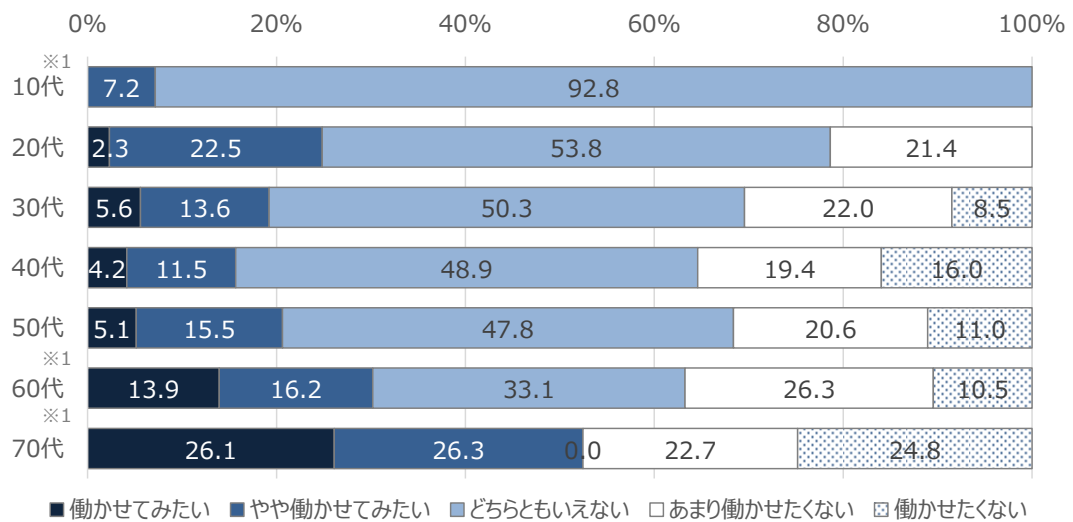
図表 3-3-2 観光産業に対する就業推奨意向（地域別）



図表 3-3-3 観光産業に対する就業推奨意向（性別）

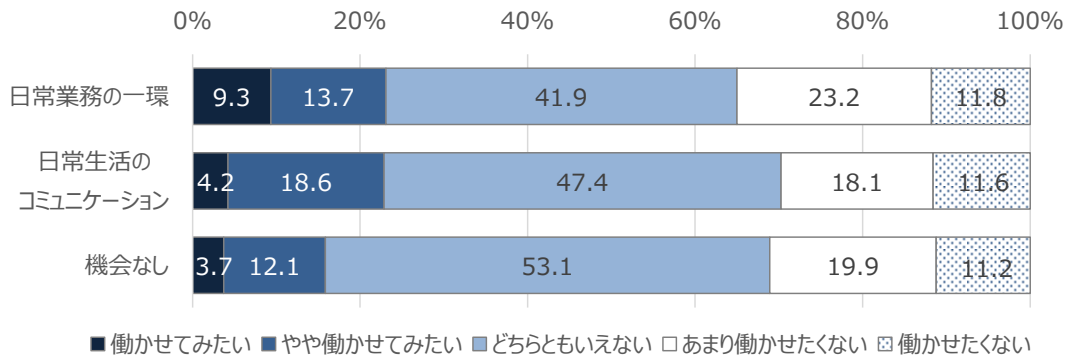


図表 3-3-4 観光産業に対する就業推奨意向（年代別）

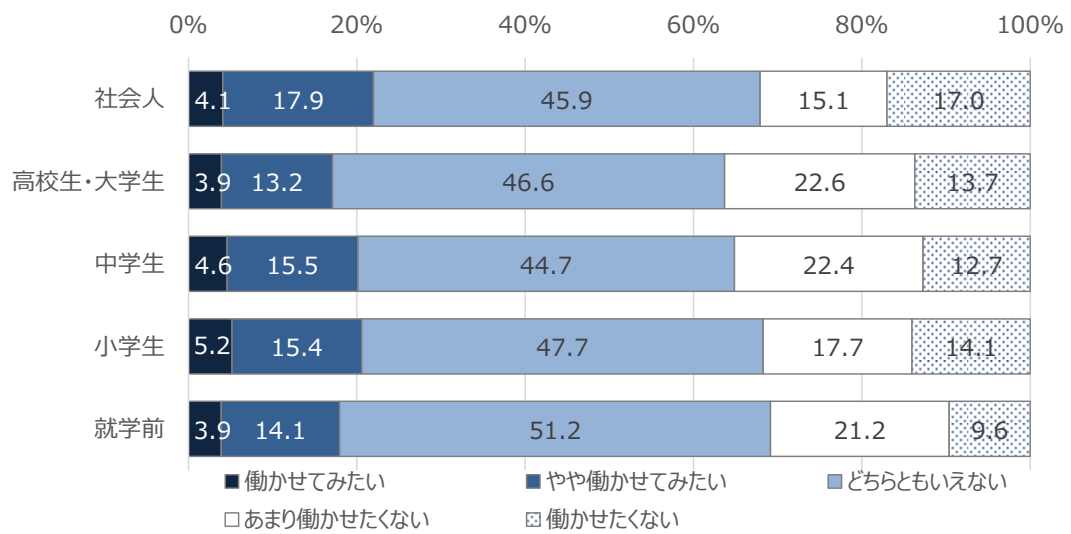


※1：“10代”、“60代”、“70代”は回答数が少ないため注意。

図表 3-3-5 観光産業に対する就業推奨意向（観光客と接する機会別）



図表 3-3-6 観光産業に対する就業推奨意向（子どものライフステージ別）



図表 3-3-7 就業推奨意向別にみた観光産業のイメージ

	働かせてみたい層 (%)			働かせたくない層 (%)		
	働かせてみたい層	どちらともいえない	働かせたくない層	働かせてみたい層	どちらともいえない	働かせたくない層
休みが取りにくい	42.8	47.8	65.2	1.9	1.4	4.7
経営が不安定	18.2	27.2	43.1	33.0	14.1	8.6
離職者が多い	25.1	27.5	38.3	13.6	10.0	4.8
残業が多い	33.0	29.9	44.4	0.9	0.6	3.0
体力的な負担が多い	28.3	31.8	45.4	16.9	10.6	4.3
労働環境が良くない	18.8	19.3	31.9	14.1	5.9	3.5
給与、待遇が悪そう	22.2	23.8	43.8	16.2	7.6	8.7
福利厚生が不十分	12.8	10.9	20.5	2.8	1.1	4.4
業界に対する社会的評価が低い	4.4	8.0	15.0	0.5	0.5	2.2
社会に貢献している	37.6	19.5	16.1	10.9	3.0	1.4
仕事を通じて成長できそう	52.7	38.5	23.7	4.5	2.2	0.3
優秀な人材が少ない	4.2	6.1	8.8	9.4	2.3	2.0
会社の規模が小さい	3.5	2.9	5.9	2.9	1.6	1.5
仕事内容が面白そう	47.8	30.3	17.3	0.4	1.0	3.4
業界に将来性がない	2.3	3.5	7.3	6.3	5.3	2.4
規模が大きい会社が多い	20.6	10.6	11.5	5.7	2.7	1.2
わからない/あてはまるものがない	1.0	8.8	3.9	5.0	0.3	0.5

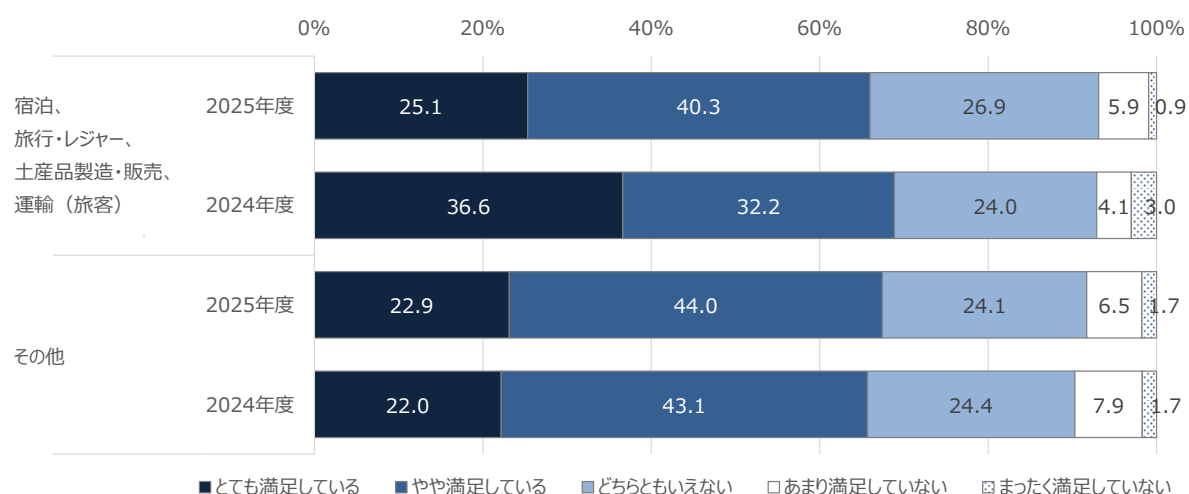
※1：子どものライフステージは複数回答。

#### (4) 観光産業従事者の職業満足度

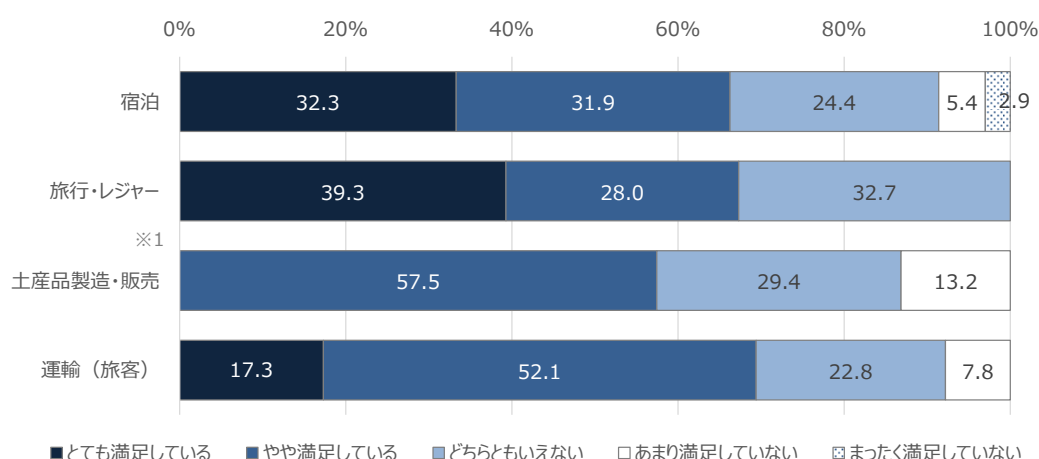
##### F7 現在お勤めの職業について、やりがいを感じ満足していますか。

- 観光産業従事者（宿泊、旅行・レジャー、土産品製造・販売、運輸（旅客））の職業に対する満足度は、「とても満足している」「やや満足している」を合わせると 65.4%となった。
- 観光産業以外（その他）の産業従事者と比べると、観光産業従事者は「とても満足している」がやや高い。
- 職業別では、宿泊、旅行・レジャーで「とても満足している」が高い。

図表 3-4-1 現在勤めている職業に対する満足度（観光産業と観光産業以外）



図表 3-4-2 現在勤めている職業に対する満足度（職業別）



※1：“土産品製造・販売”は回答数が少ないため注意。

## 4. 観光施策の重要度・達成度

本項では、沖縄観光の施策に関する42の項目について、それぞれ重要と考える程度及び達成できていると考える程度を調査し、県民にとっての沖縄観光施策の重要度と達成度を整理した。

### (1) 沖縄観光の各施策に対する重要度

Q4 ① 次にあげる事項は、沖縄の観光にとって重要だと思いますか。

- “非常に重要である”と回答した割合の上位5項目は、「県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること(65.1%)」、「観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること(62.4%)」、「沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること(57.4%)」、「高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること(56.0%)」、「文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること(55.9%)」であった。
- 前回調査と比べると、上位3つの項目に変動はない。
- 地域別にみると、“北部”“中部”“那覇市”では「円滑な移動」、「南部”“宮古”では「交通事故発生等のトラブル防止対策」、「八重山”では「環境と共生した持続可能な観光」が1位となった。各地域の上位5項目は以下の通り。

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
1位	・円滑な移動(第1位)	・円滑な移動(第1位)	・円滑な移動(第1位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第2位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第1位)	・環境と共生した持続可能な観光(第2位)
2位	・交通事故等のトラブル防止対策(第3位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第2位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第3位)	・円滑な移動(第1位)	・環境と共生した持続可能な観光(第2位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第1位)
3位	・交通利便性の向上(第6位)	・沖縄文化の保全・継承・活用(第6位)	・環境と共生した持続可能な観光(第2位)	・交通利便性の向上(第4位)	・沖縄らしい景観形成(第4位)	・沖縄文化の保全・継承・活用(第3位)
4位	・誰もが快適に過ごせる環境整備(第2位)	・環境と共生した持続可能な観光(第3位)	・誰もが快適に過ごせる環境整備(第8位)	・誰もが快適に過ごせる環境整備(第3位)	・誰もが快適に過ごせる環境整備(第6位)	・沖縄らしい景観形成(第6位)
5位	・沖縄文化の保全・継承・活用(第5位)	・誰もが快適に過ごせる環境整備(第4位)	・交通利便性の向上(第5位)	・環境と共生した持続可能な観光(第6位)	・円滑な移動(第3位)	・誰もが快適に過ごせる環境整備(第4位)

※1：括弧内は前回調査の順位

- 性別でみると、男女間で重要視する項目は大きくは変わらないものの、項目によっては選択率に差がみられ、「誰もが快適に過ごせる環境整備」「風評被害対策」は“女性”のほうが10ポイント近く高い。
- 年代別にみると、40代以外は「円滑な移動」が1位となった。各年代の上位3項目は以下の通り。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
1位	・円滑な移動	・円滑な移動	・円滑な移動	・交通事故等のトラブル防止対策	・円滑な移動	・円滑な移動	・円滑な移動
2位	・誰もが快適に過ごせる環境整備	・交通事故等のトラブル防止対策	・交通事故等のトラブル防止対策	・円滑な移動	・交通事故等のトラブル防止対策	・交通事故等のトラブル防止対策	・交通利便性の向上
3位	・沖縄文化の保全・継承・活用	・環境と共生した持続可能な観光	・交通利便性の向上	・環境と共生した持続可能な観光	・環境と共生した持続可能な観光	・誰もが快適に過ごせる環境整備	・交通事故等のトラブル防止対策

- 観光客と接する機会別では、上位項目の傾向に大きな違いはみられないが、全体的に「機会なし」は低い傾向にある。

図表 4-1-1 沖縄観光の各施策に対する重要度

	重要度							重要度 得点
	非常に 重要	ある程度 重要	どちらとも いえない	あまり 重要で ない	全く 重要で ない	無回答	(%)	
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	65.1	26.2	5.9	1.1	0.5	1.2	4.56	
16 観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	62.4	23.2	11.3	1.2	0.6	1.3	4.47	
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	57.4	29.6	10.1	1.2	0.5	1.3	4.44	
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	56.0	28.9	11.8	1.4	0.5	1.4	4.40	
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	55.9	33.8	7.7	1.1	0.5	1.1	4.45	
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	54.7	30.7	10.1	2.5	0.9	1.0	4.37	
4 県内各地域の特色を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	50.0	33.4	13.8	1.1	0.3	1.3	4.33	
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	49.3	35.9	11.1	1.5	0.9	1.3	4.33	
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	49.1	29.1	17.5	2.2	0.7	1.4	4.25	
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	45.7	37.0	11.6	2.8	1.3	1.4	4.25	
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	42.3	36.1	16.7	2.6	1.2	1.1	4.17	
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	41.9	40.8	11.3	3.7	1.3	1.0	4.19	
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	39.9	37.9	16.8	2.7	1.3	1.4	4.14	
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	39.8	39.7	16.5	2.2	0.9	1.0	4.16	
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	38.8	39.6	15.9	3.4	1.5	0.8	4.12	
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	38.4	38.3	18.5	2.6	0.5	1.7	4.13	
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	36.8	37.0	20.1	3.1	1.6	1.4	4.06	
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	36.5	39.4	16.4	5.0	1.8	0.9	4.05	
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	35.4	39.8	20.3	2.7	1.2	0.6	4.06	
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	35.1	41.6	17.5	3.3	1.5	0.9	4.06	
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	34.4	40.6	20.0	3.3	0.7	0.8	4.06	
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	34.2	39.9	18.6	4.7	1.6	1.0	4.02	
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	33.6	39.7	20.7	3.0	1.6	1.4	4.02	
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	32.8	35.8	20.8	6.4	2.5	1.6	3.92	
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	32.8	45.9	15.9	3.3	1.2	0.9	4.07	
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	32.8	40.5	20.2	3.5	1.8	1.3	4.00	
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	32.6	39.5	20.4	5.0	1.7	0.7	3.97	
19 県内離島への観光が促進されていること	30.5	42.8	20.8	3.4	1.2	1.3	3.99	
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	30.4	32.6	25.7	7.2	3.4	0.7	3.80	
10 各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	30.0	42.7	22.1	2.5	1.2	1.5	3.99	
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	29.8	39.0	25.4	3.5	1.7	0.6	3.92	
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	29.4	40.5	21.9	6.2	1.3	0.6	3.91	
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	29.3	37.2	26.0	4.3	2.1	1.0	3.88	
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	28.5	40.7	24.3	3.7	1.3	1.5	3.93	
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	28.4	44.0	23.2	2.4	1.0	1.0	3.98	
9 MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	28.3	40.5	25.0	4.1	1.0	1.0	3.92	
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	28.0	39.9	26.6	3.3	1.4	0.8	3.91	
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	26.6	39.3	27.0	4.4	1.9	0.8	3.85	
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	25.1	36.1	29.7	6.0	2.6	0.5	3.76	
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	22.6	35.2	28.8	8.5	3.7	1.2	3.65	
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的取り組み、誘客を強化すること	21.2	35.8	30.1	8.0	4.1	0.7	3.63	
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	20.4	34.4	29.5	9.7	5.4	0.7	3.55	

※重要度得点：「非常に重要である」＝5点、「ある程度重要である」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまり重要でない」＝2点、「全く重要でない」＝1点とした場合の平均得点。

図表 4-1-2 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（年度別）

		(%)			
		全体	2025年度	2024年度	2023年度
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	65.1	65.1	65.2	63.5
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	62.4	62.4	58.6	58.9
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	57.4	57.4	56.8	55.7
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	56.0	56.0	54.3	57.2
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	55.9	55.9	54.2	53.3
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	54.7	54.7	54.4	56.2
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	50.0	50.0	49.2	47.9
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	49.3	49.3	49.4	50.8
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	49.1	49.1	49.6	52.1
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	45.7	45.7	47.6	51.3
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	42.3	42.3	45.4	47.4
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	41.9	41.9	41.0	42.3
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	39.9	39.9	40.0	40.8
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかりやすく発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	39.8	39.8	38.5	41.3
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	38.8	38.8	41.1	41.6
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	38.4	38.4	40.4	39.6
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	36.8	36.8	36.0	37.6
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	36.5	36.5	34.7	34.7
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	35.4	35.4	34.9	34.8
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	35.1	35.1	35.7	37.9
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	34.4	34.4	34.1	38.4
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	34.2	34.2	33.5	35.1
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	33.6	33.6	34.3	36.2
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	32.8	32.8	37.4	42.5
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	32.8	32.8	35.5	34.3
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	32.8	32.8	35.8	38.8
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	32.6	32.6	33.5	34.0
19	県内離島への観光が促進されていること	30.5	30.5	32.4	33.9
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	30.4	30.4	30.8	32.7
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	30.0	30.0	32.5	32.6
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	29.8	29.8	30.2	31.8
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	29.4	29.4	30.5	33.5
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	29.3	29.3	34.4	32.0
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	28.5	28.5	31.3	31.6
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	28.4	28.4	30.3	29.6
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	28.3	28.3	27.2	31.0
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	28.0	28.0	26.7	25.8
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	26.6	26.6	29.1	30.9
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	25.1	25.1	25.0	28.1
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	22.6	22.6	26.6	26.7
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	21.2	21.2	23.5	27.0
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	20.4	20.4	25.3	28.4

図表 4-1-3 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（地域別）【2025 年度】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	64.6	67.6	66.0	63.4	48.8	56.4
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	62.7	61.4	63.5	63.5	59.3	64.1
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	49.7	58.1	59.4	54.6	54.8	72.4
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	53.6	56.8	56.4	55.6	49.2	57.8
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	52.8	58.4	54.4	53.5	48.7	60.6
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	53.9	55.2	55.9	57.1	40.0	47.6
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	50.7	48.7	53.3	47.0	51.9	58.3
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	44.4	50.3	48.0	52.9	40.5	47.0
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	50.1	50.0	47.2	48.7	48.3	50.5
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	46.6	46.8	45.5	47.6	33.1	37.5
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	36.7	43.9	41.7	46.7	22.8	38.2
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	36.6	43.8	44.6	41.5	30.7	28.8
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	39.1	40.6	35.5	44.5	30.8	44.4
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	34.3	40.2	42.8	41.3	28.4	34.4
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	38.1	38.8	38.7	41.3	27.1	40.4
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	38.5	39.3	38.8	38.5	28.8	35.0
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	37.0	37.3	36.0	35.9	35.2	40.0
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	33.5	39.4	37.0	34.9	28.5	24.0
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	31.8	34.8	36.7	39.4	25.2	32.5
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	34.8	34.9	39.2	33.5	28.6	29.4
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	32.3	33.7	39.4	34.0	26.2	30.2
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	26.9	36.0	39.3	32.5	23.6	21.3
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	33.3	34.6	34.6	32.7	24.6	31.3
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	34.2	34.1	31.5	34.4	19.8	28.5
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	32.2	32.4	36.5	33.2	20.0	29.8
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	31.0	33.6	33.8	33.9	20.6	28.5
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	27.0	33.4	33.5	35.7	22.8	27.0
19 県内離島への観光が促進されていること	28.3	30.2	30.9	33.9	17.0	34.7
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	27.8	30.6	36.5	28.4	15.5	24.2
10 各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	35.1	28.9	32.0	27.6	25.9	35.6
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	28.4	30.6	30.2	30.5	21.6	27.0
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	31.8	27.4	33.2	31.3	21.8	25.6
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	31.0	28.5	29.7	31.3	25.1	28.6
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	28.7	29.2	29.6	28.4	14.6	27.8
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	31.6	25.9	32.5	30.0	21.9	26.6
9 MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	30.3	28.6	29.4	28.0	24.1	19.8
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	29.7	27.0	28.0	30.6	24.1	27.0
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	23.9	26.8	27.3	30.1	17.8	19.4
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	22.2	23.8	30.4	25.1	15.3	27.0
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	21.4	22.8	22.8	26.5	9.8	15.9
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	21.7	20.7	23.2	22.9	12.4	16.6
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	22.3	20.1	22.0	20.3	13.0	18.9

図表 4-1-4 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（地域別）【2024 年度】

		(%)					
		北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	69.0	68.1	67.9	57.9	56.7	52.7
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	57.8	59.2	61.4	52.2	66.0	61.5
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	56.8	56.9	61.9	48.9	61.2	61.5
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	51.9	54.9	57.3	52.1	43.4	59.4
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	57.9	55.4	52.7	52.1	47.6	59.6
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	53.1	53.3	58.9	51.8	46.6	60.1
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	48.9	51.1	47.9	48.5	47.7	50.9
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	46.7	50.9	54.1	44.2	42.9	43.3
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	49.7	51.0	49.9	41.7	51.8	56.7
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	49.0	48.5	53.7	39.6	41.1	44.2
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	40.3	48.6	46.6	43.1	29.7	39.4
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組みすること	43.4	41.4	43.9	38.7	27.1	42.3
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	41.3	42.5	42.5	39.0	32.9	32.3
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	41.3	42.2	45.3	33.6	29.2	33.6
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	37.8	41.2	42.9	36.8	33.9	37.2
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	42.0	39.1	42.0	33.3	36.3	32.4
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	40.2	38.8	38.4	33.2	30.0	36.0
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	40.1	37.3	36.2	30.0	30.7	43.9
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	34.6	37.5	38.8	30.9	33.3	29.0
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	35.6	36.2	36.8	34.8	34.8	30.9
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	29.9	38.0	37.8	33.3	25.8	27.9
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	38.6	37.0	35.8	31.1	25.7	25.6
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	31.0	38.9	32.7	33.0	29.4	20.4
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	30.0	35.6	37.0	31.8	30.8	32.8
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	39.4	34.8	34.6	32.7	28.9	29.4
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	36.9	34.8	37.9	29.9	22.9	28.9
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	31.0	33.7	36.0	37.0	19.7	20.5
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	35.4	36.0	31.7	31.1	23.1	32.0
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	31.4	32.2	35.5	30.1	25.6	39.5
19	県内離島への観光が促進されていること	35.1	33.3	30.9	32.6	22.5	33.2
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	35.9	31.8	29.6	32.4	24.3	28.1
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	30.9	31.5	30.5	29.7	27.0	32.6
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	35.5	29.5	33.2	30.4	13.8	31.7
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	35.9	32.1	31.2	25.8	18.5	24.5
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	33.0	30.7	33.8	25.9	20.9	27.5
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	29.2	31.0	30.4	26.7	18.3	22.5
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	25.4	28.6	28.8	25.7	18.6	21.6
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	25.8	29.6	27.8	21.5	19.6	22.0
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	23.8	27.1	30.1	27.9	7.6	21.6
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	28.6	26.6	26.3	22.9	13.7	19.9
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	31.9	24.3	26.5	23.8	16.7	23.2
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	27.8	25.0	22.0	22.4	14.5	19.9

図表 4-1-5 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（性別）

		(%)	
		男性	女性
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	65.2	64.9
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	60.4	64.1
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	57.3	57.7
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	51.7	60.7
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	53.5	58.4
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	56.0	53.8
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	45.8	54.3
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	46.2	52.6
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	44.1	54.5
17	観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	43.0	48.8
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	39.5	45.4
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	43.6	40.3
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	37.9	42.5
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	39.7	40.4
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	38.0	39.8
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	36.9	40.4
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	35.5	38.5
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	37.0	36.3
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	35.8	35.4
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	33.5	37.0
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	36.9	32.2
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	33.4	35.4
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	32.5	35.1
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	31.0	34.9
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	32.5	33.3
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	31.7	34.2
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	34.9	30.5
19	県内離島への観光が促進されていること	30.7	30.5
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	32.9	28.2
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	29.0	31.1
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	31.1	28.8
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	31.3	27.8
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	29.4	29.1
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	28.0	28.8
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	29.3	27.8
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	26.7	30.3
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	30.2	25.9
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	27.0	26.3
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	26.5	23.9
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	25.3	20.1
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	23.8	18.6
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	22.3	18.7

図表 4-1-6 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（年代別）

		(%)						
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれず目的地で円滑に移動できること	69.0	69.9	75.3	66.6	62.4	56.0	53.9
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	63.3	68.6	69.7	68.3	58.0	54.2	49.5
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	61.4	68.1	60.5	63.8	57.8	45.4	38.1
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	67.1	62.7	51.9	56.9	57.3	50.7	47.8
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	66.4	61.7	57.1	58.1	55.0	48.9	45.0
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	48.8	60.0	61.0	53.8	53.8	50.7	50.9
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	64.7	60.0	56.9	54.0	49.1	35.7	28.1
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	55.7	53.6	50.9	46.2	52.6	44.8	41.3
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	57.0	57.4	49.1	47.3	47.8	45.1	42.7
17	観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	58.1	51.7	47.7	43.4	43.5	41.3	39.5
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	60.2	52.4	50.3	42.4	39.1	31.1	22.7
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	46.1	44.9	41.6	41.3	44.9	35.2	41.1
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	49.4	44.6	44.0	37.7	39.0	34.9	32.0
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	42.9	44.1	39.0	40.1	40.3	37.2	34.1
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	44.5	41.3	39.8	40.8	38.4	33.6	34.0
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	48.0	39.6	35.2	36.7	39.3	37.7	36.8
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	50.4	37.2	33.9	37.2	36.8	34.9	32.2
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	42.4	43.9	39.7	39.3	37.5	26.2	24.5
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	50.6	39.9	32.7	35.8	33.3	30.5	32.3
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	46.5	35.8	35.3	34.7	33.4	30.8	36.8
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	39.6	35.3	33.3	33.6	35.7	32.4	33.8
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	36.5	35.1	26.8	32.6	38.0	34.6	39.4
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	41.2	33.8	33.0	34.1	34.8	30.8	29.8
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	32.5	29.7	32.1	33.8	36.0	33.5	29.7
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	41.5	40.1	38.9	32.4	31.5	23.9	22.3
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	46.4	35.6	30.7	32.1	33.8	27.7	29.0
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	40.8	36.7	28.5	31.1	34.3	28.6	33.8
19	県内離島への観光が促進されていること	36.8	35.9	31.1	28.9	32.9	25.8	22.6
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	36.7	37.6	35.2	30.8	28.4	23.6	20.2
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	41.5	35.5	34.8	33.7	28.2	19.1	18.6
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	36.2	30.4	20.9	29.7	29.5	32.5	35.6
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	31.8	35.8	28.1	30.2	29.0	23.7	29.4
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	34.0	32.4	35.5	31.1	27.3	24.0	19.3
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	32.5	36.0	28.6	27.2	25.0	23.8	30.9
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	47.0	33.2	28.7	28.7	25.8	22.2	20.7
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	34.3	30.4	27.1	31.0	26.7	24.5	26.6
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	42.5	35.8	29.7	29.4	24.3	21.1	17.2
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	37.8	30.5	24.4	27.3	27.1	21.7	21.6
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	29.2	31.5	25.1	22.4	26.1	21.4	21.7
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	20.8	26.1	21.9	21.5	22.7	21.0	24.5
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	21.5	22.5	19.7	19.7	23.6	19.2	24.1
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	25.2	22.9	20.5	18.1	21.4	16.2	23.1

図表 4-1-7 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（観光客と接する機会別）

		(%)		
		日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	66.2	65.8	65.2
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	65.6	64.9	61.0
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	65.4	60.2	54.7
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	56.6	58.9	55.2
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	57.9	59.5	54.6
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	55.5	58.7	53.3
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	55.8	55.0	47.1
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	51.2	51.3	48.3
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	49.2	51.7	48.5
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	47.7	48.2	44.5
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	44.1	44.5	41.5
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	43.1	46.4	40.1
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	43.3	40.2	39.1
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	41.4	44.7	37.7
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	42.2	44.6	35.9
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	39.5	41.0	37.3
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	37.7	39.9	35.2
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	36.1	42.9	34.8
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	39.4	39.4	33.0
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	36.6	35.4	35.0
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	34.6	36.6	33.8
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	32.4	37.8	33.7
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	30.6	39.1	32.8
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	32.2	36.5	31.9
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	38.2	33.1	31.4
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	32.1	35.2	32.3
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	34.8	34.3	31.6
19	県内離島への観光が促進されていること	32.1	30.3	30.2
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	34.2	32.7	28.8
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	32.3	33.7	28.3
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	28.6	33.8	28.5
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	32.3	33.1	27.5
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	31.2	33.4	27.4
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	30.1	31.4	26.9
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	32.1	32.7	25.9
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	31.6	30.3	26.7
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	33.3	29.3	26.2
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	26.1	29.1	25.9
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	29.0	27.1	23.3
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	23.7	23.7	21.7
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、バトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	22.2	22.4	20.3
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	21.8	21.4	19.5

## (2) 沖縄観光の各施策に対する達成度

### Q4 ② それぞれの事項について、今の沖縄の観光は、達成できていると思いますか。

- “非常に達成できている”と“ある程度達成できている”を合わせた達成率の上位5項目は、「温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること（75.7%）」、「ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること（66.5%）」、「サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること（59.8%）」、「文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること（58.5%）」、「国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること（58.1%）」であった。
- 一方、達成率の下位5項目は、「観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること（16.0%）」、「旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと（16.8%）」、「次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること（18.6%）」、「地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること（19.0%）」、「海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと（19.7%）」であった。
- 前回調査と比べると、上位5つの項目に変動はない。

- 地域別にみると、宮古、八重山以外の全ての地域で「各種キャンプ・大会の開催」の達成率が最も高い。各地域の上位・下位3項目は以下の通り。

		北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
上位	1位	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・多種多様な目的での訪問(第2位)	・多種多様な目的での訪問(第1位)
	2位	・多種多様な目的での訪問(第2位)	・多種多様な目的での訪問(第2位)	・多種多様な目的での訪問(第2位)	・多種多様な目的での訪問(第2位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・各種キャンプ・大会の開催(第2位)
	3位	・教育旅行の推進(第4位)	・地元チームの活用(第3位)	・空手の発信、愛好家の訪問(第4位)	・沖縄文化の保全・継承・活用(第3位)	・消費しやすい環境整備(第4位)	・消費しやすい環境整備(第5位)
下位	1位	・児童生徒への観光産業の理解促進(第33位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第42位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第40位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第36位)	・欧米等リゾート需要の取込(第42位)	・データの収集・分析(第40位)
	2位	・風評被害対策(第40位)	・欧米等リゾート需要の取込(第39位)	・円滑な移動(第39位)	・富裕層の誘客(第34位)	・海外メディア等と連携した誘客(第40位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第31位)
	3位	・交通事故等のトラブル防止対策(第42位)	・児童生徒への観光産業の理解促進(第33位)	・欧米等リゾート需要の取込(第41位)	・欧米等リゾート需要の取込(第41位)	・データの収集・分析(第36位)	・海外メディア等と連携した誘客(第36位)

※1：括弧内は前回調査の順位

※2：同率でも小数点以下の違いにより順位が異なる場合がある

- 性別や年代別、観光客と接する機会別では、上位項目の傾向に大きな違いはみられない。

図表 4-2-1 沖縄観光の各施策に対する達成度

								(%)	達成度 得点
	非常に 達成できて いる	ある程度 達成できて いる	どちらとも いえない	あまり 達成できて いない	全く 達成できて いない	無回答	達成率 (非常に+ある程 度)		
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	24.6	51.1	16.6	4.8	0.5	2.4	75.7	3.97
8	ウエディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	17.9	48.6	27.7	2.8	0.5	2.6	66.5	3.83
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	20.0	39.9	28.1	8.3	1.4	2.4	59.8	3.70
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	10.5	48.0	28.9	9.1	1.1	2.5	58.5	3.59
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	16.0	42.0	33.5	4.8	1.3	2.3	58.1	3.68
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	14.3	41.8	33.1	7.4	1.1	2.2	56.2	3.62
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	13.2	39.8	33.3	9.1	2.2	2.5	53.0	3.54
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	10.3	37.7	32.2	13.1	4.2	2.5	48.0	3.38
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	7.9	33.6	41.4	11.8	3.0	2.4	41.5	3.32
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	8.2	31.8	37.6	16.1	3.8	2.5	40.0	3.25
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	7.6	32.3	45.6	9.4	2.6	2.6	39.9	3.34
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	6.4	32.8	39.7	15.2	2.9	3.0	39.3	3.25
19	県内離島への観光が促進されていること	7.0	31.7	45.4	10.9	2.2	2.8	38.7	3.31
17	観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	7.3	29.0	39.2	17.2	4.7	2.7	36.3	3.18
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	7.8	27.6	52.2	8.7	1.8	2.0	35.4	3.32
9	M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	7.3	27.9	48.5	12.0	1.9	2.4	35.1	3.27
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	7.7	26.5	46.2	14.0	2.7	2.9	34.2	3.23
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	6.3	27.4	52.8	8.8	2.0	2.7	33.7	3.28
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	6.4	26.4	50.5	11.6	2.6	2.5	32.8	3.23
18	観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	6.5	22.9	49.3	14.5	4.0	2.8	29.4	3.14
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	6.9	21.6	46.9	17.1	5.0	2.5	28.5	3.09
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	5.3	23.0	50.6	15.2	3.4	2.6	28.3	3.12
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	6.8	19.5	50.0	15.7	5.5	2.5	26.3	3.07
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	5.9	20.3	51.5	15.6	4.0	2.7	26.2	3.09
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	4.5	18.7	58.2	11.7	4.6	2.3	23.2	3.07
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	4.9	18.1	53.6	16.4	4.1	2.9	23.0	3.03
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組み	4.1	18.8	50.1	20.7	4.5	1.8	23.0	2.97
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	4.8	17.3	59.3	13.4	3.2	2.0	22.1	3.07
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	4.3	17.7	47.2	21.9	6.7	2.3	22.0	2.91
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	4.2	17.7	55.7	17.8	2.6	1.9	21.9	3.03
25	高齢であることや障害の有無にかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	5.2	16.6	46.0	22.8	6.9	2.4	21.9	2.90
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	4.2	17.0	57.9	15.0	3.7	2.2	21.3	3.03
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	4.9	16.3	55.5	17.3	3.7	2.4	21.1	3.01
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	4.9	15.9	57.2	14.9	5.1	2.1	20.8	3.01
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	4.0	16.3	56.2	17.0	4.5	2.0	20.3	2.98
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	4.5	15.6	58.3	15.5	3.8	2.3	20.1	3.01
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	4.9	14.9	29.3	33.0	15.4	2.5	19.8	2.60
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	4.4	15.2	57.8	16.2	4.0	2.4	19.7	3.00
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	5.3	13.6	50.3	20.8	7.3	2.6	19.0	2.89
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	4.3	14.4	51.8	20.3	7.2	2.0	18.6	2.88
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	4.3	12.5	58.5	18.0	4.9	1.8	16.8	2.93
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	4.6	11.5	39.1	30.3	12.0	2.5	16.0	2.65

※達成度得点：「非常に達成できている」＝5点、「ある程度達成できている」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまり達成できていない」＝2点、「全く達成できていない」＝1点とした場合の平均得点。

図表 4-2-2 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（年度別）

		(%)		
		2025年度	2024年度	2023年度
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	75.7	75.3	77.1
8	ウエディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	66.5	66.1	65.2
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	59.8	58.5	61.7
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	58.5	58.7	58.1
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	58.1	56.2	57.1
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	56.2	51.6	57.0
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	53.0	48.2	46.6
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	48.0	45.7	47.2
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	41.5	38.4	39.5
4	県内各地域の特色を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	40.0	36.9	38.7
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	39.9	37.5	37.5
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	39.3	37.9	37.4
19	県内離島への観光が促進されていること	38.7	37.4	39.3
17	観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	36.3	33.3	33.4
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	35.4	35.9	34.7
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	35.1	31.5	31.9
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	34.2	33.2	33.3
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	33.7	30.7	34.7
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	32.8	29.2	29.4
18	観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	29.4	28.1	28.7
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	28.5	26.7	29.0
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	28.3	24.4	25.5
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	26.3	23.5	24.4
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	26.2	24.1	26.8
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	23.2	20.2	21.4
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	23.0	20.0	20.6
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	23.0	20.9	19.0
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	22.1	20.6	19.9
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	22.0	18.7	19.0
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	21.9	18.7	19.4
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	21.9	18.2	20.9
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	21.3	16.6	19.8
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	21.1	21.0	20.0
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	20.8	20.7	19.2
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	20.3	17.5	16.3
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	20.1	17.5	17.6
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	19.8	16.4	18.6
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	19.7	17.7	17.2
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	19.0	14.3	15.1
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	18.6	17.5	15.8
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	16.8	14.5	14.2
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	16.0	14.8	16.4

図表 4-2-3 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（地域別）【2025年度】

		(%)					
		北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	72.5	78.2	77.2	76.6	57.7	58.5
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	65.9	66.7	65.2	67.3	66.2	67.4
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	57.9	62.8	60.6	60.0	42.2	43.1
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	57.9	59.2	59.0	61.5	43.3	47.9
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	61.4	56.8	61.3	59.3	48.5	50.8
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	61.4	53.9	61.7	59.0	40.5	41.2
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	50.7	52.0	54.4	54.5	54.6	52.1
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	41.4	46.1	52.1	50.8	48.3	47.9
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	45.1	41.9	43.1	39.8	32.7	36.5
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	38.9	39.9	40.4	43.8	27.2	35.8
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	38.1	36.6	45.4	40.2	44.5	43.4
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	43.4	38.6	39.3	42.7	28.3	31.0
19	県内離島への観光が促進されていること	43.0	39.0	36.1	39.0	37.7	40.0
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	39.9	37.5	37.2	36.0	21.8	25.9
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	35.4	33.7	41.1	33.8	35.3	29.7
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	41.1	35.3	33.7	35.8	30.6	29.3
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	33.5	32.9	33.8	37.6	40.0	30.2
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	31.6	33.2	38.7	31.7	33.0	27.4
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	34.4	33.3	34.4	31.9	27.6	24.3
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	35.9	30.0	29.1	26.8	28.6	22.5
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	27.8	28.6	30.9	27.7	21.1	28.2
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	29.9	28.6	29.8	28.6	21.3	17.2
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	30.0	24.2	28.4	27.4	27.6	22.8
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	27.2	28.2	23.4	27.3	22.3	15.4
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	25.0	23.2	23.8	22.8	24.7	15.5
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	33.2	22.8	21.0	22.2	22.7	16.8
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	27.6	23.2	24.3	21.0	19.1	15.2
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	31.3	21.0	23.5	19.9	23.9	14.2
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	23.9	20.7	23.6	23.9	19.2	17.8
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	24.7	24.0	20.3	18.7	21.1	17.6
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	23.7	21.8	23.9	20.9	16.9	16.7
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	24.0	21.0	23.2	21.8	16.8	9.6
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	25.6	22.6	19.5	18.1	25.5	14.0
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	24.8	21.0	22.0	17.2	24.8	14.4
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	23.6	21.2	19.6	18.8	17.4	17.8
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	24.5	19.3	17.6	24.1	20.0	13.3
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	25.2	18.8	16.3	20.1	29.2	27.2
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	23.7	18.7	20.4	21.4	14.6	12.9
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	21.1	19.3	18.6	19.2	17.2	14.2
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	20.2	17.9	18.6	20.2	19.5	15.3
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	22.3	15.8	16.5	18.1	12.8	14.2
16	観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	21.7	15.6	15.3	15.7	18.8	10.7

図表 4-2-4 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（地域別）【2024年度】

		(%)					
		北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	79.8	77.2	76.3	72.6	67.6	59.3
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	67.6	67.0	64.3	65.7	65.6	65.0
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	59.2	61.5	56.9	58.8	43.4	50.7
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	56.4	63.7	58.1	55.4	39.9	39.1
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	57.5	55.2	58.6	56.8	53.6	49.6
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	43.8	50.8	58.3	57.5	31.7	31.0
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	49.8	51.3	44.5	46.1	47.1	41.7
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	47.7	45.7	44.8	47.8	45.8	36.2
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	42.3	39.2	35.9	38.3	34.2	38.5
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	37.8	38.2	38.5	39.8	24.6	34.6
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	32.5	35.3	41.0	40.1	41.3	37.8
19	県内離島への観光が促進されていること	36.6	40.2	32.7	37.8	34.4	34.0
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	36.0	36.8	37.6	39.9	23.9	34.4
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	38.2	35.2	40.0	34.9	31.9	25.6
17	観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	36.3	34.6	32.4	33.3	23.9	25.3
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	35.5	33.2	31.8	32.7	35.6	34.9
9	M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	33.9	32.3	28.7	33.7	28.3	26.0
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	32.6	32.5	26.8	30.7	28.6	30.8
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	32.1	29.6	27.1	30.7	23.9	27.2
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	29.7	30.1	24.6	27.4	23.0	30.2
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	29.3	26.2	27.4	26.9	24.8	22.8
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	30.9	24.3	22.0	26.2	18.3	20.1
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	24.3	24.5	23.9	25.2	19.1	18.6
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	24.7	23.7	22.5	24.8	24.5	18.0
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	18.1	21.0	20.6	24.2	19.1	16.6
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	20.3	20.5	21.3	24.4	15.6	13.7
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	17.6	21.9	21.0	20.6	20.1	12.9
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	23.3	20.2	21.8	22.4	17.2	8.0
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	20.8	19.9	19.4	24.4	13.9	12.7
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	19.5	21.7	17.0	22.1	16.1	12.7
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	18.9	19.1	15.0	24.2	14.9	11.6
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	22.7	17.4	17.6	22.9	14.5	14.0
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	20.8	19.0	15.2	19.1	16.4	17.0
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	18.8	18.0	16.9	19.8	10.3	11.9
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	19.3	18.1	15.3	20.6	11.3	9.6
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	20.1	16.7	17.4	19.0	19.5	12.0
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	21.1	16.4	17.7	19.4	16.4	11.5
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	17.7	16.1	14.9	20.9	14.1	9.5
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	18.1	14.7	14.2	19.0	24.2	23.9
16	観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	14.1	13.9	13.1	19.6	13.1	13.5
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	15.8	14.9	12.4	17.5	9.9	9.3
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	16.4	14.7	11.8	16.3	9.9	13.8

図表 4-2-5 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（性別）

	(%)	
	男性	女性
5 温暖な気候を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	74.8	76.7
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	61.8	71.3
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	58.1	61.6
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	56.8	60.1
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	56.0	60.1
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	55.8	56.7
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	49.8	56.0
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	47.9	48.1
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	36.3	46.3
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	38.3	41.7
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	41.7	37.8
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	39.3	39.3
19 県内離島への観光が促進されていること	34.9	42.8
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	34.3	38.6
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	35.0	35.7
9 M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	33.5	37.1
10 各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	33.3	35.1
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	31.3	36.1
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	27.9	37.7
18 観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	27.6	31.1
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	26.6	30.6
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	27.0	29.6
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	27.6	25.0
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	23.4	29.0
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	23.8	22.4
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	21.5	24.7
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	21.2	24.6
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	22.7	21.5
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	22.5	21.5
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	21.2	22.7
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	20.6	23.0
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	20.4	22.0
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	21.2	20.8
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	20.3	20.9
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	19.7	21.1
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	18.6	21.2
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	19.6	20.3
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	18.2	21.2
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	19.5	18.5
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	17.0	20.1
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	16.3	17.2
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	16.1	15.9